

令和4年度

新居浜市の教育

令和4年度の計画
令和3年度のあゆみ

新居浜市教育委員会

— 望 ま し き 市 民 像 —

- 文化を尊重し、そのために貢献する創造的で教養ある市民
- すべての人々を敬愛するとともに、真理と正義にたって行動する市民
- 科学精神を身につけ、生活の合理化を図り、勤労にいそしむ市民
- 健康明朗で強い精神力を持ち、情操豊かな市民
- 社会の改良、公共の福祉に参加して、郷土の発展に努める市民

(市の教育方針として昭和29年4月教育委員会が策定)

— め ざ す 都 市 像 —

第六次新居浜市長期総合計画では、将来都市像を「— 豊かな心で幸せつむぐ — 人が輝く あかがねのまち にいはま」と定めています。

また、まちづくり（分野）ごとの目標も定めています。

- 1 未来を創り出す子どもが育つまちづくり
- 2 健康で、いきいきと暮らし、支えあうまちづくり
- 3 活力とにぎわいにみち、魅力ある職場が生み出されるまちづくり
- 4 安全・安心・快適を実感できるまちづくり
- 5 人と地域の力で豊かな心を育み、つながり、学び合うまちづくり
- 6 人と自然が調和した快適に生活できるまちづくり

目 次

令和4年度の計画	1
新居浜市教育大綱(概要版)	3
教育委員会の沿革	4
教育長、教育委員、歴代教育委員	8
教育委員会事務局組織図、職員数	11
事務局事務分掌	12
教育費歳出予算(目別、令和3年度・令和4年度当初予算)	14
年度別教育費歳出決算(目別、平成28～令和3年度)	15
社会教育課	
1 最重要課題、重点事項(取組方針)、主な事業	16
2 社会教育委員名簿	18
3 公民館等一覧表	19
4 公民館事業計画	20
青少年センター	
1 重点目標、重点事項	38
2 施設状況、地区別少年補導委員の状況	39
生涯学習センター	
1 重点目標、重点事項、施設状況	40
高齢者生きがい創造学園	
1 重点目標、重点事項、施設状況	41
図書館	
1 最重要課題、重点事項(取組方針)、主な事業、施設状況	42
2 資料数	44
学校教育課	
1 最重要課題、重点事項(取組方針)、主な事業	46
2 新居浜市教育研究所の概要	48
3 学校教育計画資料	50
4 令和4年度児童・生徒・園児・教職員数	52
5 学校等一覧	56
6 放課後児童クラブ一覧表	59
7 通学区域	60
8 園児・児童・生徒数の推移(平成29年度～令和8年度)	62
9 中学校卒業者の進路状況	63
発達支援課	
1 最重要課題、重点事項(取組方針)、主な事業	64
2 発達支援システムイメージ図	66
学校給食課	
1 最重要課題、重点事項(取組方針)、施設状況	67

2	学校給食運営組織図	69
3	新居浜市学校給食の推移	70

人権教育課

1	最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業	71
---	-----------------------	----

令和3年度のあゆみ		73
-----------	--	----

教育委員会の主な施策と実績		75
---------------	--	----

1	令和3年度決算額	75
2	主な施設の環境整備事業	79

社会教育課の主な施策と実績		80
---------------	--	----

1	地域教育力向上プロジェクト推進事業	80
2	公民館施設環境整備事業	80
3	別子ハイツ自然学習館の利用状況	80
4	新型コロナウイルス感染症対策による社会教育施設の臨時休館状況	80
5	学校体育施設開放の利用状況	81
6	公民館事業報告	82
	新居浜公民館	82
	口屋跡記念公民館	83
	地域交流センター	84
	金栄公民館	85
	高津公民館	86
	浮島公民館	87
	惣開公民館	88
	若宮公民館	89
	垣生公民館	90
	神郷公民館	91
	多喜浜公民館	92
	大島交流センター	93
	泉川公民館	94
	中萩公民館	95
	船木公民館	96
	大生院公民館	97
	角野公民館	98
	別子山公民館	99

青少年センターの主な施策と実績		100
-----------------	--	-----

1	運営協議会	100
2	街頭補導	100
3	相談活動	100
4	関係機関・団体との連絡連携	101
5	青少年善行表彰	101
6	青少年健全育成の活動状況	101

生涯学習センターの主な施策と実績		102
------------------	--	-----

1	生涯学習センター事業報告	102
2	生涯学習大学の開設	102

高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績	103
1 高齢者生きがい創造学園事業報告	103
学校教育課の主な施策と実績	104
1 教職員研修の推進	105
2 教育研究所の歩み	107
3 適応指導教室(あすなる教室)の歩み	108
4 教育における国際化への対応	108
5 中学生による国際交流事業	109
6 放課後関連事業	111
7 奨学金等	111
8 新居浜市寺尾音楽教育振興基金	114
9 新居浜市工藤交通災害遺児修学基金	114
10 就学援助費	114
11 特別支援教育就学奨励費	115
12 私学助成	116
13 学校保健	116
14 学校体育活動の推進	117
15 人権・同和教育実践の状況	118
発達支援課の主な施策と実績	119
1 特別支援教育支援員の配置状況	119
2 教育支援委員会の開催状況	119
3 新居浜市地域発達支援協議会の開催状況	120
4 総合相談の実施状況	120
5 巡回相談の実施状況	121
6 ステップアップ講座(園内研修支援事業)の実施状況	121
7 聴覚障がい児相談事業の実施状況	121
8 発達検査の実施状況	122
9 早期療育通園相談事業(親子通園相談事業)の実施状況	122
10 5歳児発音検査の実施状況	122
11 ペアレントトレーニングの実施状況	122
12 ムーブメント教育・療法講習会の実施状況	122
13 ペアレントプログラムの実施状況	123
14 研修会等の開催状況	123
15 私立幼稚園等特別支援教育事業費補助の状況	124
学校給食課の主な施策と実績	125
1 学校給食の意義	125
2 学校給食の運営等	125
3 学校給食の充実等	125
4 主な行事等	125
5 給食の状況	125
スポーツ振興課の主な施策と実績	126
1 社会体育の推進	126
2 競技スポーツの振興	126
3 施設環境の整備	127
4 体育施設年度別利用状況	128

文化振興課の主な施策と実績	129
1 芸術文化活動	129
2 文化財・郷土資料の保存活用	129
3 文化施設の充実	129
4 文化振興基金	129
5 (公財)新居浜市文化体育振興事業団	129
6 文化施設年度別利用状況	130
7 令和3年度月別利用状況(市民文化センター・ふるさと館)	132
広瀬歴史記念館の主な施策と実績	134
1 展示内容等	134
2 資料の収集状況	134
3 令和3年度事業実績	134
4 令和3年度月別観覧者内訳	134
総合文化施設(あかがねミュージアム)の主な施策と実績	135
1 月別入館者数	135
2 令和3年度美術館展覧会開催実績	135
3 令和3年度の主なイベント	136
4 教育普及事業、ワークショップ	136
5 新居浜市美術品購入基金	136
図書館の主な施策と実績	137
1 図書館の利用状況	137
2 主な事業	138
人権教育課の主な施策と実績	142
1 人権教育啓発の推進	142
2 関係団体支援	143
3 啓発資料の充実と活用	143
4 人権教育推進機関等との連携強化	144
5 身元調査お断り運動	144
6 差別落書き根絶	144
7 その他	144
参考資料	147
1 体育施設一覧表	149
2 文化施設	150
3 国指定文化財、県指定文化財、市指定文化財、登録有形文化財	151
4 広瀬歴史記念館	154
5 総合文化施設(あかがねミュージアム)	155

令和4年度の計画

新居浜市教育大綱（概要版）

～未来を創り出す子どもが育つまちづくり～

施策	SDGs 目標	基本計画
1 家庭、地域の教育力の向上	4 教育 11 都市 16 平和 17 実施手段	1 子育て世代に関する家庭教育の充実 2 学校・家庭・地域の連携協働の推進 3 青少年健全育成の推進
2 学校教育の充実	4 教育 8 成長・雇用 17 実施手段	1 地域とともに育つ特色ある学校づくりと生きる力を育む教育の推進 2 児童・生徒の健全育成 3 安全・安心で充実した教育環境の整備
3 特別支援教育の充実	3 保健 4 教育	1 より身近な場所で行う教育相談・早期支援の充実 2 特別支援教育の啓発と支援体制の強化 3 地域生活における自立に向けた支援・連携・協働の促進

～人と地域の力で豊かな心を育み、つながり、学び合うまちづくり～

施策	SDGs 目標	基本計画
4 学習活動の充実	3 保健 4 教育 11 都市	1 生涯学習機会の充実 2 生涯学習関連施設の充実 3 図書館機能の充実
5 文化芸術の振興と歴史文化の継承	4 教育 11 都市 17 実施手段	1 文化芸術活動の推進 2 文化財・伝統文化の保存と歴史文化の継承
6 スポーツの振興と競技力の向上	3 保健 17 実施手段	1 生涯スポーツの振興 2 競技スポーツの振興 3 施設環境の整備
7 近代化産業遺産の保存活用・整備の充実	4 教育 11 都市	1 別子銅山近代化産業遺産の保存活用・整備の促進 2 別子銅山の歴史の伝承・情報発信 3 多喜浜塩田文化の保存・継承
8 人権の尊重	4 教育 5 ジェンダー 10 不平等 11 都市 16 平和 17 実施手段	1 社会における人権・同和教育及び啓発の推進 2 学校における人権・同和教育の推進

教育委員会の沿革

昭和27年	4月	市庁舎落成
	8月	「義務教育費国庫負担法」 公布
	11月	新居浜市教育委員会設置 新居浜市教育委員会事務局設置
28年	5月	神郷村・垣生村・多喜浜村・大島村合併
	7月	「青少年問題協議会設置法」 公布
	12月	市営野球場設置
29年	6月	「へき地教育振興法」 「学校給食法」 公布
30年	3月	泉川町・中萩町・船木村・大生院村合併 泉川公民館・船木公民館設置
	4月	社会教育委員会設置
	6月	青年学級開校
31年	2月	大島公民館・惣開公民館設置
	3月	「就学奨励援助法」 公布
	6月	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」 公布
	7月	「文化財保護条例」 制定
	12月	「幼稚園設置基準」 告示 多喜浜公民館設置
32年	6月	川東支所開所
33年	4月	神郷公民館・高津公民館設置 教育研究所設置 「義務教育学校施設費国庫負担法」 「学校保健法」 公布
	5月	「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」 公布
34年	4月	郷土館設置 角野町合併 王子幼稚園・神郷幼稚園設置
	12月	「日本学校安全会法」 公布
35年	4月	市立商業高等学校設置
	10月	上部支所開所
36年	6月	「スポーツ振興法」 公布
	9月	大島地域・離島振興法適用
	10月	中学校全国一斉学力テスト実施
37年	3月	「教科書無償法」 公布
	11月	市民文化センター設置 中央公民館設置
39年	1月	東予新産業都市指定
	4月	記念会館設置 重量挙練習場設置 弓道場設置 武徳殿設置 「奨学資金貸付基金条例」 制定
	7月	青少年問題協議会設置 少年補導センター設置
40年	5月	勤労青少年ホーム設置
42年	3月	市樹クスノキ 市花ツツジ 制定
44年	7月	「同和对策事業特別措置法」 公布
45年	4月	「入学準備金貸付基金条例」 制定
	10月	第1回市民体育祭開催 (以後毎年開催) 口屋跡記念公民館設置
	12月	山根市民グラウンド設置
46年	5月	「義務教育教員給与特別措置法」 公布
	7月	第1回憲法を暮らしに生かす市民の集い開催
	10月	テニスコート設置
	12月	「特別奨学基金条例」 制定 スポーツ振興審議会設置
47年	4月	川東中学校開校 (神郷中・垣生中・多喜浜中・大島中統合) 市民プール開設 体育施設建設基金設置 第一次長期総合計画策定
	6月	社会教育指導員設置
	11月	市民憲章 制定
48年	4月	桃山学院短期大学開校 別子銅山休山
49年	2月	「教員人材確保法」 公布
	5月	市立学校体育施設開放
	8月	市民福祉会館設置
50年	4月	金子公民館設置 心身障害児就学指導委員会設置
	7月	「私立学校振興助成法」 公布
	8月	市立商業高校夏の高校野球で準優勝

51年	3月	泉川公民館新築	
	9月	身体障害者福祉センター設置	
	12月	「青野記念奨学基金条例」制定	
52年	7月	市民体育館設置	
54年	2月	中央児童センター設置	
	6月	滝の宮トリム公園設置	角野公民館新築
55年	3月	新庁舎落成	惣開公民館・船木公民館新築
	4月	第二次長期総合計画策定	生徒指導推進事務局設置 新設校推進臨時事務局設置
	10月	郷土美術館設置	
56年	3月	大島公民館新築	
	4月	金栄公民館設置	
57年	4月	豊かな心を育てる施策推進モデル指定	若宮公民館・浮島公民館設置
58年	4月	新居浜公民館設置	
59年	4月	青少年健全育成推進事務局設置	
	12月	美術館建設推進臨時事務局設置	
60年	3月	新居浜市文化振興基金条例制定	
		東中・中萩小・船木小校舎増改築	
		中萩中プール増改築	
	6月	市営野球場改築	
61年	2月	重量挙げ練習場改築	中萩小プール増改築
	3月	神郷公民館新築	生徒指導推進事務局廃止
	8月	財団法人新居浜市文化体育振興事業団設立	
62年	1月	中学校柔剣道場新築（～元年度）	
	2月	新居浜小学校改築	東中体育館増改築
	3月	山根総合体育館設置	多喜浜公民館増改築
63年	3月	船木中・泉川中・北中校舎改築	宮西小プール増改築
	10月	山根屋内プール完成	
	11月	銅山の里自然の家新築	
平成元年	1月	角野中校舎増築	
	3月	若宮小校舎改築	南中体育館増改築
	10月	「寺尾音楽教育振興基金条例」制定	
2年	2月	部室整備（中萩中・大生院中）	大生院中体育館増改築
	3月	プール増改築（新居浜小・惣開小）	垣生公民館新築
		桃山学院短期大学閉校	市立商業高校県立移管
	4月	第三次長期総合計画策定	
3年	3月	船木中体育館増改築	泉川中体育館、屋上プール増新築
		部室整備（船木中・泉川中）	中萩公民館増改築 大島教育集会所新築
	4月	生涯学習センター設置	
4年	2月	川東中部室整備	
	3月	金栄小体育館増改築	金子小プール増改築 口屋跡記念公民館改修
		銅山の里自然の家集会所棟新築	別子銅山記念図書館住友より寄贈
	4月	広瀬記念邸設置	
5年	3月	大生院公民館増改築	文化振興会館新築
		北中プール増改築	北中部室整備
	4月	高齢者生きがい創造学園設置	
6年	3月	部室整備（東中・西中・南中・角野中）	
		高津小プール増改築	
7年	3月	高津公民館増改築	
		多喜浜小屋内運動場改築	
		泉川小プール増改築	
		船木小運動場造成	
8年	3月	若宮小プール改築	
		川東中屋内運動場大規模改造	
9年	3月	広瀬歴史記念館完成	
		神郷小屋内運動場大規模改造	
		大島小プール新築	

9月	生涯学習都市宣言制定
10年 2月	高津小北校舎大規模改造
10月	東中完全給食開始
11年 1月	心の教室整備（東中）
7月	市営サッカー場（グリーンフィールド新居浜）完成
8月	心の教室整備（中萩中、川東中）
10月	泉幸吉文庫開設（別子銅山記念図書館）
12年 3月	西中北校舎棟改築
	男女共同参画都市宣言制定
4月	地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律（地方分権一括法）施行
9月	心の教室整備（北中、泉川中）
13年 3月	学校給食センター完成
4月	西・南・北・船木・泉川・角野・中萩・川東中学校完全給食実施
	船木小学校わかば分教室開設
	船木中学校ひびき分校開校
6月	第四次長期総合計画策定
10月	心の教室整備（南中・角野中）
11月	西中南校舎棟外改築
14年 4月	学校週5日制の完全実施
15年 1月	心の教室整備（船木中・大生院中）
3月	垣生小学校プール改築
4月	別子山村との合併により別子小学校、別子中学校、教職員住宅、別子山公民館、別子山ふるさと館、別子山市民プール、別子山市民グラウンドが加わる
	総務課を廃止、同課の業務を社会教育課と学校教育課に移管
	同和教育課を廃止、同課の業務と大島教育集会所を人権擁護課に移管
	生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園を市民活動推進課に移管
	多喜浜体育館（旧勤労者体育センター）を商工観光課から体育文化課に移管
	新設校推進臨時事務局廃止
	視聴覚ライブラリー廃止
	教職員住宅保土野寮B棟焼失
6月	旧広瀬家住宅が国の重要文化財に指定
7月	泉川公民館新築
16年	台風の被害、避難所の設置
3月	武徳殿 国の登録有形文化財登録
17年 1月	子ども見守り隊結成
3月	角野小学校プール改築
18年	耐震補強工事
	（角野小・宮西小・高津小・若宮小・泉川小・惣開小・中萩小・浮島小） 体育館
3月	新居浜市伝える力を育てる教育特区（英語で話そう科・表現科）認定
9月	新居浜市こども夢未来基金創設
19年	耐震補強工事の実施（金子小・大生院小・西中・川東中） 体育館
	（船木小・金子小・泉川小・中萩中） 校舎
20年	耐震補強工事の実施（金栄小・中萩小・高津小・垣生小・東中） 校舎
4月	発達支援準備室設置
	新居浜・西条地区広域市町村圏事務組合の解散により、同組合の施設「別子ハイツ自然学習館」が新居浜市に帰属
	地域主導型公民館へ移行（金子・惣開・若宮・泉川公民館）
21年	耐震補強工事の実施（角野小・神郷小・大生院小・惣開小・角野中・船木中・泉川中） 校舎
4月	発達支援課設置
	地域主導型公民館へ移行（新居浜・金栄公民館）
22年	大規模改造工事の実施（神郷小・中萩小・角野小・別子小中・川東中） 校舎
	太陽光発電設備設置工事（新居浜小外26校）
4月	新居浜市地域交流センター設置（金子公民館廃止）
	地域主導型公民館へ移行（口屋跡記念・高津・浮島・垣生・神郷・多喜浜・船木・大生院公民館）

10月	こども発達支援センター開所
23年 3月	北中学校体育館改築
4月	生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園が市民活動推進課から移管 放課後児童健全育成事業が児童福祉課から移管 地域主導型公民館へ移行（中萩・角野公民館） 第五次長期総合計画策定 体育文化課を廃止、スポーツ文化課設置 耐震補強工事（多喜浜小・北中・角野中）校舎
24年 3月	新居浜市神郷学習館及び垣生学習館を廃止 大規模改造工事の実施（角野小）校舎 耐震補強工事の実施（宮西小・浮島小・南中）校舎
25年	アセットマネジメントにより、公民館施設環境整備事業で、公民館の外壁塗装（惣開・若宮・大生院公民館）、公民館の屋上防水（神郷・大生院公民館体育館）等を実施 金栄小学校プール建設 多喜浜体育館防水外壁改修
3月	神郷公民館駐車場を拡張
10月	市内小学校14校（新居浜小・金子小・金栄小・高津小・浮島小・惣開小・若宮小・垣生小・神郷小・多喜浜小・船木小・中萩小・大生院小・角野小）と市内中学校3校（東中・船木中・南中）がユネスコスクールに認定
27年 3月	市内小学校2校（宮西小・泉川小）と市内中学校7校（西中・北中・泉川中・中萩中・大生院中・角野中・川東中）がユネスコスクールに認定
4月	大島小学校（廃校）を利用して大島交流センターを新設（大島公民館は廃止） 学校図書館支援センターを学校教育課内に設置
5月	多喜浜公民館耐震補強及び大規模改修
7月	新居浜市総合文化施設・美術館開館 口屋跡記念公民館耐震補強及び大規模改修
9月	国連で17の目標として「持続可能な開発目標（SDGs）」が示される
11月	多目的ホール天井落下対策工事（新居浜小・西中）
28年 3月	新居浜市立郷土美術館閉館 体育館天井落下対策工事（金栄小・泉川中）
5月	市民体育館耐震補強工事
8月	武道場屋根改修工事（北中・西中・川東中・南中・泉川中・角野中・中萩中）
9月	市営サッカー場アップ場増設 小中学校体育館照明落下対策工事（新居浜小 外15校）
29年 3月	東雲市民プール幼児用プール増設 長寿命化改修工事（泉川小）南校舎
4月	スポーツ文化課をスポーツ振興課と文化振興課に分課 別子小中学校がユネスコスクールに認定され、市内の全小中学校がユネスコスクールに
5月	角野公民館耐震補強工事
12月	大生院小学校プール改築
30年 2月	旧広瀬氏庭園が国の名勝に指定
3月	別子中学校寄宿舎 落成
4月	若宮小学校（閉校）を利用して生涯学習センター若宮学習館を新設
10月	銅山の里自然の家 廃止
31年 2月	銅山峰のツガザクラ群落が国の天然記念物に指定
3月	川東中学校・南中学校・金栄小学校・金子小学校・高津小学校がコミュニティ・スクールに指定され、市内の全小中学校がコミュニティ・スクールに
令和元年 6月	重量挙げ練習場 移転 改築
12月	小中学校へのエアコン導入開始
2年 3月	新型コロナウイルス感染症対策のための小中学校一斉臨時休業
4月	人権教育課を新設（市民環境部人権擁護課の業務を併任）
11月	別子山公民館大規模改修
3年 2月	市民体育館大規模改修
4月	生涯学習センター若宮学習館廃止（新居浜市生涯活躍のまち拠点施設として供用開始） 第六次長期総合計画策定
4年 3月	王子幼稚園・別子ハイツ自然学習館 廃止
4月	文化振興課、スポーツ振興課、美術館、広瀬歴史記念館が市長部局へ移管

教 育 長

名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
教 育 長	高 橋 良 光	平成31年 4月 1日	

教 育 委 員

職 名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
教 育 委 員	近 藤 智 佳	平成29年 6月 27日	
教 育 委 員	本 田 郁 代	平成30年 4月 1日	
教 育 委 員	尾 藤 一 彦	平成30年12月 24日	
教 育 委 員	大 橋 勝 英	令和元年12月 24日	

歴 代 教 育 委 員

公選された教育委員

氏 名	就 任 年 月 日	離 任 年 月 日	備 考
小 野 基 道	昭和 27年11月 1日	昭和 31年 9月 30日	初代教育委員長
大 場 英 雄	〃 27年11月 1日	〃 31年 9月 30日	二、三代教育委員長
村 上 精 逸	〃 27年11月 1日	〃 31年 9月 30日	四代教育委員長
加 藤 長 次	〃 27年11月 1日	〃 30年 4月 22日	
青 野 重 馬	〃 27年11月 1日	〃 30年 4月 22日	議会選出
黒 川 晋	〃 30年 5月 2日	〃 31年 9月 30日	
高須賀 佐太郎	〃 30年 5月 2日	〃 31年 9月 30日	議会選出

任命された教育委員

氏 名	就 任 年 月 日	離 任 年 月 日	備 考
大 場 英 雄	昭和 31年10月 1日	昭和 32年 9月 30日	五代教育委員長
久 門 英 雄	〃 31年10月 1日	〃 33年 9月 30日	六代教育委員長
黒 川 晋	〃 31年10月 1日	〃 34年 9月 30日	七代教育委員長
三 浦 義 一	〃 31年10月 1日	〃 35年 9月 30日	八代教育委員長
加 藤 実	〃 31年10月 1日	〃 35年 9月 30日	教育長を兼ねる
三 野 担	〃 32年10月 1日	〃 34年 4月 3日	
高 橋 玉 置	〃 33年10月 1日	〃 37年 9月 30日	九代教育委員長
永 井 伊三郎	〃 34年 5月 30日	〃 36年 9月 30日	
山 下 桂太郎	〃 34年10月 8日	〃 38年10月 7日	十代教育委員長
久 米 申	〃 35年10月 1日	〃 38年12月 13日	十一代教育委員長
加 藤 実	〃 35年10月 1日	〃 39年 9月 30日	教育長を兼ねる
亀 井 清太郎	〃 36年10月 30日	〃 40年10月 29日	十二代教育委員長
神 野 一 郎	〃 37年10月 12日	〃 41年10月 11日	十三、四代教育委員
山 下 桂太郎	〃 38年10月 8日	〃 42年10月 7日	十六代教育委員長
岡 本 悦 良	〃 39年 3月 25日	〃 39年 9月 30日	
岡 本 悦 良	〃 39年10月 1日	〃 43年 9月 30日	十五、七代教育委員
岡 虎 義	〃 40年12月 4日	〃 44年12月 3日	
神 野 一 郎	〃 41年10月 12日	〃 45年 6月 13日	十八代教育委員長
栗 原 利得喜	〃 42年 4月 1日	〃 46年 3月 31日	教育長を兼ねる
藤 田 秀 朋	〃 42年12月 22日	〃 46年12月 21日	十九代教育委員長
近 藤 続 行	〃 43年12月 22日	〃 47年 2月 21日	
齊 藤 一	〃 45年 7月 4日	〃 49年 7月 3日	二十、二十一代教育委員長
岡 虎 義	〃 45年 7月 4日	〃 45年10月 11日	
岡 虎 義	〃 45年12月 21日	〃 49年12月 20日	二十二代教育委員長
村 上 哲 亮	〃 46年 8月 1日	〃 50年 7月 31日	教育長を兼ねる
藤 田 秀 朋	〃 46年12月 24日	〃 50年12月 23日	二十三代教育委員長
神 野 忠 利	〃 48年 4月 2日	〃 52年 4月 1日	二十四代教育委員長
藤 田 凶南夫	〃 49年12月 24日	〃 53年12月 23日	二十五代教育委員長
藤 田 秀 朋	〃 50年12月 24日	〃 54年12月 23日	二十六代教育委員長

氏名	就任年月日	離任年月日	備考
村上哲亮	昭和 51年 3月18日	昭和 55年 3月17日	教育長を兼ねる
神野忠利	" 52年 4月 2日	" 56年 4月 1日	二十七代教育委員長
堀越和衛	" 54年12月24日	" 58年12月24日	二十八代教育委員長
印南忠一	" 54年12月24日	" 58年12月23日	二十九代教育委員長
坂口勲	" 54年12月24日	" 58年12月23日	三十代教育委員長
伊達孝	" 55年 3月26日	" 59年 3月25日	教育長を兼ねる
大西博臣	" 56年 6月 6日	" 60年 6月 5日	三十一代教育委員長
堀越和衛	" 57年12月24日	" 61年12月23日	三十二代教育委員長
印南忠一	" 58年12月24日	" 62年12月23日	三十三代教育委員長
坂口勲	" 58年12月24日	" 62年12月23日	三十四代教育委員長
伊達孝	" 59年 3月26日	" 63年 3月25日	教育長を兼ねる
篠原利光	" 60年 6月 6日	平成 元年 6月 5日	三十五代教育委員長
守谷照男	" 61年12月24日	" 2年12月23日	三十六代教育委員長
千葉文政	" 62年12月24日	" 3年12月23日	三十七代教育委員長
田坂富美子	" 62年12月24日	" 3年12月23日	三十八代教育委員長
伊達孝	" 63年 3月26日	" 4年 3月25日	教育長を兼ねる
篠原利光	平成 元年 6月27日	" 5年 6月26日	三十九代教育委員長
真鍋栄	" 2年12月24日	" 6年12月23日	四十代教育委員長
天野征郎	" 3年12月24日	" 7年12月23日	四十一代教育委員長
田坂富美子	" 3年12月24日	" 7年12月23日	四十二代教育委員長
渡邊健	" 4年 4月 1日	" 8年 3月31日	教育長を兼ねる
近藤求	" 5年 6月27日	" 9年 6月26日	四十三代教育委員長
千葉昭夫	" 6年12月24日	" 10年12月23日	四十四代教育委員長
千葉陽三	" 7年12月24日	" 11年12月23日	四十五代教育委員長
小野トヨミ	" 7年12月24日	" 11年12月23日	四十六代教育委員長
西原洋昂	" 8年 4月 1日	" 12年 3月31日	教育長を兼ねる
一色康範	" 9年 6月27日	" 13年 6月26日	四十七代教育委員長
加藤信一	" 10年12月24日	" 14年12月23日	四十八代教育委員長
千葉陽三	" 11年12月24日	" 15年12月23日	四十九代教育委員長
小野トヨミ	" 11年12月24日	" 15年12月23日	五十代教育委員長
西原洋昂	" 12年 4月 1日	" 14年 3月31日	教育長を兼ねる
栗田敬子	" 13年 6月27日	" 17年 6月26日	五十一代教育委員長
阿部義澄	" 14年 4月 1日	" 16年 3月31日	教育長を兼ねる
小野正師	" 14年12月24日	" 18年12月23日	五十二代教育委員長
宇野征一	" 15年12月24日	" 19年12月23日	五十三代教育委員長
太田恵理子	" 15年12月24日	" 19年12月23日	五十四代教育委員長
阿部義澄	" 16年 4月 1日	" 20年 3月31日	教育長を兼ねる
栗田敬子	" 17年 6月27日	" 21年 6月26日	五十五代教育委員長
小野正師	" 18年12月24日	" 22年12月23日	五十六代教育委員長
宇野征一	" 19年12月24日	" 23年12月23日	五十七代教育委員長
太田恵理子	" 19年12月24日	" 23年12月23日	五十八代教育委員長
阿部義澄	" 20年 4月 1日	" 24年 3月31日	教育長を兼ねる
三木由紀子	" 21年 6月27日	" 25年 6月26日	五十九代教育委員長
伊藤嘉秀	" 22年12月24日	" 26年12月23日	六十代教育委員長
宮内文久	" 23年12月24日	" 27年12月23日	六十一代教育委員長
長野美和子	" 23年12月24日	" 27年12月23日	六十二代教育委員長
阿部義澄	" 24年 4月 1日	" 28年 3月31日	教育長を兼ねる
三木由紀子	" 25年 6月27日	" 29年 6月26日	六十三代教育委員長
長野美和子	" 27年12月24日	" 30年 3月31日	
伊藤嘉秀	" 26年12月24日	" 30年12月23日	
宮内文久	" 27年12月24日	令和 元年12月23日	
近藤智佳	" 29年 6月27日	" 3年 6月26日	
本田郁代	" 30年 4月 1日	" 4年 3月31日	
尾藤一彦	" 30年12月24日		
大近橋勝英	令和 元年12月24日		
近藤智佳	" 3年 6月27日		

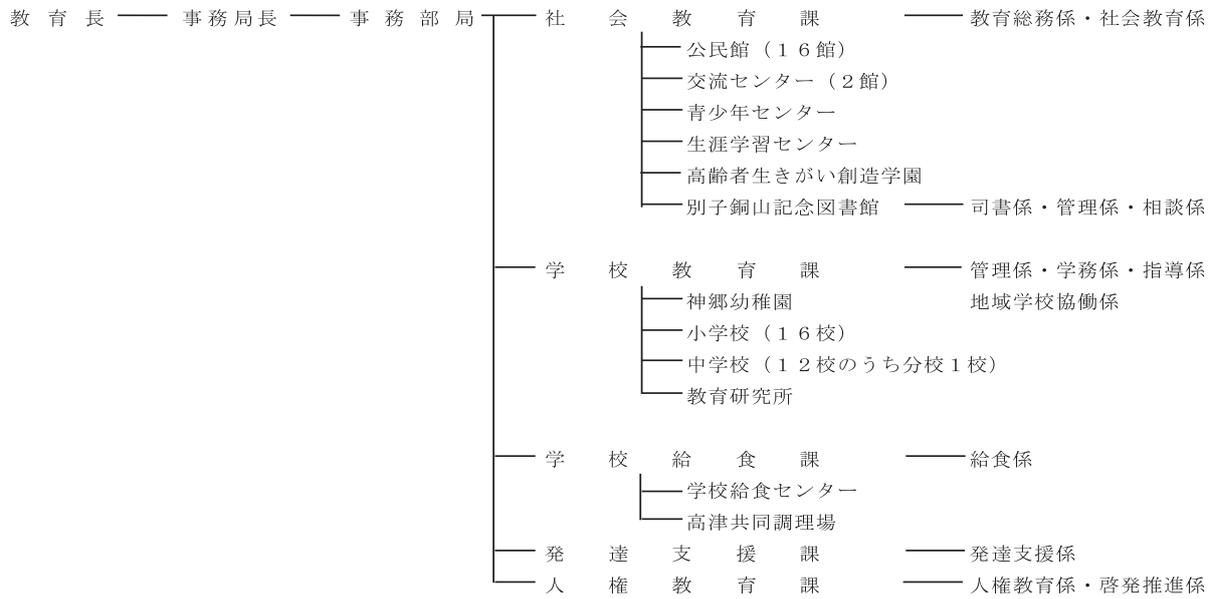
氏 名	就任年月日	離任年月日	備 考
本 田 郁 代	令和4年 4月 1日		

教育長任期変更（4年→3年）後の歴代教育長

氏 名	就任年月日	離任年月日	備 考
関 福 生	平成 28 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	
高 橋 良 光	平成 31 年 4 月 1 日	令和 4 年 3 月 31 日	
高 橋 良 光	令和 4 年 4 月 1 日		

組 織 図

(令和4年5月1日 現在)



職 員 数

(令和4年5月1日 現在)

	定 数	現 員
事 務 部 局	86	73

課 所 別	職 員	フルタイム職員	パートタイム職員	短時間再任用職員	計
事 務 局	2				2
社 会 教 育 課	8	1			9
学 校 教 育 課	20		107		127
発 達 支 援 課	7		24		31
学 校 給 食 課	4	1			5
人 権 教 育 課	4		8	1	13
別 子 銅 山 記 念 図 書 館	7	10	2	1	20
青 少 年 セ ン タ ー		2			2
生 涯 学 習 セ ン タ ー ・ 高 齢 者 生 き が い 創 造 学 園		2	9		11
公 民 館	1		62		63
交 流 セ ン タ ー			8		8
幼 稚 園	3	1	6	1	11
小 学 校 (県 費 教 職 員 を 除 く 。)	14	9	197		220
中 学 校 (県 費 教 職 員 を 除 く 。)			83		83
学 校 給 食 セ ン タ ー			40		40
高 津 共 同 調 理 場	3		13		16
教 育 研 究 所			2		2
計	73	26	561	3	663

事務局事務分掌

課	事 務
社会教育課	<p>教育委員会の会議及び庶務に関すること。</p> <p>教育長及び教育委員会委員の報酬、費用弁償、請求、支払、儀式及び交際に関すること。</p> <p>職員(県費負担教職員を除く)の任免、給与、分限、褒賞、懲戒、服務、福利及び厚生並びに定数配置に関すること。</p> <p>公印の管守に関すること。</p> <p>教育委員会の規則及び規程の制定及び改廃並びに規則の公布に関すること。</p> <p>情報公開の調整に関すること。</p> <p>個人情報保護の調整に関すること。</p> <p>事務局の庶務に関すること。</p> <p>予算経理の指導助言に関すること。</p> <p>社会教育施設の設置及び廃止に関すること。</p> <p>社会教育施設の管理、営繕及び保全に関すること。</p> <p>社会教育委員会の庶務に関すること。</p> <p>成人教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。</p> <p>社会教育指導者の育成及び社会教育関係団体の育成指導に関すること。</p> <p>公民館、交流センター、生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園、図書館、青少年センターに関すること。</p> <p>青少年健全育成の推進に関すること。</p> <p>青少年団体指導者の育成に関すること。</p> <p>家庭教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。</p> <p>関係機関及び団体との連絡調整に関すること。</p> <p>学校の体育施設開放の事務及び運営指導に関すること。</p> <p>学校の体育施設開放に伴う使用許可及び使用料収納に関すること。</p>
学校教育課	<p>学校及び幼稚園の設置及び廃止に関すること。</p> <p>学校敷地及び建物の設置及び変更に関すること。</p> <p>学校施設及び幼稚園施設の管理、営繕及び保安に関すること。</p> <p>学校及び幼稚園の管理運営の指導に関すること。</p> <p>学校休業日の決定に関すること。</p> <p>学校行事等の調整、指導及び承認に関すること。</p> <p>教育団体関係事務に関すること。</p> <p>児童・生徒の就学事務に関すること。</p> <p>通学区域の設定変更事務に関すること。</p> <p>学級編成関係事務に関すること。</p> <p>教科書関係事務に関すること。</p> <p>県費負担教職員の人事、給与、福利及び厚生事務に関すること。</p> <p>就学援助事務に関すること。</p> <p>奨学資金事務に関すること。</p> <p>教育課程及び教育内容の編成に関すること。</p> <p>教科用図書の採択に関すること。</p> <p>学校及び幼稚園の教育指導に関すること。</p> <p>教員の現職教育研修に関すること。</p> <p>児童・生徒活動の指導に関すること。</p> <p>教育研究所事務に関すること。</p> <p>中学生等の国際交流に関すること。</p> <p>児童・生徒の生活指導に関すること。</p> <p>学校体育に関すること。</p> <p>就学時の健康診断事務に関すること。</p> <p>児童・生徒及び学校職員の健康診断事務に関すること。</p> <p>学校保健に関すること。</p> <p>学校安全に関すること。</p> <p>放課後児童健全育成事業等の実施に関すること。</p> <p>地域、学校及び家庭の協働及び連携に関すること。</p> <p>共同調理場の建設に関すること。</p>

課	事 務
学校給食課	学校給食に関すること。 共同調理場に関すること。
発達支援課	特別支援教育に関すること。 発達支援に関すること。
人権教育課	人権教育の計画、運営及び指導に関すること。 人権教育に係る資料の作成並びに教材及び教具の整備に関すること。 人権教育講座、研修等の開設、運営及び指導に関すること。 地域改善対策奨学金事務に関すること。 人権教育研究協議会等関係団体との連絡調整に関すること。

教育費歳出予算（目別、令和3年度・令和4年度当初予算）

※企画部及び福祉部分含む（単位：千円）

区 分	令和3年度		令和4年度		前年度比較
	当 初 予 算		当 初 予 算		
費 目	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
教 育 総 務 費	1,518,476	32.6%	1,427,940	22.9%	94.0%
教 育 委 員 会 費	6,446	0.1%	6,446	0.1%	100.0%
事 務 局 費	551,901	11.9%	443,993	7.1%	80.4%
諸 費	960,129	20.6%	977,501	15.7%	101.8%
小 学 校 費	549,926	11.8%	592,769	9.5%	107.8%
学 校 管 理 費	466,342	10.0%	499,483	8.0%	107.1%
教 育 振 興 費	83,584	1.8%	82,408	1.3%	98.6%
学 校 建 設 費	-	-	10,878	0.2%	
中 学 校 費	426,080	9.1%	420,082	6.8%	98.6%
学 校 管 理 費	340,308	7.3%	347,412	5.6%	102.1%
教 育 振 興 費	85,772	1.8%	72,670	1.2%	84.7%
学 校 建 設 費	-	-	-	-	-
幼 稚 園 費	298,632	6.4%	326,081	5.2%	109.2%
幼 稚 園 費	298,632	6.4%	326,081	5.2%	109.2%
社 会 教 育 費	832,358	17.9%	963,261	15.5%	115.7%
社 会 教 育 総 務 費	221,062	4.7%	359,943	5.8%	162.8%
公 民 館 費	194,040	4.2%	228,810	3.7%	117.9%
図 書 館 費	94,915	2.0%	101,362	1.6%	106.8%
青 少 年 教 育 費	936	0.0%	668	0.0%	71.4%
青 少 年 セ ン タ ー 費	3,588	0.1%	4,081	0.1%	113.7%
広 瀬 歴 史 記 念 館 費	87,253	1.9%	59,765	1.0%	68.5%
総 合 文 化 施 設 費	230,544	5.0%	208,612	3.3%	90.5%
美 術 品 購 入 基 金 費	20	0.0%	20	0.0%	100.0%
保 健 体 育 費	1,034,474	22.2%	2,492,918	40.1%	241.0%
保 健 体 育 総 務 費	77,421	1.7%	106,468	1.7%	137.5%
保 健 体 育 施 設 管 理 費	-	-	-	-	-
体 育 施 設 費	311,788	6.7%	290,151	4.7%	93.1%
学 校 給 食 費	645,265	13.8%	2,096,299	33.7%	324.9%
合 計	4,659,946	100%	6,223,051	100%	133.5%
一 般 会 計 総 額	50,006,000		50,939,729		101.9%
教 育 費 の 割 合	9.3%		12.2%		2.9P

人権教育費等（民生費 社会福祉費 人権推進費）23,961千円

放課後児童対策費（民生費 児童福祉費 児童福祉総務費）167,314千円

放課後児童クラブ施設整備事業（民生費 児童福祉費 児童福祉総務費）2,574千円

高齢者生きがい創造学園講座事業費（介護保険事業特別会計 地域支援事業費 一般介護予防事業費）9,466千円

年度別教育費歳出決算（目別、平成28～令和3年度）

（単位：千円）

年度 費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育総務費	907,040	898,526	856,428	1,003,363	1,849,585	1,451,034
教育委員会費	6,300	6,297	6,303	6,266	6,162	6,090
事務局費	458,097	464,648	457,617	479,776	577,528	536,395
諸費	442,643	427,581	392,508	517,321	1,265,895	908,549
小学校費	1,406,237	824,868	660,552	1,568,624	690,665	509,606
学校管理費	377,209	438,972	406,475	436,869	491,984	441,609
教育振興費	215,470	228,380	226,276	221,719	198,681	67,997
学校建設費	813,558	157,516	27,801	910,036	-	-
中学校費	467,931	634,784	399,272	1,073,812	376,381	390,797
学校管理費	217,216	237,737	266,390	274,477	300,559	320,287
教育振興費	116,130	116,394	114,836	118,076	75,822	70,510
学校建設費	134,585	280,653	18,046	681,259	-	-
幼稚園費	161,509	182,565	186,417	224,244	354,834	255,941
幼稚園費	161,509	182,565 <small>（うち32,805は福祉部）</small>	186,417 <small>（うち42,251は福祉部）</small>	224,244 <small>（うち52,508は福祉部）</small>	354,834 <small>（うち87,417は福祉部）</small>	255,941 <small>（うち86,726は福祉部）</small>
社会教育費	792,381	905,260	733,921	825,780	862,654	808,285
社会教育総務費	193,949	253,830	191,955	257,787	184,480	201,375
公民館費	195,753	243,246	171,820	197,230	254,743	174,451
図書館費	97,686	87,846	90,463	89,414	110,933	91,775
郷土美術館費	-	-	-	-	-	-
青少年教育費	378	388	257	216	90	1,143
青少年センター費	3,266	3,402	3,210	3,294	3,681	2,373
広瀬歴史記念館費	58,312	65,100	50,410	65,138	70,730	94,547
総合文化施設費	243,023	251,439	225,797	212,686	237,986	242,616
美術品購入基金費	14	9	9	15	11	5
保健体育費	1,221,997	1,138,172	964,025	1,254,681	1,127,971	903,912
保健体育総務費	209,615 <small>（うち170,719は企画部）</small>	338,196 <small>（うち295,812は企画部）</small>	48,699	50,942	33,406	51,754
保健体育施設管理費	35,548	21,526	20,241	-	-	-
体育施設費	464,188 <small>（うち63,720は企画部）</small>	288,040	338,545	662,444	556,263	292,290
学校給食費	512,646	490,410	556,540	541,295	538,302	559,868
合計	4,957,095	4,584,175	3,800,615	5,950,504	5,262,090	4,319,575

ただし、繰越分含む。

令和3年度人権推進費決算額（民生費）20,564千円

令和3年度放課後児童対策費決算額（民生費）139,621千円

令和3年度高齢者生きがい創造学園講座事業費決算額（介護保険事業特別会計 地域支援事業費）8,768千円

社会教育課

第1 最重要課題

人と地域の力による社会教育の推進で、豊かな心を育むまちづくり

第2 重点事項（取組方針）

1 未来を創り出す子どもが育つまちづくり

- (1) 子ども・子育て支援の充実
 - ア 乳幼児講座や子育て講座、家庭教育講座など子育てに関わる地域教育教育力向上プロジェクト推進事業の推進
- (2) 家庭、地域の教育力の向上
 - ア 三世代交流事業や地域の伝統・歴史の伝承など地域の実情に応じた地域教育力向上プロジェクト推進事業の推進
 - イ 校区・地区運動会や文化祭など学校、家庭、地域の連携協働による社会教育事業の推進
 - ウ 社会教育活動とコミュニティ・スクール活動との連携で、防災訓練や食農体験、登下校の見守り、読み聞かせなどへの取り組み
 - エ 地域や地域団体活動をコーディネートする人材の確保と育成
- (3) 青少年健全育成の推進
 - ア 子どもの居場所づくりへの取り組み
 - イ 青少年健全育成・啓発活動の推進
 - ウ 青少年センターを核とした相談活動の充実
 - エ 少年補導委員による街頭補導活動の継続

2 人と地域の力で豊かな心を育み、つながり、学び合うまちづくり

- (1) 学習活動の充実
 - ア 公民館・交流センター等の講座の開催と市民サークル活動への支援
 - イ 夜間開催講座・リモート講座など新しい手法を取り入れ、働く人を含めたすべての世代への学習機会の提供を行う生涯学習大学の拡充
 - ウ 高齢者の社会参加を促進する高齢者生きがい創造学園講座の開催
 - エ 市民からのリクエストに応える講座の開設
 - オ 愛媛大学や松山大学、新居浜高専、愛媛県総合科学博物館等と連携した高度化・専門化した講座の拡充
- (2) 生涯学習関連施設の充実
 - ア 公民館・交流センター等の施設環境整備の継続
 - イ 高齢者生きがい創造学園の機能維持と一部施設改修への取り組み
- (3) 近代化産業遺産の保存活用・整備の充実
 - ア 多喜浜塩田文化の保存・継承
 - (ア) 多喜浜のまち全体が塩の博物館事業への支援
 - (イ) ソルティ多喜浜・塩の学習館を活用した学習活動支援
- (4) 地域コミュニティの充実
 - ア 地域再生への体制づくり
 - (ア) 市長部局が取り組む地域コミュニティを支える組織、拠点づくりへの協力
 - (イ) 社会教育事業と地域コミュニティ事業との融合検討、推進

3 各種計画等に基づく社会教育施設の管理運営についての検討

(1) 新居浜市公共施設再編計画

ア 高齢者生きがい創造学園の機能移転先の検討と機能移転までの施設維持管理への取り組み

(2) 社会教育の効果・効率的な運用

ア 公民館・交流センターや高齢者生きがい創造学園、生涯学習センター等で開設されている各種講座の効果・効率的な運用の検討

4 教育委員会事務局職員の適正な人事管理

(1) 法令に基づいた人事管理と福利厚生

ア 市長部局と連動した適正な人事管理、福利厚生に関する対応

イ 必要な会計年度任用職員の人員確保と研修

第3 主な事業

1 地域教育力向上プロジェクト推進事業（9,074千円）

地域ごとに実情・課題は様々であるため、“つどう”（生活のなかで気軽に人々が集うことができる場）、“まなぶ”（自らの興味関心に基づいて、また社会の要請にこたえるための知識や技術を学ぶための場）を事業の柱とし、学びを活かして地域の課題解決を目指していく。

2 公民館施設環境整備事業（44,587千円）

住民の地域づくりの拠点として、利用者により安全快適な施設環境を提供するために、必要な整備・維持管理を実施している。

社会教育委員名簿

(令和4年6月10日現在)

(50音順)

氏名	備考
秋月 恭子	PTA連合会代表
安藤 進一	スポーツ協会代表
岡野 弥生	公民館連絡協議会代表
越智 克範	市議会企画教育委員長
加藤 すみれ	女性連合協議会代表
神田 未知生	愛媛新聞社東予支社長
後藤 一美	市内県立学校校長会代表
篠原 和彦	中学校校長会代表
篠原 雅士	文化協会代表
秦 榮子	ボランティア連絡協議会代表
藤原 説夫	連合自治会代表
丸山 幸輝	青年会議所代表
明星 孝典	小学校校長会代表
森 重考司	企業代表
山内 保生	医師会代表

任期 令和3年7月1日 ～ 令和5年6月30日

公 民 館 等 一 覧 表

(令和4年5月1日 現在)

施設名	所在地	開設年月日	新改築年度	人口 4.3.31	世帯数 4.3.31	構造	建物面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	施設長氏名
新居浜 32-8312	新居浜市新須賀町 三丁目2番17号	昭和 58.4.1	昭57年度 新築	4,181	2,246	鉄筋 2階建	535.50	1,586.00	高田 実
口屋跡記念 32-8430	新居浜市西町 6番2号	昭和 45.10.3	平27年度 改築	4,599	2,551	鉄筋 3階建	970.65	2,214.87	岡野 弥生
地域交流センター 34-6320	新居浜市庄内町 一丁目14番7号	平成 22.4.1	平21年度 新築	10,964	5,407	鉄筋 2階建	945.02	2,021.40	山下 和之
金 栄 33-3212	新居浜市高木町 6番25号	昭和 56.4.1	昭55年度 新築	6,148	2,897	鉄筋 2階建	456.00	1,758.00	小野 英昭
高 津 32-3320	新居浜市沢津町 二丁目3番30号	昭和 33.4.1	平7年度 改築	11,057	5,544	鉄筋 2階建	987.25	2,220.77	小野 健治
浮 島 34-7617	新居浜市八幡 二丁目6番52号	昭和 57.4.1	昭56年度 新築	3,547	1,684	鉄筋 2階建	456.00	1,480.48	小西 優
惣 開 33-1031	新居浜市王子町 1番3号	昭和 31.2.24	昭54年度 新築	4,067	1,994	鉄筋 2階建	456.00	1,130.81	久石 保
若 宮 34-7612	新居浜市新田町 一丁目8番37号	昭和 57.4.1	昭56年度 新築	1,579	935	鉄筋 2階建	456.00	1,124.96	久保 弥生
垣 生 45-0024	新居浜市垣生 二丁目12番26号	昭和 24.12.1	平元年度 新築	4,021	1,891	鉄筋 平屋建	483.00	1,985.80	高尾 美好
神 郷 46-1181	新居浜市郷 三丁目7番20号	昭和 33.4.1	昭60年度 新築	9,701	4,569	鉄筋 2階建	624.00	1,803.58	藤井 和晴
多喜浜 45-0014	新居浜市多喜浜 五丁目7番27号	昭和 31.12.27	平27年度 改築	3,561	1,888	鉄筋 2階建	545.63	1,245.00	岡部 修治
大島交流センター 45-1006	新居浜市大島 甲589番地	平成 27.4.1	平27年度 移転	168	118	鉄筋 3階建	交流センター 942.02 体育館 634.05 プール 80.05	交流センター 4,671.32 プール 610.00	村上 和夫
泉 川 41-6463	新居浜市瀬戸町 12番34号	昭和 30.3.31	平15年度 新築	11,585	5,975	木造 平屋建	公民館 693.00 体育館 286.00	2,966.00	真鍋 智明
中 萩 41-6735	新居浜市萩生 740番地の1	昭和 22.11.1	平2年度 改築	18,863	9,166	鉄筋 2階建	984.00	2,024.02	三並 保
船 木 41-6003	新居浜市船木 2579番地の1	昭和 24.9.14	昭54年度 新築	6,844	3,325	鉄筋 2階建	456.00	1,917.99	篠原 元久
大生院 41-6604	新居浜市大生院 1063番地の1	昭和 25.9.28	平4年度 改築	3,744	1,836	鉄筋 2階建	公民館 562.70 体育館 233.20	4,324.28	神野 剛
角 野 41-6224	新居浜市中筋町 二丁目4番24号	昭和 23.11.3	昭54年度 新築	11,292	5,499	鉄筋 2階建	864.00	2,963.24	本田 龍朗
別子山 64-2211	新居浜市別子山 甲347番地の1	昭和 59.4.1	昭59年度 新築	131	82	鉄筋 2階建	631.00	821.54	和田 仲吉
合計				116,052	57,607				

※改築は、増築・大規模改修等とする。

公 民 館 事 業 計 画

新 居 浜 公 民 館

<p>公民館重点目標</p>	<p>～夢・ロマン・感動を求めて～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ボランティア活動の推進 2 学校・家庭・地域を結ぶ青少年育成と見守り隊の推進 3 生涯学習の活性化と推進 4 三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成 5 小学生・中学生・高校生の居場所づくりと交流
<p>事業（講座）名</p>	<p>事 業 内 容</p>
<p>地域教育力向上プロジェクト推進事業</p>	
<p>女性講座</p>	<p>手芸教室、健康講座、人権講座、書道教室、音楽教室</p>
<p>シニアネットワーク</p>	<p>男性料理教室、新居浜小学校環境整備</p>
<p>三世代いきいき健康ウォーキング</p>	<p>校区内に架かる橋について探索する。</p>
<p>生き生きセミナー</p>	<p>音楽教室、手芸教室、料理教室</p>
<p>小中学生料理教室</p>	<p>家庭ですぐ実践できる料理</p>
<p>次世代ネットワーク育成セミナー</p>	<p>防災事業研修、次世代ネットワークメンバーのワークショップ</p>
<p>地域活性化事業</p>	<p>住民の健康・体力向上を目的に軽スポーツを実施する。</p>
<p>三世代交流事業</p>	<p>餅つき、しめ縄作り、凧づくり、七草粥</p>
<p>健康セミナー</p>	<p>健康に関する研修、自宅ですぐ実践できる簡単なケアを学び、健康維持を推進する。</p>
<p>読書感想文書き方講座</p>	<p>読書感想文の書き方について学習する。</p>

公 民 館 事 業 計 画

口屋跡記念公民館

公民館重点目標	SDGs のまち みやにし ～誇りをもち住み続けたいなるまちづくりをめざして～ 1 豊かな心を育てる生涯学習の充実 2 青少年の健全育成 3 社会教育関係団体相互の連携・交流 4 人権・同和教育の推進 5 生涯スポーツの振興、生活文化活動の育成
事業（講座）名	事 業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
女性講座	多岐にわたる講座（陶芸教室、健康体操、ひな祭り講座等）の開催。また、子どもたちに郷土芸能（口屋音頭）を継承する教室の実施。
高齢者講座	1日研修、奉仕活動（年2回）、軽スポーツ（年2回）、園児との交流、防災教室、交通安全教室
高齢者・女性合同講座	人権・同和教育講演会。（年1回）
生活文化講座	親子1日研修の実施。親子で楽しめる講座や母親同士の交流の場、父親も参加できる講座。親子料理教室、フィットネス教室等身体を動かす教室。
男の料理教室	男性が料理の知識、楽しさを学ぶための教室。
宮西サロン	地域の方の居場所づくりを目指した講座や親子で楽しめる講座の開設。各世代の健康講座や未就学児（乳幼児）をもつママたちの交流の場づくり。
スポーツ健康教室	子どもたちに軽スポーツの楽しさを体験してもらう教室。（ボッチャ、モルック、シャフルボード等）
北中校区子ども絵画展	子どもたちの文化的な活動を後押しし、心を癒し育むことを目的に、児童・生徒（宮西小・新居浜小、北中）から絵を募集し、地域在住の元美術教員が、審査・展示・表彰を実施。
三世代交流講座	七草粥、昔の遊び等の講座を開催し、異世代交流及び文化の伝承活動の実施。
三世代ふれあい交流大会	小学6年生・PTA・老人会・自治会等でもちつきを実施する。また、愛護班の指導による凧作りを実施し、凧あげ大会に出場する。最後に地域の独居高齢者宅に民生児童委員と児童が赤飯と手紙を添えて訪問し、交流を図る。
口屋あかがねプロジェクト事業（口屋あかがねの会・くちやあゆみの会）	2つの会（口屋あかがねの会・くちやあゆみの会）を中心に次世代に残していきたい口屋の歴史を後世に語り継いでいく事業。同じ歴史で繋がる角野公民館・別子山公民館との交流事業を実施。
地域の未来を考えるプロジェクト	公民館を「小さな拠点」と捉え、誰もが自由に参加し、自分たちの地域を自分たちで考え、より良くするための事業。若い世代の参画で、地域の様々な問題等を話し合い、解決策を模索する。

交 流 セ ン タ ー 事 業 計 画

地域交流センター

交流センター重点目標	～笑顔あふれる地域交流センター～ 1 地域ふるさとづくりの推進 2 生涯学習・スポーツの推進 3 各種団体との連携・協力体制の強化 4 地域が一体となった青少年の健全育成 5 自主防災組織の充実と意識の向上
事業（講座）名	事 業 内 容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
家庭教育講座	親子カルチャー教室（5回）、人権教育
スポーツ健康教室	カローリング、ペタンク他（2回）、ウォーキング
宿泊合宿	集団行動、集団学習、片付け、野外学習
文化教養講座	盆踊り、小女郎たぬき音頭練習（2回）、ふるさと探訪学習
三世代交流事業	しめ縄作り、ミニ門松作り、七草粥、ジャンボ巻き寿司大会
地域リーダー育成事業	地域リーダー学習会、夏休み講座（5回）、夏祭り事業、文化祭事業
まちづくり事業	防災運動会、入間市交流事業

公 民 館 事 業 計 画

金 栄 公 民 館

<p>公民館重点目標</p>	<p>～地域と共に歩む公民館を目指して～ 1 安全・安心のまちづくりの推進 2 青少年健全育成の推進 3 公民館活動への住民の参画促進及び各種団体との連携強化 4 自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上</p>
<p>事業（講座）名</p>	<p>事 業 内 容</p>
<p>地域教育力向上プロジェクト推進事業</p>	
<p>婦人講座</p>	<p>手芸教室、料理教室、交通安全教室、踊り教室、干支作り等</p>
<p>高齢者講座</p>	<p>ダーツ大会、輪投げ教室、ペタンク教室</p>
<p>家庭教育講座</p>	<p>手作り講座、人権同和教室</p>
<p>ふれあい文化講座</p>	<p>料理教室、手作り講座</p>
<p>子育て支援講座</p>	<p>手作り講座、銭太鼓体験、リズム体操、子育て講座等</p>
<p>金栄まちづくり事業</p>	<p>防犯防災部会（地域パトロール）</p>
<p>三世代交流事業</p>	<p>親子の集い、芸能発表会、金栄盆踊り</p>
<p>ドリームツリー「金栄ふれあい広場」</p>	<p>ドリームツリー点灯式、アトラクション等を開催</p>

公 民 館 事 業 計 画

高 津 公 民 館

<p>公民館重点目標</p>	<p>～安心と安全のまち「たかつ」～</p> <p>1【住民交流】隣近所が支え合い、助け合って「みんなが明るく住みやすい」町等</p> <p>2【育児】親、子どもが自由に集まって、ふれ合い、遊び、子どもたちが元気に「健やかに育つ」町等</p> <p>3【高齢者】高齢者同士が交流し、地域の子もたちと触れ合って「明るく生き生きと生活する」町等</p> <p>4【障がい者】障がい者や障がいを正しく理解し、障がい者から真に求められる「手助けをする」町等</p> <p>5【青少年健全育成】子どもたちが友達や仲間たちとふれ合い、助け合い、理解し合って「共に成長する」町等</p> <p>6【環境】一人一人が気を配り、みんなの力で実現する「清潔で美しい」町等</p> <p>7【防災】想定される災害を正しく理解し、災害に備える「災害に強い」町等</p>
事業（講座）名	事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
シニア講座	高齢者の健康な心と身体を作り、充実した生活を送ること、社会的知識の習得のための講座を開催する。
女性セミナー	女性としての豊かな資質の形成と相互の交流を図る。
たんぽぽ・ふわり講座	乳幼児を育てる母親の交流の場として、託児付きの講座を実施する。
家庭教育講座	親子関係が希薄になり、ネグレクトなどの家庭問題が頻発している昨今、保護者同士の交流や子育ての一助となる講演会を実施する。
たかつ史跡めぐり	主に地域についての歴史を学び、地域への関心を育むと同時に、地域の人々の親睦や交流を深める。
健康講座	健康づくりと三世代交流を図るため、マリンパーク新居浜までの歩け歩け大会を開催する。体振・交通安全協会・社協・自治会・PTAなどの指導のもと軽スポーツ、交通指導、昔遊び、バーベキューを実施する。
スポーツ健康教室	日頃から体操に親しみ、身体を動かすことを定着させるため、専門の講師による指導を体振の協力を得て実施する。
たかつ花あふれるまちづくり	公民館の敷地内を中心に、地域各所での花づくりを通じて、地域住民の交流を図り、ボランティア精神を醸成する。
たかつ納涼夏祭り	盆踊り、各種模擬店、迷路、くじ引き大会などを開催し、三世代交流の夏祭りを実施。

公 民 館 事 業 計 画

浮島公民館

<p>公民館重点目標</p>	<p>～明るく元気な浮島校区の構築～ 1 青少年の健全0育成を地域の課題として取り組む。 2 高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進 3 「安全・安心」の地域の拠点としてのレベルアップ</p>
<p>事業（講座）名</p>	<p>事 業 内 容</p>
<p>地域教育力向上プロジェクト推進事業</p>	
<p>家庭学級講座</p>	<p>人権講座、手作り講座</p>
<p>男性料理教室</p>	<p>校区の男性が、季節の旬の食材を使い、料理の腕を磨く。</p>
<p>教養講座</p>	<p>身近な問題や疑問を解決すべく、専門家の話を聞いたり、文学や音楽に触れ、興味を持ち、身近に感じてもらう。</p>
<p>ものづくり講座</p>	<p>各分野の物作りを中心とした講座</p>
<p>健康講座</p>	<p>健康に寿命を延ばしたり、介護に至るまで各分野のお話を伺い知識を身に着ける。</p>
<p>伝統講座</p>	<p>昔ながらの伝統行事等を校区の子どもたちや住民に伝え、継承していく。</p>

公 民 館 事 業 計 画

惣 開 公 民 館

<p>公民館重点目標</p>	<p>～地域と共に歩む活気ある公民館づくりを目指して～ 1 事業の企画・運営への住民の参画促進と人材の育成・発掘を図る。 2 地域資源を活かしたまちづくり 3 地域住民に親しまれる公民館づくり</p>
<p>事業（講座）名</p>	<p>事 業 内 容</p>
<p>地域教育力向上プロジェクト推進事業</p>	
<p>生活文化講座</p>	<p>はじめての子育てや転勤などで不安を抱えている世代を対象に、同世代の交流を深めながら教養を高め、地域で家庭教育の向上を目指す。</p>
<p>遊YOUセミナー</p>	<p>多種多様な講座を開設し魅力ある地域づくりを行う。 人権教育、男女共同参画、健康教室、料理教室、手作り教室</p>
<p>シニア教室</p>	<p>三世代交流を深め、高齢者の交流、健康づくり・生きがいを感じる場をつくる。 健康教室、園芸教室、料理教室</p>
<p>王子が丘教室</p>	<p>魅力ある惣開を目指して、地域の方が講師となり、児童に古き良き時代の王子が丘を伝承する。 郷土料理教室、歴史講座等</p>
<p>三世代交流事業</p>	<p>校区住民の交流と伝統文化の継承を行い、各世代間交流と親睦を深める。 もちつき大会、七草がゆ</p>
<p>まちづくり事業</p>	<p>伝統文化の継承や歴史・文化を掘り起こし、まちづくりに繋げる。 夕涼み会、観月会、ふれあいウォーク、自然ふれあい体験</p>

公 民 館 事 業 計 画

若 宮 公 民 館

<p>公民館重点目標</p>	<p>・「地域と共に歩み育つ公民館」をスローガンとして家庭・学校・地域との連携をはかり、安全・安心で住みよい若宮地域づくりを目指す。 ・『ワクリエ新居浜』と連携・協力できることを模索しながら共に歩む公民館活動に取り組む。</p>
<p>事業（講座）名</p>	<p>事 業 内 容</p>
<p>地域教育力向上プロジェクト推進事業</p>	
<p>高齢者が安心して暮らせるまちづくり</p>	<p>高齢者一人一人が輝き、生涯現役となるようにソフト面において支援を心がける。 笑い、健康体操、ビデオ鑑賞、簡単料理、知って得するシニア講座等</p>
<p>趣味と教養</p>	<p>生活の知恵や趣味の世界を広げるために、体験講座を実施する。</p>
<p>環境にやさしいまちづくり</p>	<p>環境意識の高揚と実践を目指し、美しい地域づくりを行う。 花いっぱい運動、奉仕作業、環境講座等</p>
<p>安全・安心なまちづくり</p>	<p>地域の課題を明確にした防災活動への支援と防災意識の高揚を図る。 防災訓練、防災まち歩き、防災備蓄品の点検等</p>
<p>地域の伝統・歴史の伝承</p>	<p>年中行事の伝承や昔遊びを子どもたちに伝え、一緒に実施する。 昔遊び、紙ひこうき教室、書初大会、そうめん流し、七草粥等</p>
<p>スポーツと健康</p>	<p>スポーツを通して健康増進と地域の交流を図る。 軽スポーツ大会等</p>

公 民 館 事 業 計 画

垣 生 公 民 館

<p>公民館重点目標</p>	<p>～地域と共に歩む公民館～ 1 地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり 2 自ら学ぶ生涯学習の推進 3 各種団体・機関との連携強化 4 生活文化活動の振興 5 安全で住みたい垣生づくり</p>
<p>事業（講座）名</p>	<p>事 業 内 容</p>
<p>地域教育力向上プロジェクト推進事業</p>	
<p>高齢者講座</p>	<p>輪投げ大会、交通安全教室、奉仕作業、健康教室等、ものづくり教室</p>
<p>女性講座</p>	<p>人権学習、環境学習、手作り教室、健康教室</p>
<p>子育て支援講座</p>	<p>すくすくは～ぶ、親子健康教室、親子手作り教室</p>
<p>成人講座</p>	<p>男性料理教室、健康ウォーキング、健康体操等</p>
<p>垣生山遊歩道めぐり</p>	<p>垣生山遊歩道を巡る</p>
<p>スポーツ健康教室</p>	<p>年4回の軽スポーツ教室</p>
<p>ふるさと文化講座</p>	<p>じょうさ節教室、しめ縄作り、門松作り</p>
<p>三世代交流軽スポーツ大会</p>	<p>三世代交流軽スポーツ大会の開催</p>
<p>垣生環境美化事業</p>	<p>えひめA Iー2作り、緑のカーテン、垣生山遊歩道環境整備</p>
<p>イルミネーションファンタジー</p>	<p>公民館・垣生山を年末年始にかけて電飾で飾り、子どもたちも楽しみながら（垣生キッズ共和国）、活気ある校区づくりを盛り上げる。</p>

公 民 館 事 業 計 画

神 郷 公 民 館

<p>公民館重点目標</p>	<p>家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安心・安全で住みよいまちづくりを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 青少年の健全育成 2 地域の安全と安心の推進 3 地域福祉の拡充 4 生涯学習の推進と各サークル活動の支援 5 スポーツの推進と健康づくりの推進 6 お茶の間懇談会の拡充・強化 7 自主防災組織作りの拡充・強化 8 地域の環境美化の推進
<p>事業（講座）名</p>	<p>事 業 内 容</p>
<p>地域教育力向上プロジェクト推進事業</p>	
<p>高齢者講座</p>	<p>高齢者が生き生きと生活し交流することを目的として実施する。 認知症サポーター養成講座、男の料理、頭の体操等</p>
<p>いきいきセミナー</p>	<p>年齢、性別を問わず各人の教養、技能を高めて生活に活かすために実施する。 史跡めぐり、干支作り、料理等</p>
<p>乳幼児期家庭づくり講座</p>	<p>乳幼児をもつ保護者同士の情報交換、子育て支援を目的に実施する。 サマーレクリエーション、餅つき、パン教室等</p>
<p>三世代交流事業</p>	<p>伝統文化を次世代に伝えるとともに、三世代交流、青少年の健全育成を目的に実施する。 ウォーキング、凧作り、しめ縄作り、昔の遊び、夏まつり等</p>
<p>いきいきクラブ事業</p>	<p>地域住民の交流の場をつくることを目的に、郷土食の芋炊きや七草がゆで季節感や伝統文化を味わう。ピザ窯を有効活用し、地域活性化を図る。</p>
<p>スポーツ健康教室</p>	<p>地域住民の健康作り、多世代交流を目的に軽スポーツに触れ合う機会を作る。</p>
<p>神郷環境美化事業</p>	<p>地域住民の交流、ボランティア精神の醸成を目的に忠魂碑広場の整備、紫陽花の植樹、公民館花壇の整備、神郷公園の清掃等を行う。</p>

公 民 館 事 業 計 画

多喜浜公民館

公民館重点目標	<p>～笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進 2 世代間の交流、人材の発掘 3 学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成 4 郷土の伝統文化・塩田歴史文化・「かしよい」精神の継承 5 人権・同和教育の推進
事業（講座）名	事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
健康講座	スポーツ健康教室、健康セミナー、健康体操教室
育成事業	青少年健全育成協議会講演、親子ふれあい講座、人権同和教育救命救急研修
婦人講座	手芸教室、マナー教室
福祉講座	介護予防教室、認知症予防講座
食育・料理講座	栄養講座、伝統料理教室、親子料理教室、男の料理教室、スイーツ教室
高齢者大学	人権教育、交通安全教室、軽スポーツ、笑いヨガ
三世代交流事業	陶芸（多喜浜焼き）教室、しめ縄教室、昔の遊び教室、イルミネーション
塩田文化バンク	塩田踊り教室、塩田ウォーク、塩田講座
環境・美化講座	環境美化活動・海岸清掃、A Iー2 講座、見廻りパトロール、花いっぱい運動、環境講座
まちづくり講座	防災・減災講座、防災マップ講座、危険箇所パトロール、交通安全講座

交 流 セ ン タ ー 事 業 計 画

大島交流センター

<p>交流センター重点目標</p>	<p>～地域住民に親しまれるセンターづくり～ 1 高齢者が楽しみながら健康維持できる推進事業 2 歴史と自然を守り伝統文化の伝承 3 住民どうしのつながりと安全・安心なまちづくり</p>
<p>事業（講座）名</p>	<p>事 業 内 容</p>
<p>地域教育力向上プロジェクト推進事業</p>	
<p>教養講座</p>	<p>男の料理教室、絵手紙教室、ポーセラーツ、寄せ植え、染色</p>
<p>高齢者講座</p>	<p>健康体操、輪投げ大会、PPK体操、人権学習</p>
<p>伝統文化の継承</p>	<p>七夕集会、念仏踊り（口説き）の練習、史跡巡り</p>
<p>防災教室</p>	<p>防災運動会</p>
<p>みんなの作品展</p>	<p>文化祭作品展</p>

公 民 館 事 業 計 画

泉 川 公 民 館

<p>公民館重点目標</p>	<p>～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「笑顔」あふれる公民館、「あいさつ」があふれる公民館を目標とし、利用者が親しみの持てる公民館を目指します。 2 幼児から高齢者が気軽に参加できる事業展開と発信を行い、地域住民の協力・支援を求め、支援をしていただきます。 3 学校と地域が連携して一人一人の子供が成長するよう支援していきます。また、子ども達にも地域への参加を働きかけ、地域活動の活性化も目指します。 4 地域活動を継承していくための後継者不足がみられますので、将来に向けて話し合う場を設けていきます。 5 安全で安心できる住みよいまちづくりを目指します。 6 新居浜市が目ざしている「地域まちづくり組織の今後の方向性について」公民館の在り方について検討していきます。
<p>事業（講座）名</p>	<p>事 業 内 容</p>
<p>地域教育力向上プロジェクト推進事業</p>	
<p>高齢者講座</p>	<p>健康寿命の延伸をはじめとして、高齢者の健康や教養の向上を図る講座を開設。</p>
<p>なんでも学習会</p>	<p>公民館までは少し遠いし、用事があって夜出かけるのは難しい参加者の為に自治会館での学習機会を作り、主に健康寿命延伸、健康体操や人権教育等についての講座を開設。</p>
<p>ふるさと塾</p>	<p>校区内の不特定多数を対象に、介護・交通安全・趣味など普段の生活に役立つ内容の講座を実施し、地域住民が主体的に取り組める地域づくりや課題解決に取り組む。</p>
<p>伝統文化講座</p>	<p>公民館で活動するサークルの発表等を通して伝統文化の継承をできるようにしていく。また、郷土芸能保存の為の継続的な活動を行う。</p>
<p>まちづくり講座</p>	<p>星原市や防災運動会といった校区住民全員が参加できる行事を通して、より良く住みやすいまちづくりができるよう取り組む。</p>
<p>伝統行事を伝える</p>	<p>核家族化で、祖父母と生活する子どもたちも少なくなっており、昔から伝わる伝統行事を体験する機会が少なくなっている。高齢者・地域・保護者・児童と三世代での交流を深め、伝統行事を継承していくよう実施する。</p>

公 民 館 事 業 計 画

中 萩 公 民 館

<p>公民館重点目標</p>	<p>～地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す～ 「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町 日本一の中萩」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生涯学習・生涯スポーツ活動の推進 2 青少年健全育成の推進 3 社会福祉活動の推進 4 人権・同和教育の推進 5 安心・安全な地域づくりの推進
<p>事業（講座）名</p>	<p>事 業 内 容</p>
<p>地域教育力向上プロジェクト推進事業</p>	
<p>中萩セミナー</p>	<p>教養や趣味を高め、地域へのボランティア活動などを視野に入れた内容を企画運営し、充実を図る。</p>
<p>高齢者セミナー</p>	<p>高齢者の生きがいづくりを進めるため、軽スポーツ競技、小学生とのふれあい活動、伝統文化の継承、介護予防講座、交通安全教室等を実施する。</p>
<p>健康セミナー</p>	<p>地域住民の健康づくりを推進するため、各種軽スポーツの実施や健康についての講座を実施する。</p>
<p>福祉セミナー</p>	<p>これから迎える「超高齢化社会」をできる限り穏やかで有意義な生活を過ごせるように、介護する側もされる側もともに学ぶことを推進する。</p>
<p>十河信二翁を知り学ぶ活動</p>	<p>地域の偉人である十河信二翁に対して、偲ぶ会や展示、通学路を歩く会などの活動を通して知り学ぶことを推進する。</p>
<p>中萩三世代交流事業</p>	<p>三世代の交流と絆を深めることを目的に、地域の子どもたちに伝統や文化を継承していくための事業を実施する。</p>
<p>環境改善事業</p>	<p>自然保護のために、家庭排水などの浄化を図る活動を推進する。また、花を育てるなど、環境整備活動を推進する。</p>
<p>まちづくり推進事業</p>	<p>地域に活力をもたらす様々なことや地域の問題を話し合い、集うことで解決策を探り、地域力を養い、今後の公民館・地域の方向性を探る場となることを目指す。</p>
<p>ふたごクラブ</p>	<p>多胎児を妊娠中または育児中の方が、子育てに対する不安や悩みを相談できる場・同じ悩みを抱える保護者同士の交流の場をつくる。</p>

公 民 館 事 業 計 画

船 木 公 民 館

<p>公民館重点目標</p>	<p>～安全で安心して快適に暮らせるまちづくり～ 1 学校・家庭・地域の連携強化による青少年の健全育成 2 心豊かな福祉のまちづくりの推進 3 一人ひとりの学ぶ心を大切にする生涯学習の推進 4 人権・同和学習の推進 5 地域に根ざした親しまれる公民館づくり</p>
<p>事業（講座）名</p>	<p>事 業 内 容</p>
<p>地域教育力向上プロジェクト推進事業</p>	
<p>人権講座</p>	<p>人権について講話を聞き、共に考える場をつくる。</p>
<p>環境講座</p>	<p>児童・地域が協力し、花づくり等の環境整備をし、ボランティア精神を育てる。 グリーンカーテンを作ろう、花いっぱい運動</p>
<p>健康講座</p>	<p>健康づくりに関心を持ち、誰でもできる運動により、健康寿命を延ばす。 健康運動教室</p>
<p>伝統文化講座</p>	<p>日本や船木地域に残る伝統文化の継承を行う。 七夕教室、かぶと踊り教室、七草教室、とうどまつり、鏡開き、昔の遊び教室、仏教に学ぶ</p>
<p>芸能祭</p>	<p>主に公民館等で活動するサークルの発表の場とする。小・中学校の音楽部も出演する。</p>
<p>こども講座</p>	<p>夏休み等、長期の休暇を利用し、学ぶ、遊ぶ、運動するなどの機械を設ける。 理科教室（手芸、料理）、カルビーおやつ教室、絵手紙教室、手芸教室、子どもスポーツ教室</p>
<p>HAPPYクッキング講座</p>	<p>男女問わず、料理作りを通じて、より健康な生活をするために、食に関心を持ってもらう。</p>
<p>趣味講座</p>	<p>モノづくりを通じて、新しい世界や知識にふれ、交流の場をつくる。 エコクラフト教室、陶芸教室、手芸教室</p>
<p>地域づくり講座</p>	<p>安全・安心なまちづくり、地域づくりのために、幅広い世代を対象とした訓練や講座を行う。 消防訓練、交通安全教室</p>
<p>船木を歩こう</p>	<p>多くの史跡が残る船木を歩き、貴重な郷土遺産を知りつつ、健康増進を図る。</p>
<p>三世代交流事業</p>	<p>各世代の得意分野で力を発揮し、連帯感を養い、三世代交流を図る。 盆踊り教室、そうめん流し</p>

公 民 館 事 業 計 画

大 生 院 公 民 館

<p>公民館重点目標</p>	<p>～地域住民が集まり、共に進む公民館～ 1 事業の企画・運営への住民の参画促進 2 地域歴史遺産を生かした特色ある事業の推進 3 自主防災組織の更なる充実と意識の向上 4 子どもの居場所づくりと交流</p>
<p>事業（講座）名</p>	<p>事 業 内 容</p>
<p>地域教育力向上プロジェクト推進事業</p>	
<p>高齢者いきいきセミナー</p>	<p>校区の高齢者を対象に、学習を通して、健康づくりや仲間づくりができる場を提供する。</p>
<p>くらしのセミナー</p>	<p>文化教養を深めるため、多種多様な講座を開設し、仲間づくりができる場を提供する。</p>
<p>子育て支援セミナー</p>	<p>未就学児とその保護者を対象とした、情報交換や交流の場を提供し、心身共にリフレッシュしてもらえようような子育て支援を行う。</p>
<p>郷土の歴史と文化</p>	<p>大生院校区の豊かな自然、史跡や歴史、偉人について学び、地域への関心と愛情を育む。 歩いてゆく大野山ツアー、近藤篤山の孝道を訪ねて</p>
<p>スポーツ健康教室</p>	<p>校区住民を対象に、軽スポーツ（グラウンドゴルフ、ペタンク、カローリング等）を通して、各世代交流や健康増進を図る。</p>
<p>三世代交流事業</p>	<p>地域の大人と子どもが伝統文化に触れ、学びながら交流を図り、親睦を深める。 たのも団子、昔の遊び、しめ縄作り、七草がゆ</p>
<p>大生院まちづくり事業</p>	<p>安心安全なまちづくり、魅力あるまちづくりに取り組むべく熟議を重ね、地域活性化を目指す。</p>

公 民 館 事 業 計 画

角 野 公 民 館

<p>公民館重点目標</p>	<p>～共に学び・話し・喜び合える地域づくりを目指して～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 思いやる心を育てる生涯学習を推進し将来を見据えた地域づくり 2 伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり 3 学社融合で青少年健全育成、安全で安心の地域づくり 4 自分達で命を守る防災意識の確立を図る地域づくり 5 三世代交流や人と自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり
<p>事業（講座）名</p>	<p>事 業 内 容</p>
<p>地域教育力向上プロジェクト推進事業</p>	
<p>合同セミナー</p>	<p>異世代交流を目的とし、各種団体の協力を得て、子どもたちが地域の人との交流を図り、より良い人間関係・地域関係を築き、コミュニティの活性化を図る。 開講式記念講演会、ウォークラリー、おはようラジオ体操、三世代交流事業、しめ縄作り教室、閉講式記念講演会</p>
<p>手作りセミナー</p>	<p>生涯学習委員会が中心となり、文化教養を高める講座を企画し、新たな自分と出会える場にする。ハンドクリーム作り、バスボム作り、干支作り</p>
<p>いき生き生活セミナー</p>	<p>高齢者を中心に、情報交換の場を提供する。健康で生き生きとした生活をおくり高め合い、地域に必要とされる高齢者になることを目的とし、よりよい仲間づくりへと進展させる。 脳いきいきアート、体操、ジオパーク見学、各種講座</p>
<p>スポーツ健康教室</p>	<p>各種スポーツを通じ、角野校区社会体育振興会と連携を図り、元気な体づくりを推進する。</p>
<p>未来まちづくりプラン</p>	<p>地域づくりに関わる将来の担い手呼び込むため、小・中学校との連携を強化する。防災訓練教育、知らなかった地域の宝を見つける。環境に配慮した環境緑化推進事業。 地域新発見探訪、すみのシェイクアウト、防災サバイバルキャンプ、不思議な世界を体験しよう（マジックショー）</p>
<p>伝統文化プラン</p>	<p>地域と学校が連携し、地域に残る近代化産業遺産や身近な歴史を深く知り学ぶことを目標とし次世代に託す。地域・高校生・中学生を交え、様々に触れ合う機会を作り、経験を積み重ねる。 ちびっこ相撲、観月祭、とうどおくり</p>
<p>家庭教育セミナー</p>	<p>子どもたちの健全育成のために、親子関係、地域の大人とのコミュニケーションを深める。社会の担い手を育成する。 理科教室、子ども習字教室、揺れるクレイの熱帯魚づくり</p>

公 民 館 事 業 計 画

別子山公民館

<p>公民館重点目標</p>	<p>～地域づくりの拠点として、暖かくぬくもりのある公民館を目指して～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校・地域との連携を図り、地域活性化に繋げる。 2 伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る。 3 人権・同和教育の推進 4 青少年の健全育成を図る。 5 世代間交流の充実強化
<p>事業（講座）名</p>	<p>事 業 内 容</p>
<p>地域教育力向上プロジェクト推進事業</p>	
<p>スポーツ教室</p>	<p>健康で健全な生活を目的に、スポーツ教室を通じて、健康な身体づくり及び体力の向上に結びつける。 バドミントン、ソフトバレーボール</p>
<p>食文化の発掘継承</p>	<p>地域内の食材を活かした食文化を発掘し新たな郷土料理の開発を行い、保存伝承に結び付ける。</p>
<p>植物自然観察学習会</p>	<p>園芸研究所長を講師に高知県立牧野植物園等を視察研修し、地元植物の保護育成に役立てる。</p>
<p>登山体験</p>	<p>地域内外で働く住民を対象に、自然を体感し、健全な心と体を養うことを目的に、登山を実施し、心身のリフレッシュを行う。</p>
<p>高齢者配布餅つき</p>	<p>地域の高齢者を対象に配布を行う餅をつくり、高齢者の皆さんに少しでも豊かで想いのこもった年始を迎えていただくために実施する。</p>
<p>別子校区秋季大運動会</p>	<p>学校と地域が一体となって運動会を実施し、住民の体力の向上と連帯感の育成を行い、地域内外との人的交流を図ることを目的に実施する。</p>
<p>地域文化の伝承</p>	<p>人口減少と高齢化により地域文化の伝承が難しくなっています。特に様々な穀類を利用した食文化も残さなければ伝承は難しいと考える。 ・豆腐作り ・こんにゃく作り ・そば打ち等</p>

青少年センター

重点目標

- 1 「見せる補導」を徹底し、非行の未然防止に努める。
- 2 学校周辺を巡回し、児童生徒の安全確保に努める。
- 3 安全情報ネットワークの整備に努める。

重点事項

1 健全育成活動の推進

- (1) 青少年の非行・被害防止全国強調月間（7月）、子ども・若者育成支援強調月間（11月）の推進
- (2) 青少年善行表彰

2 相談活動の推進

- (1) 相談業務の周知徹底、積極的な相談活動
- (2) 適切な資料提供並びに専門機関への紹介

3 少年補導委員による補導活動の充実

- (1) 地域に密着した昼夜の街頭補導
- (2) 夏祭り、花火大会、年末等における特別街頭補導
- (3) 支部長による広域補導

4 環境浄化活動の推進

- (1) 危険箇所、非行集団等のたまり場の早期発見と指導
- (2) 未成年者喫煙、飲酒防止の推進

5 情報収集と啓発活動の充実

- (1) 青少年健全育成入選標語の広報による周知、啓発
- (2) ホームページによる情報発信
- (3) センターだよりの発行

6 研修活動

- (1) 少年補導委員研修大会の実施
- (2) 各種研修会への派遣

7 関係機関・団体・学校等との連携強化

- (1) 学校・警察・児童相談所等との相互情報交換並びに連携の推進
- (2) 少年補導委員会等（支部長会）の開催
- (3) 青少年健全育成、非行防止に関する各種会合等への積極的な参加

施設状況

所在地	開設年月日	構造	敷地面積(m ²)	建物延面積(m ²)	電話	所長氏名
繁本町8番65号	昭和39.7.16	鉄筋コンクリート造 2階建	403.68	403.68	33-4152	藤田 秀喜

地区別少年補導委員の状況

(令和4年4月1日現在)

地区別	補導委員数		
	男(人)	女(人)	計(人)
川西地区	41	16	57
川東地区	33	21	54
上部地区	47	27	74
計	121	64	185

生涯学習センター

重点目標

多様化し複雑化する課題と社会の変化への対応のために、学ぶことと学びの成果を活かす循環型の学習社会づくりを目指す。「SDGsの実現」「ウェルビーイングの実現」「ニューノーマルへの挑戦」をテーマに掲げ、個人の成長と地域社会の発展の双方に貢献する、「開かれ、つながる生涯学習」の実現のために、学習者が主体的に取り組む体制づくりを推進する。ポストコロナの時代に向け、従来の集合形態の講座体系のみならず、新しい学習形態を模索する。

重点事項

1 生涯学習大学事業の推進

- (1) 大学、工業高等専門学校等の高等教育機関等との協働により、日本文学講座、松山大学公開講座、新居浜高専市民講座等、市民の専門化・高度化した学習要求に応える講座を開設する。
- (2) 市民の多様なニーズ、時代の変化に対応した講座や必要課題に関する講座を開設する。
- (3) 新しい学習メニューの提供、市民への幅広い情報発信により新たな層の参加を図るとともに、生涯学習推進員、スタッフが企画運営を担う、自主運営型の生涯学習大学を目指す。
- (4) 生涯学習の人材育成を目指し、生涯学習大学で培ったノウハウを地域づくりに還元できる仕組みづくりを推進する。
- (5) リモートの有効活用を図り、「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる学習環境の普及啓発を図る。

2 生涯学習情報の収集・提供及び学習体制の充実

- (1) 県生涯学習情報システムの有効活用を図る。
- (2) 生涯学習に関する情報を収集するとともに、「悠游たより」等により情報の提供及び交換を行う。
- (3) 生涯学習の情報網を整備し、学習体制を充実させる。

3 生涯学習を推進するネットワークの促進

- (1) 公民館、高齢者生きがい創造学園等との連携を密にするとともに、市社会教育課をはじめ市内の生涯学習関連機関、施設、事業所等との関係性を強化し、より多くの市民が学習に取り組むことができる生涯学習ネットワークの構築に努める。
- (2) 社会教育団体をはじめとする生涯学習に関連する団体との連携の強化に努め、各種事業を展開する。
- (3) 市内の人材の発掘と育成を進め、より多くの人材が活躍できる仕組みをつくる。

4 生涯学習に関連する指導者の育成と生涯学習のまちづくりの推進

- (1) 生涯学習まちづくり事業の企画運営に関わる人材育成のための研修機会の充実を図る。
- (2) 「まなびすと」（生涯学習大学の企画運営支援者）の組織化、活動分野の拡充を図る。
- (3) 生涯学習ボランティアの実践活動の拡充を目指す。

5 メディアライブラリー機能の整備と有効活用

- (1) 自主教材の製作をすすめ、教材としての活用を図る。
- (2) 視聴覚指導者の育成を図る。

施設状況

所在地	開設年月日	構造	敷地面積(m ²)	建物延面積(m ²)	電話	所長氏名
繁本町8番65号	平成3.4.1	鉄筋コンクリート造 (市民文化センター本館2階)	—	—	33-2991	関 福生

高 齢 者 生 き が い 創 造 学 園

重点目標

高齢化が急速に進展する社会の中で、ボランティア活動を行い、共に学ぶ喜びを共有することによって、生きがいを見つける学習機会を提供する。

重点事項

1 講座の開設

概ね60歳以上の方を対象に、講座を開設して高齢者の要望に応え、高齢者の基本的要求である健康維持と、生活上の諸問題をテーマとする講座と講義や実技を通して学習を楽しみ、生きがいの創造をテーマとする講座を設ける。

2 サークル活動

- (1) 講座終了者が、自主的で幅広い活動ができるようにする。
- (2) 週1回程度活動し、学習の深化・発展を図り、自由に積極的に学習する機会を提供する。
- (3) サークルごとに会員登録を行い、代表者を中心に年間計画を立てて自主的な運営を図るとともに、学園の全体活動への積極的な参加を促進する。

3 代表者会活動

学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図る。代表者会は、学園の各講座受講者とサークル会員の互選により選出された代表者で構成され、総務・広報・体育・文化・音楽のいずれかの委員会に属する。

4 ボランティア活動の推進

高齢者の豊かな経験と知識・技能を広く社会に還元できるよう学習をうながし、それによって自らの生きがい発見の場とさせる。

- (1) 受講者のボランティア活動について啓発を図る。
- (2) その活動を通して仲間作りに発展するように努める。
- (3) 関係諸団体との連絡を密にして、現地研修、講師を招いての学習をすすめることによってボランティア活動の推進を図る。

5 生き方の啓発や学習情報の提供

高齢者にとっての必要な情報を把握し、その提供に努める。

- (1) 学園月刊紙「生きがい」を発行し、学園の全体的な学習活動を中心とした情報の提供や生き方の啓発に努める。
- (2) アンケート調査やその他の方法によって受講者の要望を把握するとともに、掲示や学習資料・チラシ等を通してその期待に応えるようにする。

6 関係機関との連携

庁内関係各課はもちろん、各公民館・各交流センター・各シニア交流センターなどの関係機関との連携を密にし、協力する。

講座編成については、他機関のものとの重複を避け、講座の設置目的を明確にする。

施設状況

所在地	開設年月日	構造	敷地面積(m ²)	建物延面積(m ²)	電話	園長氏名
上原二丁目8番1号	平成5.4.1	鉄筋コンクリート造2階建	18,684.23	3,759.85	44-4826	佐々木篤志

図 書 館

第 1 最重要課題

生涯学習及び地域情報拠点としての図書館機能の充実

第 2 重点事項（取組方針）

1 読書活動の推進と機会の提供、生涯学習の支援

市民の自主的、自発的な学習活動を支援するため、時代の変化や市民ニーズに対応した図書資料の充実を図るとともに、各種事業等の実施を通じ学習機会・場所の提供に努める。

（具体策）こども読書通帳マラソンの実施、お話会の充実（幼児対象、小学生対象、季節行事のお話会等）、読み聞かせ講座の開催、「夏休みは図書館へ行こう！」等子ども向けイベントの開催、図書館まつり（ブックリサイクル、講演会、図書館見学など）、展示コーナーの充実、健康・ビジネス・地域活性化支援コーナーの充実、ホール・会議室等における文化集会事業の利用促進、SDG s 普及啓発活動（関連書籍やチラシ等の特設展示）、電子図書館の利用促進、家族ぐるみで本に親しめる企画の推進

2 関係機関との連携による地域の情報拠点化の推進

地域課題の解決等を支援するため、公共図書館相互の連携のみならず、学校や学校図書館、病院や福祉施設、地域企業等との連携を強化し、市民にとって有益な情報の収集及び発信に努める。

（具体策）図書館ネットワーク・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスによる資料提供、愛媛県立図書館図書の遠隔地返却サービス協力、ブックスタート事業、出前講座、リサイクル図書等の活用、移動図書館の利用促進、病院等施設内での利用案内の掲示、新入小学生への案内の配布・図書館カードの作成、地域企業等との協働イベント並びに雑誌スポンサー制度の推進及びタイアップセミナーの開催、市担当課及び関連団体等の図書館ロビー展開催の推進

3 地域資料の保存と情報発信、ふるさと学習の推進

郷土の歴史や文化を次世代に継承するため、郷土・行政資料を積極的に収集・保存し、郷土出身者や郷土の産業遺産等についての情報発信を行う。

（具体策）古文書等のデータベース化、愛媛新聞公開データベースの閲覧、別子銅山コーナー・住友関連コーナー・住友関連企業社史コーナーの充実、「別子銅山に関する本の解説講座」等の実施、住友老社会文庫の活用研究

4 図書館PR活動の充実

図書館の活動をより多くの市民の方に知っていただき図書館の利用促進につなげるため、あらゆる情報媒体を活用し、PR活動を推進する。

（具体策）図書館行事・活動の広報及び報告等を行うホームページ内容の充実、メールマガジンの発行、図書館通路等掲示板の有効活用、イメージキャラクター「としょくん」の活用、県内図書館特設サイトの有効活用、学校司書等との連携による各小中学校でのPR活動

5 図書館運営における市民サポーター制度の推進強化

図書館サポーターとの協働による図書館支援の強化を図るとともに活動の情報発信に取り組み、サポーター登録者の拡大と活性化を図る。

（内容）配架活動、修理活動、館内環境美化活動、読み聞かせ、イベントへの協働活動

6 施設・設備の計画的な維持管理

令和4年度に開館30周年を迎え修繕必要箇所も多くなっていることから、来館いただく方に今後もより安心して利用いただけるよう長期的な施設・設備の維持管理計画に基づき、計画的な修繕等を実施する。

第3 主な事業

1 図書館利用促進事業 (23,168 千円)

図書館は地域の情報拠点・生涯学習支援施設としての役割を果たすことが必要であり、市民が必要とする資料・情報の提供を行う。

- ・図書・オーディオビジュアル資料等購入

第4 施設状況

施設名	所在地	建設年月	構造	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	電話	館長氏名
別子銅山 記念図書館 (本館)	北新町10番 1号	平成 4.3	鉄筋コンクリート造 陸屋根・銅板葺 地下1階付2階建	16,534	3,072	32-1911	近藤 明美
角野分館	中筋町二丁目 4番24号	昭和 54.7	鉄筋コンクリート造 2階建	—	162	41-6217	

資料数

1 図書

(R 4. 3. 31 現在・単位：冊)

区分 分類	本 館				移動図書館		角 野 分 館			合計
	一般	児童	郷土	参考資料	一般	児童	一般	児童	参考資料	
0 総記	(242) 9,661	(43) 836	(29) 1,997	(43) 2,397	(4) 46	(8) 135	(11) 516	(12) 176	(19) 74	(411) 15,838
1 哲学	(183) 10,344	(43) 671	(8) 192	(0) 420	(14) 111	(5) 154	(19) 316	(4) 127	(0) 2	(276) 12,337
2 歴史	(491) 18,608	(96) 2,872	(97) 2,914	(20) 962	(27) 189	(14) 510	(26) 659	(39) 616	(0) 28	(810) 27,358
3 社会	(677) 22,173	(116) 2,803	(90) 3,355	(35) 920	(51) 248	(18) 227	(42) 678	(63) 436	(0) 4	(1,092) 30,844
4 自然	(552) 13,787	(277) 5,326	(11) 410	(7) 497	(67) 417	(79) 827	(45) 585	(64) 1,143	(0) 13	(1,102) 23,005
5 工学	(644) 15,515	(81) 1,577	(17) 754	(38) 502	(78) 1,019	(12) 290	(78) 1,134	(23) 380	(0) 4	(971) 21,175
6 産業	(187) 5,270	(41) 1,083	(14) 630	(2) 173	(31) 166	(11) 141	(6) 198	(13) 186	(0) 1	(305) 7,848
7 芸術	(531) 22,599	(157) 3,592	(39) 665	(5) 258	(74) 706	(31) 912	(20) 745	(21) 749	(0) 0	(878) 30,226
8 語学	(125) 3,107	(26) 652	(3) 37	(3) 402	(8) 31	(5) 111	(2) 111	(5) 151	(0) 21	(177) 4,623
9 文学	(2,535) 78,280	(667) 24,002	(67) 1,261	(4) 372	(256) 2,446	(147) 3,246	(416) 6,538	(146) 3,274	(0) 3	(4,238) 119,422
C紙芝居		(50) 1,875				(1) 262		(5) 244		(56) 2,381
E絵本		(1,015) 29,591				(304) 4,878		(197) 3,849		(1,516) 38,318
その他										
計	(6,167) 199,344	(2,612) 74,880	(375) 12,215	(157) 6,903	(610) 5,379	(635) 11,693	(665) 11,480	(592) 11,331	(19) 150	(11,832) 333,375

2 AV資料 (R 4. 3. 31 現在・単位：点)

A V 資 料	
C T (カセットテープ)	(0) 34
V T (ビデオテープ)	(0) 66
C D	(45) 3,179
D V D	(69) 2,013
計	(114) 5,292

()内は本年度受入数

3 電子書籍

(R 4. 3. 31 現在・単位：点)

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	E 絵本	計
資料数	(7) 19	(13) 31	(14) 54	(14) 100	(26) 160	(26) 112	(7) 22	(25) 110	(5) 52	(146) 589	(9) 50	(292) 1,299

()内は本年度受入数

学 校 教 育 課

第 1 最 重 要 課 題

誰ひとり取り残さない教育の実現

第 2 重 点 事 項 (取 組 方 針) ～ 「 チ ー ム と し て の 学 校 」 の 機 能 強 化 ～

1 「持続可能な社会」の担い手育成に向けた、地域とともに育つ学校づくり

(1) 地域とともに育つ学校づくりの推進

市内の全小・中学校にコミュニティ・スクールを導入しており、地域と学校が公式のパートナーとして、ともに子どもたちを育て、ともにつくる「地域とともに育つ学校づくり」を推進する。

ア コミュニティ・スクール推進事業と地域学校協働本部の一体的な推進

イ コミュニティ・スクールに係る研修等の実施

ウ 学校・家庭・地域連携推進事業

エ 別子中学校学び創生事業

(2) 学校・地域の特色を生かした教育活動の展開

市内の全小・中学校がユネスコスクールに認定されており、ユネスコスクールとしてESDの視点に立った特色ある学校づくりに取り組むとともに、持続可能な社会の担い手を育てるため、学校と地域が連携して自主的に創意工夫を凝らした教育活動を展開する。また、それらの教育活動がどのSDGs（持続可能な開発目標）達成に向けたものなのかを明確にすることで、より深化した学びとなるよう努める。

ア ふるさと学習の充実【ふるさと学習奨励賞】【新居浜ものしり検定】

イ 環境教育の充実

(3) 放課後における子どもの居場所づくりと子どもたちの健全育成の推進

放課後における子どもの居場所づくりとともに、子どもたちの健全育成に取り組むため、放課後児童クラブ、放課後子ども教室、放課後まなび塾の一体的な運営の推進を図る。

ア 放課後児童クラブ運営事業

イ 放課後子ども教室、放課後まなび塾の充実

ウ 放課後児童クラブ、放課後子ども教室、放課後まなび塾を連携して実施

エ 長期休業中の放課後まなび塾の実施

2 互いの人権を尊重し、一人一人が支え合い、認め合う人間関係づくり

不登校やいじめによる学校や社会への適応が難しい児童生徒の学校復帰と社会的自立を目指し、学校、家庭、地域と関係機関及び専門家との連携を進めながら、チームとして支援に取り組む。また、「目指す子ども像」を「しなやかさとたくましさをもち未来を拓く子」とし、学校における学級経営改善を図るとともに、いじめ・不登校の未然防止と早期対応の強化、人権教育の推進に努める。

(1) いじめ・不登校対策の推進

(2) 差別解消に主体的に取り組む児童生徒の育成

(3) 自分の大切さとともに他の人の大切さを認めながら、ともに生きていこうとする実践的な態度の育成

(4) 「人のことを大切に聞く」「勇気づけの声掛け（ボイスシャワー）」の実践

(5) 教育力向上のためのQ-U検査の活用

3 生きる力を育む教育の推進

確かな学力の定着と向上を図るための学習指導の改善に努める。主体的に学ぶ力を身に付けるとともに、基礎的知識や技能を習得させ、課題解決能力を育てる学習の充実を推進する。

(1) 英語力の向上【生きた英語教育推進事業－ALT】【英検受験奨励事業】

(2) 学校図書館支援センターの学校司書派遣による授業支援

(3) イングリッシュサマースクールの開催

- (4) 小中学生あかがね算数・数学コンテストの開催
- (5) 小中学生科学奨励賞事業の開催
- (6) 中学生弁論大会の開催
- (7) 中学生英語スピーチコンテストの開催
- (8) えひめジョブチャレンジU-15事業の実施
- (9) 小中学校音楽発表会の開催

4 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化

次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の在り方と業務改善のためのタスクフォース報告に基づき、学校の業務改善を推進する。

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の研究・推進
- (2) 新居浜市授業モデルに即した実践的な授業研究の推進
- (3) 新居浜市教育研究所の機能強化（学力向上部会・道徳性向上部会・体力向上部会・地域連携力向上部会）
- (4) 校務支援システムの活用
- (5) 部活動指導員の配置
- (6) 教員のICT活用スキルの向上
- (7) スクール・サポート・スタッフの配置

5 安全・安心で充実した教育環境の整備

- (1) 小中学校での感染症対策の実施
- (2) 小中学校での防災教育の実施
- (3) ICT機器を活用した教育の推進
- (4) 小中学校の適正規模・適正配置等に関する基本計画の策定
- (5) 学校施設の長寿命化の推進
- (6) 学校施設環境整備工事の実施
- (7) (仮称) 新居浜市西部学校給食センター整備事業の実施

第3 主な事業

1 学校給食センター建設事業（1,465,090千円、繰越47,808千円）

令和2年8月に見直しを行った「新居浜市学校給食施設整備基本計画」に基づき、老朽化した小学校単独調理場等の代替施設として、HACCPの概念のもと、学校給食衛生管理基準に適合した新たな施設を設計・施工一括発注方式（DB方式）で整備する。令和4年度は実施設計を終え、建設工事に着手する。

2 小中学校ICT環境整備推進事業（349,461千円）

国のGIGAスクール構想に基づき整備した、小・中学生1人に1台のタブレット端末や電子黒板などを活用し、学校のICT化を推進する。

新居浜市教育研究所の概要

1 沿革の概要

昭和33年3月31日 新居浜市教育研究所設置条例に基づき、新居浜市教育研究所を置く。

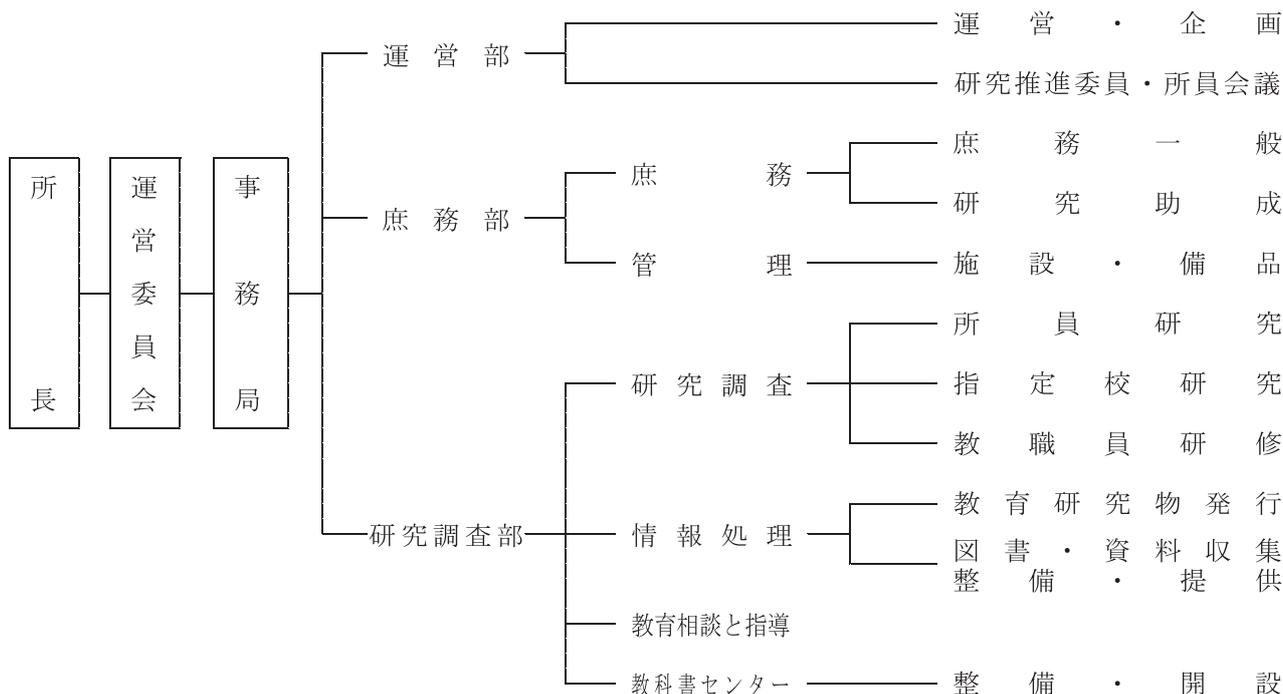
昭和46年6月 教育会館の2階に教育研究室を設ける。

平成30年度 第22期新居浜市教育研究所の発足

令和2年度 第23期新居浜市教育研究所の発足

令和4年度 第24期新居浜市教育研究所の発足

2 機構・組織



3 事業内容

- (1) 教育に関する専門的、技術的事項の研究
 - ア 研究所員による「テーマ研究」
 - イ 研究指定校との連携による「共同研究」
 - ウ 第24期新居浜市教育研究所
 - エ 新居浜市教育力向上推進委員会
- (2) 教育に関する調査及び各種教育資料の作成及び共有（データ）
 - ア 教育研究物の発行
 - 3・4年生用社会科副読本
 - 研究紀要
 - イ 教育に関する調査と資料の作成
 - ふるさと学習
- (3) 教育関係職員の研修
 - 教科研修等
- (4) 教育図書・資料及び教科書センターの経営
 - ア 図書の整備、閲覧、貸出し
 - イ 各種資料の収集、整理、提供
 - ウ 教科書センターの整備と開設

4 研究のあゆみと歴代研究所長

氏名	就任年月日	離任年月日	研究期・研究主題等
藤田 弥一郎	昭和33年4月1日	昭和37年3月31日	第1期 科学技術教育研究会 第2期
河野 貫	昭和37年4月1日	昭和40年3月31日	第3期 授業の分析
岡田 信秋	昭和40年4月1日	昭和43年3月31日	第4期 授業の分析
尾崎 健次郎	昭和43年4月1日	昭和46年3月31日	第5期 個性能力に応ずる教育の研究
神野 忠利	昭和46年4月1日	昭和48年3月31日	第6期 学習指導の近代化
印南 忠一	昭和48年4月1日	昭和52年3月31日	第7期 学習指導の近代化
大西 博臣	昭和52年4月1日	昭和56年3月31日	第8期 自ら学ぶ力を育てる指導
村上 好央	昭和56年4月1日	昭和58年3月31日	第9期 自ら学ぶ力を育てる指導
永井 弘	昭和58年4月1日	昭和59年3月31日	第9期 自ら学ぶ力を育てる指導
久米 浩	昭和59年4月1日	昭和60年3月31日	第10期 授業の質的改善の研究
加藤 勝見	昭和60年4月1日	昭和61年3月31日	第10期 授業の質的改善の研究
廣川 地彦	昭和61年4月1日	昭和62年3月31日	第10期 授業の質的改善の研究
宮崎 弘	昭和62年4月1日	昭和63年3月31日	第11期 個人差に応じる学習指導
廣川 地彦	昭和63年4月1日	平成元年3月31日	第11期 個人差に応じる学習指導
渡邊 健	平成元年4月1日	平成3年3月31日	第12期 自己教育力の育成を図る学習指導
宮崎 弘	平成3年4月1日	平成5年3月31日	第12期 自己教育力の育成を図る学習指導
一色 康範	平成5年4月1日	平成7年3月31日	第13期 子どもの可能性を招く学習指導と評価の研究
鴻上 政士	平成7年4月1日	平成9年3月31日	第14期 主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合田 正	平成9年4月1日	平成10年3月31日	第14期 主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合田 正	平成10年4月1日	平成11年3月31日	第15期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
山本 光博	平成11年4月1日	平成12年3月31日	第15期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
河野 義隆	平成12年4月1日	平成14年3月31日	第15期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究 第16期
藤本 博文	平成14年4月1日	平成16年3月31日	第16期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
三浦 孝信	平成16年4月1日	平成18年3月31日	第17期 「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
佐藤 弘美子	平成18年4月1日	平成19年3月31日	第17期 「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
真鍋 智明	平成19年4月1日	平成21年3月31日	第18期 基礎基本の定着と確かな学力の向上
秋本 司	平成21年4月1日	平成23年3月31日	第18期 基礎基本の定着と確かな学力の向上 第19期 学力の向上を図る実践研究
坪本 道夫	平成23年4月1日	平成25年3月31日	第19期 学力の向上を図る実践研究 ふるさと学習の研究
横井 敏行	平成25年4月1日	平成27年3月31日	第20期 確かな学力を育むための実践研究 ふるさと学習の研究
高橋 良光	平成27年4月1日	平成30年3月31日	第20期 確かな学力を育むための実践研究 第21期 ふるさと学習の研究
田中 利季	平成30年4月1日	令和2年3月31日	第22期 未来を生き抜く力を育む実践研究
矢野 雅士	令和2年4月1日		第23期 未来を共創する「生き抜く力」を育む実践研究 第24期

学 校 教 育 計 画 資 料

1 研究指定校（発表校）・訪問指導校・研修会開場等予定校

	学校名	内 容		指定年度	
小学校	新居浜小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	3	4
		県	ハートなんでも相談員設置事業	3	4
		市	フッ化物洗口事業	3	
		市	誕生学プログラム	3	
		市	ハートなんでも相談員設置事業	3	4
	宮西小学校	市	フッ化物洗口事業	3	
		県	ハートなんでも相談員設置事業	3	4
	金子小学校	市	フッ化物洗口事業	3	
		県	ハートなんでも相談員設置事業	3	4
		市	誕生学プログラム		4
	金栄小学校	市	フッ化物洗口事業	3	
		市	誕生学プログラム	3	
		市	人権・同和教育研究大会		4
	高津小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	3	4
		県	ハートなんでも相談員設置事業	3	4
		市	フッ化物洗口事業	3	
	浮島小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	3	4
		県	ハートなんでも相談員設置事業	3	4
		市	フッ化物洗口事業	3	
	惣開小学校	国	学校防災教育実践モデル地域研究事業		4
		県	ハートなんでも相談員設置事業	3	4
		市	フッ化物洗口事業	3	
		市	人権・同和教育研究大会	3	
		市	誕生学プログラム		4
	垣生小学校	市	フッ化物洗口事業	3	
		市	ハートなんでも相談員設置事業	3	4
	神郷小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	3	4
		県	ハートなんでも相談員設置事業	3	4
		市	フッ化物洗口事業	3	
		市	人権・同和教育研究大会	3	
		市	誕生学プログラム		4
	多喜浜小学校	市	誕生学プログラム	3	
国		スクールカウンセラー活用事業対象校	3		
県		ハートなんでも相談員設置事業	3	4	
市		フッ化物洗口事業	3	4	
泉川小学校	市	人権・同和教育研究大会		4	
	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	3	4	
	県	ハートなんでも相談員設置事業	3	4	
船木小学校	市	人権・同和教育研究大会		4	
	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	3	4	
	県	ハートなんでも相談員設置事業	3	4	
	市	フッ化物洗口事業	3		
	県	東予地区人権・同和教育研究協議会		4	
中萩小学校	市	誕生学プログラム	3		
	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	3	4	
	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	3	4	
	市	フッ化物洗口事業	3		
	市	誕生学プログラム		4	
大生院小学校	市	健康教育研究大会	3	4	
	国	スクールカウンセラー活用事業対象校	3	4	
	市	ハートなんでも相談員設置事業	3	4	
	市	誕生学プログラム	3		
	市	フッ化物洗口事業	3		

		市	人権・同和教育研究会		4
角野小学校	角野小学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	3	4
		市	フッ化物洗口事業	3	
		市	人権・同和教育研究会	3	
	別子小学校	市	フッ化物洗口事業	3	
		市	人権・同和教育研究会	3	
		市	フッ化物洗口事業	3	
		市	誕生学プログラム		4
中 学 校	東中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	3	4
		国・県	特色ある道徳教育推進事業	3	4
	西中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	3	4
		国	人権教育研究推進事業	3	
	南中学校	市	フッ化物洗口事業	3	
		国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	3	4
	北中学校	市	いのちの授業開催事業		4
		市	人権・同和教育研究会	3	
	泉川中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	3	4
		市	いのちの授業開催事業	3	
		市	フッ化物洗口事業	3	
		市	人権・同和教育研究会		4
	船木中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	3	4
		市	フッ化物洗口事業	3	
		市	いのちの授業開催事業	3	
		県	東予地区人権・同和教育研究会協議会		4
	船木中(ひびき分校)	市	フッ化物洗口事業	3	
	中萩中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	3	4
		県	愛媛県校内サポートルーム設置事業		4
	大生院中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	3	
	角野中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	3	4
		市	フッ化物洗口事業	3	
		市	いのちの授業開催事業	3	
		市	人権・同和教育研究会		4
	川東中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校	3	4
		市	人権・同和教育研究会	3	
		市	いのちの授業開催事業		4
		県	武道・ダンス等授業研究会		4
別子中学校	市	フッ化物洗口事業	3		
	市	いのちの授業開催事業	3		
	市	新聞制作体験学習事業	3		
	市	人権・同和教育研究会	3	4	

※全小中学校において、持続可能な開発のための教育(ESD)をめざす学校づくりを推進する。

2 学校教育における人権・同和教育研究会

行 事	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備 考
新居浜市人権・同和教育研究会								小中合同 29日(火)					小学校4校 中学校3校
愛媛県人権・同和教育研究会								10日(木)					松山市
四国地区人権教育研究会県内 報告会			30日 (木)										松山市
全国人権・同和教育研究会								26日(土)～ 27日(日)					奈良県

令和4年度 児童・生徒・園児・教職員数

小学校

学年・性別 学校名		1 学年			2 学年			3 学年			4 学年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
新居浜小学校	児童数	11	21	32	15	17	32	16	10	26	11	13	24
	学級数	1			1			1			1		
宮西小学校	児童数	17	16	33	14	14	28	11	13	24	13	21	34
	学級数	1			1			1			1		
金子小学校	児童数	40	35	75	50	49	99	56	39	95	59	56	115
	学級数	3			3			3			4		
金栄小学校	児童数	34	35	69	36	29	65	37	30	67	38	35	73
	学級数	2			2			2			3		
高津小学校	児童数	42	43	85	43	55	98	48	55	103	60	53	113
	学級数	3			3			3			4		
浮島小学校	児童数	7	9	16	10	8	18	16	6	22	12	8	20
	学級数	1			1			1			1		
惣開小学校	児童数	33	25	58	33	39	72	32	27	59	20	33	53
	学級数	2			2			2			2		
垣生小学校	児童数	14	19	33	24	18	42	21	21	42	12	17	29
	学級数	1			2			2			1		
神郷小学校	児童数	32	41	73	61	31	92	35	38	73	45	48	93
	学級数	3			3			2			3		
多喜浜小学校	児童数	8	11	19	7	7	14	14	6	20	13	8	21
	学級数	1			1			1			1		
泉川小学校	児童数	48	38	86	49	55	104	53	46	99	51	51	102
	学級数	3			3			3			3		
船木小学校	児童数	20	30	50	26	21	47	33	27	60	31	30	61
	学級数	2			2			2			2		
中萩小学校	児童数	57	68	125	74	63	137	59	75	134	62	60	122
	学級数	4			4			4			4		
大生院小学校	児童数	11	21	32	24	15	39	21	24	45	18	12	30
	学級数	1			2			2			1		
角野小学校	児童数	49	46	95	44	53	97	48	51	99	45	47	92
	学級数	3			3			3			3		
別子小学校	児童数	1	0	1	2	0	2	0	1	1	0	1	1
	学級数	1			0			1			0		
計	児童数	424	458	882	512	474	986	500	469	969	490	493	983
	学級数	32			33			33			34		

※大島小学校…H25.3.31 廃校 若宮小学校…H30.3.31 廃校

船木小学校…児童数にわかば分教室を含む

(令和4年5月1日現在)

5 学年			6 学年			計			学 級 数			教員数	職員数
男	女	計	男	女	計	男	女	計	通常	特別支援	計		
11	18	29	10	20	30	74	99	173	6	2	8	14	8
1			1			6							
28	12	40	15	16	31	98	92	190	6	3	9	15	8
1			1			6							
51	38	89	59	62	121	315	279	594	20	5	25	33	10
3			4			20							
32	21	53	38	37	75	215	187	402	13	3	16	23	10
2			2			13							
53	40	93	47	58	105	293	304	597	19	6	25	38	3
3			3			19							
13	4	17	10	11	21	68	46	114	6	4	10	15	7
1			1			6							
28	31	59	27	18	45	173	173	346	12	3	15	22	10
2			2			12							
25	23	48	19	25	44	115	123	238	10	2	12	16	9
2			2			10							
45	50	95	49	43	92	267	251	518	17	4	21	30	12
3			3			17							
17	10	27	10	12	22	69	54	123	6	2	8	13	9
1			1			6							
51	42	93	70	48	118	322	280	602	19	6	25	32	5
3			4			19							
36	33	69	26	30	56	172	171	343	12	4	16	23	8
2			2			12							
71	68	139	84	70	154	407	404	811	25	9	34	44	15
4			5			25							
23	20	43	25	23	48	122	115	237	9	3	12	18	10
1			2			9							
51	50	101	57	53	110	294	300	594	18	5	23	33	10
3			3			18							
1	1	2	0	1	1	4	4	8	3	1	4	5	0
1			0			3							
536	461	997	546	527	1,073	3,008	2,882	5,890	201	62	263	374	134
33			36			201							

中学校

学年・性別 学校名		1 学年			2 学年			3 学年	
		男	女	計	男	女	計	男	女
東中学校	生徒数	60	62	122	61	56	117	72	68
	学級数	3			3			4	
西中学校	生徒数	29	29	58	36	33	69	34	27
	学級数	2			2			2	
南中学校	生徒数	92	86	178	79	67	146	80	69
	学級数	5			4			4	
北中学校	生徒数	37	22	59	33	48	81	29	32
	学級数	2			2			2	
泉川中学校	生徒数	32	43	75	45	48	93	52	43
	学級数	2			3			3	
船木中学校	生徒数	34	32	66	23	35	58	32	33
	学級数	2			2			2	
船木中学校 ひびき分校	生徒数	1	2	3	1	0	1	3	0
	学級数	1			1			1	
中萩中学校	生徒数	62	81	143	77	88	165	95	72
	学級数	4			5			5	
大生院中学校	生徒数	22	23	45	17	25	42	24	19
	学級数	2			2			2	
角野中学校	生徒数	55	41	96	49	54	103	61	52
	学級数	3			3			3	
川東中学校	生徒数	83	87	170	95	69	164	97	76
	学級数	5			4			5	
別子中学校	生徒数	3	4	7	3	3	6	2	3
	学級数	1			1			1	
計	生徒数	510	512	1,022	519	526	1,045	581	494
	学級数	32			32			34	

幼稚園

年齢・性別 幼稚園名		4 歳 児			5 歳 児			
		男	女	計	男	女	計	
神郷幼稚園	園児数	5	8	13	6	7	13	
	学級数	1			1			

※ 王子幼稚園…… R4. 3. 31 廃園

(令和4年5月1日現在)

計	計			学 級 数			教員数	職員数
	男	女	計	通常	特別支援	計		
140	193	186	379	10	4	14	28	3
	10							
61	99	89	188	6	4	10	19	3
	6							
149	251	222	473	13	3	16	28	3
	13							
61	99	102	201	6	2	8	17	3
	6							
95	129	134	263	8	2	10	24	3
	8							
65	89	100	189	6	3	9	18	3
	6							
3	5	2	7	3	0	3	7	1
	3							
167	234	241	475	14	2	16	29	3
	14							
43	63	67	130	6	2	8	18	2
	6							
113	165	147	312	9	2	11	22	3
	9							
173	275	232	507	14	3	17	31	3
	14							
5	8	10	18	3	0	3	11	0
	3							
1,075	1,610	1,532	3,142	98	27	125	252	30
	98							

(令和4年5月1日現在)

計	計			教 員 数
	男	女	計	
	11	15	26	3
	2			

学 校 等 一 覧

幼 稚 園

園 名	所 在 地	電 話 (F A X)	園 長 氏 名
神 郷	郷三丁目8番16号	45-0170 (45-0170)	谷 口 知 子

※ 王子幼稚園……R4.3.31 廃園

小 学 校

学 校 名	所 在 地	電 話 (F A X)	校 長 氏 名	教 頭 氏 名
新 居 浜	新須賀町三丁目1番58号	37-3061 (37-3062)	近 藤 鈴 代	鈴 木 武 朗
宮 西	宮西町5番56号	33-8940 (33-8941)	志 賀 忍	中 原 俊 彦
金 子	久保田町一丁目3番57号	37-2221 (37-2302)	加 藤 三 香 子	中 野 実
金 栄	西の土居町一丁目5番1号	37-2313 (37-2120)	永 井 和 弘	横 田 香 織
高 津	宇高町二丁目13番7号	37-3754 (37-3854)	高 須 賀 哲	伊 藤 英 二
浮 島	八幡二丁目2番65号	33-1020 (33-1021)	明 星 孝 典	加 藤 清 幸
惣 開	王子町1番3号	37-3401 (37-3402)	秦 竜 吾	藤 田 恵 実
垣 生	垣生一丁目5番38号	45-0186 (45-0195)	山 崎 雄 史	加 藤 佳 緒 里
神 郷	神郷一丁目1番1号	45-0082 (45-0493)	岸 泰 典	岡 俊 守
多 喜 浜	多喜浜五丁目7番34号	45-0142 (45-0035)	高 橋 竜 貴	築 山 税
泉 川	岸の上町一丁目13番68号	43-4145 (43-4146)	山 本 千 明	篠 原 淳 夫
船 木	船木4299番地の1	41-6260 (41-6362)	井 川 昭 二	青 木 優 典
わかば分教室	船木甲2971番地の1	31-7645 (31-7646)		
中 萩	中萩町6番61号	41-6225 (41-6265)	中 野 久	直 野 伸 也
大 生 院	大生院1070番地の1	41-6627 (41-6694)	畑 野 一 恵	三 木 宏 司
角 野	中筋町二丁目7番10号	43-7141 (43-7142)	高 橋 美 鈴	新 上 美 穂
別 子	別子山甲358番地	64-2117 (64-2321)	別子中と兼務	別子中と兼務
合 計				

※ 大島小学校……H25.3.31 廃校

※ 若宮小学校……H30.3.31 廃校

(令和4年5月1日現在)

教室数		園舎面積	校地面積			遊戯場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
3	—	965	1,037	1,705	2,742	144	29

(令和4年5月1日現在)

教室数		校舎面積	校地面積			屋内運動場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
8	12	3,757	10,990	7,154	18,144	831	375
9	9	3,795	11,274	10,274	21,548	807	425
25	8	5,640	10,358	10,852	21,210	1,033	425
16	9	3,616	14,565	7,001	21,566	919	425
25	18	6,706	9,664	13,325	22,989	1,196	475
10	9	3,434	8,591	9,449	18,040	807	400
15	11	4,088	8,010	12,235	20,245	807	425
12	9	2,778	7,646	4,884	12,530	807	425
21	13	5,560	9,400	8,283	17,683	894	400
8	10	2,944	6,664	7,138	13,802	919	400
24	18	6,181	12,800	10,197	22,997	1,023	475
16	9	3,675	9,811	9,034	18,845	807	400
1	—	—	—	—	—	—	—
34	14	7,669	10,383	16,268	26,651	1,239	425
12	8	3,087	9,537	7,095	16,632	807	425
23	16	6,137	15,797	13,079	28,876	1,033	425
3	0	58	2,899	500	3,399	551	—
262	173	69,125	158,389	146,768	305,157	14,480	6,325

中 学 校

学 校 名	所 在 地	電 話 (FAX)	校 長 氏 名	教 頭 氏 名
東	東雲町一丁目4番23号	37-1294 (37-1038)	山 本 基 二	佐 薙 征 二
西	江口町7番1号	37-2021 (37-2023)	井 上 美 樹	高 屋 正
南	庄内町二丁目4番47号	37-0310 (37-5392)	阪 本 博 和	加 藤 啓 子
北	宮西町5番81号	33-9135 (33-9136)	篠 原 和 彦	菅 道 正
泉 川	星原町7番8号	43-5800 (43-5821)	久 保 善 嗣	今 村 和 人
船 木	船木甲 3754 番地の 1	41-6347 (41-6364)	藤 原 正 治	藤 田 義 和
船 木 ひびき分校	船木甲 2971 番地の 1	31-7645 (31-7646)		久 保 田 浩 史
中 萩	中萩町 13 番 31 号	43-5131 (43-5132)	大 西 誠	古 見 総 一 郎
大 生 院	大生院 1070 番地の 2	41-6927 (41-6229)	鴨 田 洋 吾	松 本 雅 裕
角 野	宮原町 11 番 51 号	43-6108 (43-6109)	高 橋 誠	矢 野 誠 治
川 東	神郷二丁目4番1号	45-0180 (45-0144)	近 藤 栄 一	白 川 尚 弘
別 子	別子山甲 358 番地	64-2115 (64-2321)	高 須 賀 美 雪	宇 野 公 章
合 計				

(令和4年5月1日現在)

教室数		校舎面積	校地面積			屋内 運動場 面積	プール 水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
14	13	4,533	10,200	6,596	16,796	1,388	400
10	11	4,830	13,504	11,456	24,960	816	400
17	12	4,731	12,699	7,811	20,510	981	375
8	13	4,005	15,880	9,628	25,508	1,138	425
10	17	4,256	14,451	6,942	21,393	981	425
9	11	3,401	10,679	11,108	21,787	1,014	400
3	9	1,036	6,171	1,681	7,852	428	150
17	18	4,865	16,838	11,641	28,479	1,031	425
8	12	3,210	8,987	6,299	15,286	830	—
11	15	4,814	10,934	11,018	21,952	1,031	375
17	19	5,768	13,997	20,673	34,670	1,055	400
3	5	856	881	882	1,763	145	—
127	155	46,305	135,221	105,735	240,956	10,838	3,775

放課後児童クラブ一覧表

(令和4年5月1日現在)

クラブ名称	設置場所	クラブ名称	設置場所
たねっこクラブ1	高津小学校	あひるクラブ1	神郷小学校
たねっこクラブ2	同上	あひるクラブ2	同上
たねっこクラブ3	同上	あひるクラブ3	同上
ひかりクラブ1	中萩小学校	のぞみクラブ1	惣開小学校
ひかりクラブ2	同上	のぞみクラブ2	同上
ひかりクラブ3	同上	ひまわりクラブ	垣生小学校
なかよしクラブ	新居浜小学校	あじさいクラブ	多喜浜小学校
たんぽぽクラブ1	金栄小学校	ぱんだクラブ1	泉川小学校
たんぽぽクラブ2	同上	ぱんだクラブ2	同上
こぼとクラブ1	角野小学校	ぱんだクラブ3	同上
こぼとクラブ2	同上	かがやきクラブ1	金子小学校
こぼとクラブ3	同上	かがやきクラブ2	同上
うずいクラブ	大生院小学校	かがやきクラブ3	同上
かぶとクラブ1	船木小学校	きりんクラブ	上部児童センター
かぶとクラブ2	同上	ぴかっこクラブ	川東児童センター
すみれクラブ	宮西小学校		

通 学 区 域

小学校名	通 学 区 域
新 居 浜	大江町、港町、若水町一丁目、若水町二丁目、菊本町一丁目、菊本町二丁目、新須賀町一丁目、新須賀町二丁目、新須賀町三丁目、新須賀町四丁目
宮 西	西町、中須賀町一丁目、中須賀町二丁目、西原町一丁目、西原町二丁目、西原町三丁目、泉池町、泉宮町、宮西町、徳常町、繁本町
金 子	一宮町一丁目、一宮町二丁目、久保田町一丁目、久保田町二丁目、久保田町三丁目（1番から9番まで）、八雲町、平形町、田所町、庄内町一丁目、庄内町二丁目、庄内町三丁目、庄内町四丁目（1番から3番まで、5番30号から39号まで）、庄内町五丁目、庄内町六丁目、江口町（1番から3番まで、5番、6番、8番から17番まで）、北新町（1番、2番、4番、5番）、城下町（1番から6番まで）
金 栄	滝の宮町、西の土居町一丁目、西の土居町二丁目（1番から7番まで、9番から17番まで）、高木町、政枝町一丁目、政枝町二丁目、政枝町三丁目、久保田町三丁目（10番、11番）、庄内町四丁目（4番、5番（金子小学校の区域を除く。）、6番、7番）、坂井町一丁目、坂井町二丁目、金子丙（1番地から30番地まで）
高 津	宇高町一丁目、宇高町二丁目、宇高町三丁目、宇高町五丁目（1番から9番まで、12番、13番）、沢津町一丁目、沢津町二丁目、沢津町三丁目、東雲町一丁目、東雲町二丁目、東雲町三丁目（1番から8番まで）、松の木町（1番）、高津町、清水町、南小松原町、桜木町、郷一丁目（1番、7番）、郷五丁目（2番）、高田二丁目（1番、6番）、田の上四丁目（6番から9番まで）
浮 島	松の木町（2番から13番まで）、宇高町四丁目、宇高町五丁目（10番、11番、14番、15番）、垣生六丁目（1番、15番）、八幡一丁目（9番から21番まで）、八幡二丁目、八幡三丁目（1番、4番4号から18号まで・36号・40号・43号、5番から8番まで、9番3号・39号から54号まで、10番38号から48号まで）
惣 開	星越町、前田町、王子町、河内町、北新町（3番、6番から13番まで）、西の土居町二丁目（8番）、磯浦町、江口町（4番、7番、18番）、金子丙（金栄小学校の区域を除く。）、惣開町、新田町一丁目、新田町二丁目、新田町三丁目、新居浜乙
垣 生	垣生一丁目、垣生二丁目、垣生三丁目、垣生四丁目、垣生五丁目、垣生六丁目（2番から14番まで）、八幡一丁目（1番から8番まで）、八幡三丁目（2番、3番、4番（浮島小学校の区域を除く。）、9番（浮島小学校の区域を除く。）、10番（浮島小学校の区域を除く。））、長岩町、垣生
神 郷	郷一丁目（2番から6番まで、8番から16番まで）、郷二丁目、郷三丁目、郷四丁目、郷五丁目（1番、3番から9番まで）、東雲町三丁目（9番）、清住町、落神町、又野一丁目、又野二丁目、又野三丁目、高田一丁目、高田二丁目（2番から5番まで）、田の上一丁目、田の上二丁目、田の上三丁目、田の上四丁目（1番から5番まで、10番から12番まで）、松神子一丁目、松神子二丁目、松神子三丁目、松神子四丁目、神郷一丁目、神郷二丁目、楠崎一丁目（1番、3番、4番33号から46号まで・60号から62号まで・65号・66号、5番から8番まで）、楠崎二丁目、多喜浜一丁目（8番1号から16号まで・56号から89号まで）、多喜浜四丁目（8番1号から11号まで・28号から53号まで、9番、10番）、多喜浜五丁目（10番1号から8号まで）、郷、郷乙
多 喜 浜	楠崎一丁目（2番、4番（神郷小学校の区域を除く。））、多喜浜一丁目（1番から7番まで、8番（神郷小学校の区域を除く。）、9番、10番）、多喜浜二丁目、多喜浜三丁目、多喜浜四丁目（1番から7番まで、8番（神郷小学校の区域を除く。）、11番、12番）、多喜浜五丁目（1番から9番まで、10番（神郷小学校の区域を除く。）、11番、12番）、多喜浜六丁目、阿島一丁目、阿島二丁目、阿島三丁目、阿島四丁目、阿島、荷内町、黒島一丁目、黒島二丁目、黒島、大島

小学校名	通 学 区 域
泉 川	松木町、西喜光地町、喜光地町一丁目、松原町、坂井町三丁目、瀬戸町、寿町、星原町、上泉町、外山町、岸の上町一丁目、岸の上町二丁目、城下町（7番）、下泉町一丁目、下泉町二丁目、観音原町、東田一丁目、東田二丁目、東田三丁目、国領一丁目、光明寺一丁目、光明寺二丁目
船 木	船木、七宝台町
中 萩	萩生、横水町、本郷一丁目、本郷二丁目、本郷三丁目、中萩町、上原一丁目、上原二丁目、上原三丁目、上原四丁目、中村一丁目、中村二丁目（1番から15番まで）、中村三丁目（3番から11番まで）、中村四丁目（3番から9番まで、11番、15番から18番まで）、御蔵町（2番、3番）、中村松木一丁目、中村松木二丁目、土橋一丁目、土橋二丁目（1番から10番まで、13番、14番）、大永山（出口、小味池）
大 生 院	大生院
角 野	土橋二丁目（11番、12番、15番から17番まで）、中村二丁目（16番）、中村三丁目（1番、2番）、中村四丁目（1番、2番、10番、12番から14番まで）、御蔵町（1番、4番から13番まで）、喜光地町二丁目、西泉町、西連寺町一丁目、西連寺町二丁目、篠場町、山田町、山根町、中西町、宮原町、中筋町一丁目、中筋町二丁目、北内町一丁目、北内町二丁目、北内町三丁目、北内町四丁目、吉岡町、角野新田町一丁目、角野新田町二丁目、角野新田町三丁目、種子川町、角野、大永山（出口・小味池を除く。）、立川町、種子川山
別 子	別子山

中学校名	通 学 区 域
東	高津小学校区、松の木町、宇高町四丁目
西	惣開小学校区、江口町、北新町
南	金子小学校区（北中学校区、西中学校区を除く。）、金栄小学校区
北	新居浜小学校区、宮西小学校区、一宮町二丁目（2番18号から42号まで・100号から末号まで、3番から5番まで、6番32号から67号まで・100号から末号まで）
泉 川	泉川小学校区
船 木	船木小学校区
中 萩	中萩小学校区
大 生 院	大生院小学校区
角 野	角野小学校区
川 東	垣生小学校区、神郷小学校区、多喜浜小学校区、浮島小学校区（東中学校区を除く。）
別 子	別子小学校区

園児・児童・生徒数の推移（平成29年度～令和8年度）

（毎年度5月1日現在）

学校 \ 年度	29	30	元	2	3	4	5 (見込)	6 (見込)	7 (見込)	8 (見込)
新居浜小学校	218	212	192	174	171	173	166	169	167	169
宮西小学校	223	227	218	217	191	190	190	177	169	175
金子小学校	644	624	650	635	623	594	562	564	526	514
金栄小学校	388	385	405	419	421	402	396	415	400	384
高津小学校	698	679	658	636	632	597	579	559	515	489
浮島小学校	119	130	124	123	122	114	108	110	109	117
惣開小学校	317	345	344	340	349	346	367	366	394	389
若宮小学校	37	—	—	—	—	—	—	—	—	—
垣生小学校	270	263	241	240	241	238	235	214	205	186
神郷小学校	572	564	564	536	536	518	501	477	459	459
多喜浜小学校	133	137	132	133	119	123	120	114	107	98
大島小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
泉川小学校	545	572	590	588	599	602	585	589	578	576
船木小学校	362	367	379	375	365	343	347	319	294	262
中萩小学校	941	921	897	867	833	811	817	813	808	796
大生院小学校	263	257	250	255	249	237	213	199	183	158
角野小学校	647	642	634	611	603	594	559	553	532	496
別子小学校	3	4	4	4	4	8	8	6	5	4
小学校計	6,380	6,329	6,282	6,153	6,058	5,890	5,753	5,644	5,451	5,272
東中学校	409	380	370	377	386	379	364	352	350	339
西中学校	234	226	222	208	200	188	193	206	212	223
南中学校	450	453	423	431	417	473	513	510	516	487
北中学校	215	205	186	192	207	201	202	190	189	177
泉川中学校	244	216	229	247	280	263	286	286	313	294
船木中学校	174	180	162	171	165	189	180	191	186	190
船木中学校ひびき分校	10	8	9	9	6	7	—	—	—	—
中萩中学校	491	501	466	471	475	475	462	436	415	395
大生院中学校	112	113	116	120	127	130	135	136	121	118
角野中学校	320	321	308	307	315	312	309	307	303	292
川東中学校	518	530	505	515	504	507	517	533	534	507
別子中学校	12	17	17	16	16	18	20	22	22	22
中学校計	3,189	3,150	3,013	3,064	3,098	3,142	3,181	3,169	3,161	3,044
王子幼稚園	54	51	36	28	13	—	—	—	—	—
神郷幼稚園	56	51	41	19	21	26	—	—	—	—
幼稚園計	110	102	77	47	34	26	—	—	—	—

※大島小学校……H25. 3. 31 廃校 若宮小学校…H30. 3. 31 廃校 王子幼稚園…R4. 3. 31 廃園

中学校卒業者の進路状況

() 卒業者に対する百分率

	卒業者数	進学者数	就 職 者 数			公共職業能力 開発施設等 入 学 者	そ の 他 自 己 就 職 家 事 手 伝 等
			県 内	県 外	総 数		
3	973	957 (98.4)	9 (0.9)	0 (0.0)	9 (0.9)	0 (0.0)	7 (0.7)
2	1,007	994 (98.7)	6 (0.6)	0 (0.0)	6 (0.6)	0 (0.0)	7 (0.7)
元	1,028	1,005 (97.8)	4 (0.4)	4 (0.4)	8 (0.8)	0 (0.0)	15 (1.4)
30	1,091	1,071 (98.2)	5 (0.5)	1 (0.1)	6 (0.5)	0 (0.0)	14 (1.3)
29	1,051	1,030 (98.0)	10 (1.0)	0 (0.0)	10 (1.0)	0 (0.0)	11 (1.0)
28	1,157	1,124 (97.1)	11 (1.0)	0 (0.0)	11 (1.0)	0 (0.0)	22 (1.9)
27	1,147	1,128 (98.3)	7 (0.6)	0 (0.0)	7 (0.6)	0 (0.0)	12 (1.0)
26	1,177	1,152 (97.9)	13 (1.1)	0 (0.0)	13 (1.1)	0 (0.0)	12 (1.0)
25	1,153	1,129 (97.9)	7 (0.6)	2 (0.2)	9 (0.8)	0 (0.0)	15 (1.3)
24	1,200	1,179 (98.3)	9 (0.8)	0 (0.0)	9 (0.8)	0 (0.0)	12 (1.0)
23	1,194	1,166 (97.7)	15 (1.3)	0 (0.0)	15 (1.3)	0 (0.0)	13 (1.1)
22	1,123	1,096 (97.6)	12 (1.1)	0 (0.0)	12 (1.1)	3 (0.3)	12 (1.1)
21	1,163	1,121 (96.4)	24 (2.1)	0 (0.0)	24 (2.1)	2 (0.2)	16 (1.4)
20	1,093	1,067 (97.6)	11 (1.0)	0 (0.0)	11 (1.0)	1 (0.1)	14 (1.3)
19	1,131	1,101 (97.3)	15 (1.3)	0 (0.0)	15 (1.3)	1 (0.1)	14 (1.2)
18	1,138	1,101 (96.7)	16 (1.4)	0 (0.0)	16 (1.4)	3 (0.3)	18 (1.6)
17	1,139	1,106 (97.1)	13 (1.1)	0 (0.0)	13 (1.1)	2 (0.2)	18 (1.6)
16	1,231	1,194 (97.0)	5 (0.4)	0 (0.0)	5 (0.4)	2 (0.2)	30 (2.4)
15	1,274	1,235 (96.9)	1 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)	37 (2.9)
14	1,319	1,274 (96.6)	3 (0.2)	0 (0.0)	3 (0.2)	0 (0.0)	42 (3.2)

※平成28年度については、定時制・通信制高等学校への進学と同時に就職している者は就職者数に計上する。(対象生徒2名) (学校基本調査による)

発 達 支 援 課

第 1 最重要課題

障がいや発達課題のある子どもへの生涯にわたる一貫した支援

第 2 重点事項（取組方針）

1 より身近な場所で行う教育相談・早期支援の充実

- (1) より身近な場所で質の高い支援が受けられるよう、幼稚園教諭や保育士等の支援者のスキルアップを図るため、巡回相談やステップアップ講座（園内・校内研修支援事業）を実施する。
- (2) 未就学児を対象とした「ことばの教室」、「育ちの教室」の発達相談を充実させ、就学相談につなげることにより、子どもの特徴に合わせた多様な学びの場の提供および教育環境の充実を図る。また、就学に向けて、対象児が在籍する保育園・幼稚園及び児童発達支援事業所、保健センターとの連携を深める。
- (3) 保護者会を開催し、保護者同士の交流の場を促進するとともに、子どもの発達を理解しながら、より良い親子関係を築く学びの場として、ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等を充実させる。

2 特別支援教育の啓発と支援体制の強化

- (1) 障がいや発達に課題のある児童生徒が、通常の学級において合理的配慮やユニバーサルデザインの授業づくりなどの工夫により、その子どもが持つ本来の能力を可能な限り伸ばせるようインクルーシブ教育システムの理念の啓発と、その構築を推進する。
- (2) 特別支援教育、発達支援に関する研修会や講演会を開催し、幼児、児童・生徒への理解を深め、その専門性と実践力の向上を図る。
- (3) 特別支援教育コーディネーターが中心となって学校における特別支援教育を推進し、特別支援学級や通級指導教室の教員が行っている子どもたちの学びに生かせる指導や支援を、学校全体に広める。そのために、それぞれの担当教員のアセスメント力や実践力の向上を目指し、講座や研修を充実させる。
- (4) 医療的ケアを必要とする児童等が、看護師等の配置により安全の確保が保障され安心して教育を受け、その教育効果を最大限に引き出せる学習環境に配慮した体制整備を図る。

3 地域における自立に向けた支援・連携・協働の促進

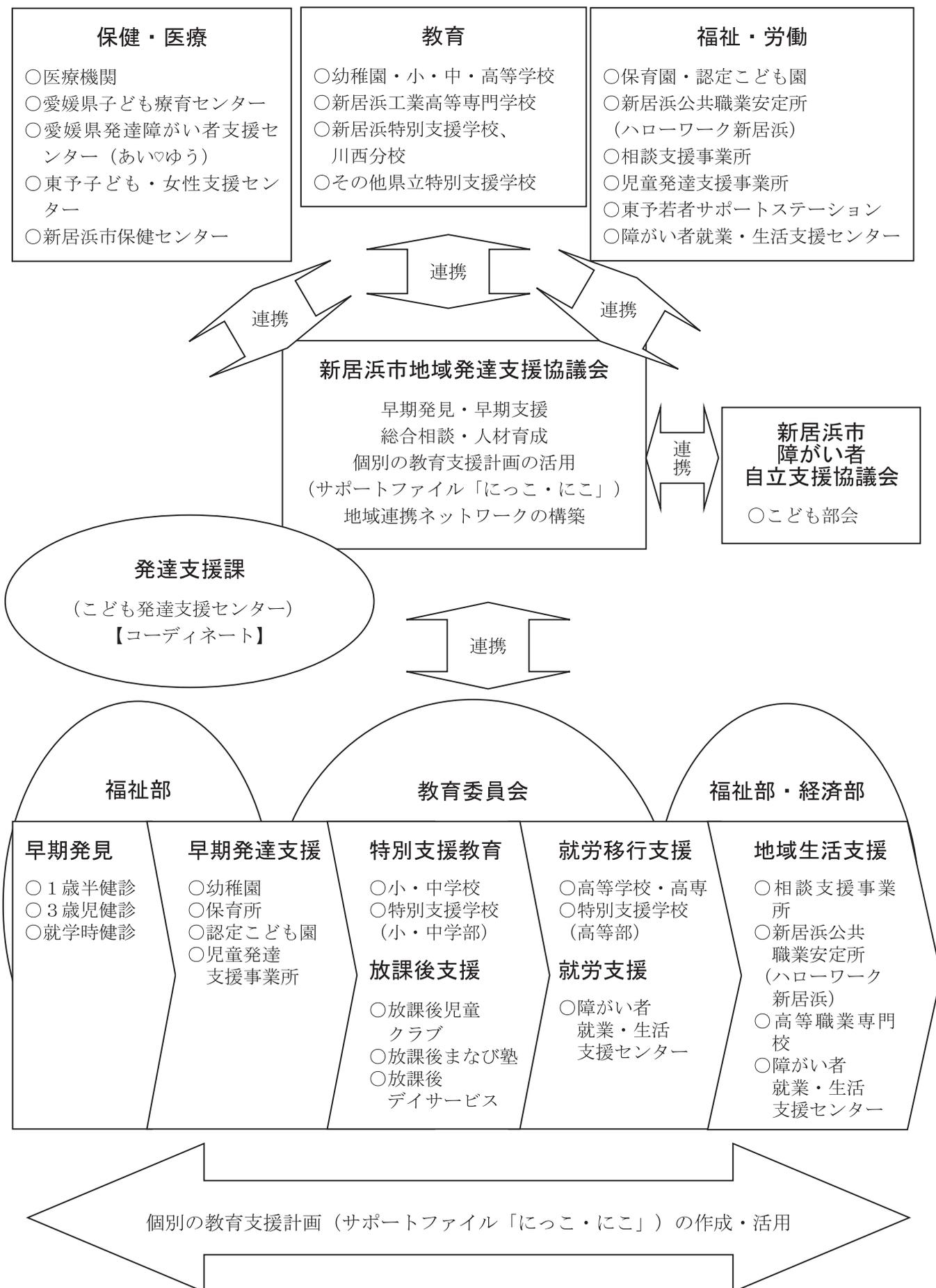
- (1) 自立に向けた長期的な視点による一貫した支援ができるように、継続的な教育相談を実施する。また、支援会議等において、必要に応じて関係機関が情報を共有し支援の充実を図る。
- (2) 個別の支援計画を活用した関係機関との連携・情報共有
ア 個別の教育支援計画の作成においては、子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、効果的に活用するため、子どもが利用する医療機関、放課後等デイサービス及び児童発達支援事業所等、保健所、就労支援機関等の関係機関と連携し、本人や保護者の意向を踏まえ、情報共有を図る。
イ 障がいの有無に関わらず、発達に課題のある子どもについては、学校生活のみならず、家庭生活や地域での生活を含め長期的な視点に立って、幼児期から学校卒業後までの一貫した支援を行うことが重要であり、関係機関と連携し、就学、進学、就労等の際に円滑に引き継ぐことができる体制の充実を図る。
- (3) 新居浜市地域発達支援協議会を活用し、地域における発達支援のあり方を協議し、福祉、医療等関係機関と連携するとともに、就学前から自立に至るまでの支援について周知に努める。
- (4) 保護者支援および支援者支援を行うため、国が推進しているペアレントプログラムを実施するとともに、市内の保育・教育関係等の支援者を対象に研修を行い、ペアレントプログラムを実施できる人材の育成と確保を目指す。

第3 主な事業

- 1 発達支援教育充実費（26,142 千円）
 - （1）研修事業・・・各種研修会開催、職員研修
 - （2）相談事業・・・巡回相談、発達検査
 - （3）地域療育事業・・・早期療育指導員報酬、療育事業研修
- 2 特別支援教育充実費（152,464 千円）
 - （1）小学校：学校支援員（16人）、学校生活介助員配置
 - （2）中学校：学校生活介助員配置
 - （3）公立幼稚園：学校生活介助員配置
- 3 幼稚園特別支援教育充実費（10,080 千円）

私立幼稚園特別支援教育事業補助金

発達支援システムイメージ図



学 校 給 食 課

第 1 最重要課題

子どもたちの健康を守るとともに、安全で喜ばれる給食づくり

第 2 重点事項（取組方針）

1 食育の推進

成長期にある児童生徒の、食に関する正しい理解と、適切な判断力を養うため、安全で栄養バランスのとれた学校給食を「生きた教材」として活用し、正しい食習慣を身に付けるための指導を行う。

- (1) 栄養バランスのとれた給食の提供に努める。
- (2) 校内放送や各種資料等を活用し、児童生徒に対する指導を行うとともに、栄養バランスのとれた献立づくりを家庭に普及する。
- (3) 安全性を最優先した食物アレルギー対応に努める。
- (4) バイキング給食、マナー給食等、特別給食の実施に努める。
- (5) 郷土料理等、地元の特徴を生かした給食の実施に努める。
- (6) 地元産物の活用に努める。

2 衛生管理の向上・安全保持

安全で安心な学校給食実施のため、食中毒予防対策、異物混入対策等の徹底を図り、衛生管理の向上・安全保持に努める。

- (1) 各調理場の施設設備の衛生面、安全性を重視した修繕、更新を図る。
- (2) 各調理場において、ネズミ・害虫等の防除を図る。
- (3) 学校給食研修会、調理場訪問衛生研修会等、衛生管理徹底のための研修の充実を図る。

3 学校給食センター設備の更新

平成 13 年度に設置した学校給食センターについて、順次調理機器の更新が必要な時期にきていることから、計画的な設備更新を図るとともに、新たな共同調理場（給食センター）の整備に伴う小学校への配食開始に備えた改修等を進める。

4 新たな共同調理場（給食センター）の整備

小学校調理場の老朽化が進んでいるため、「学校給食施設整備基本計画」に基づき、川西地区にセンター方式にて整備を行うとともに、受け入れ先である小中学校において必要な体制整備を進める。

5 学校給食費の適正な負担等

多子世帯の経済的負担の緩和や、公平性の観点から未納解消に取り組む必要がある。

- (1) 学校給食多子世帯支援事業を実施する。
- (2) 法的措置も含め、給食費の未納解消に取り組む。

第3 施設状況

施設名	所在地	建設年月	構造	敷地面積	建物面積	電話	所(場)長氏名
学校給食センター	瀬戸町12番38号	平成13.3	鉄骨造2階建 外	4,597 m ²	(本体) 2,232 m ² (その他) 84 m ²	31-7470	沢田友子
高津共同調理場	宇高町二丁目13番7号	昭和57.2	鉄筋コンクリート造 陸屋根平屋建 外 (平成10.8増築)	—	(本体) 260 m ² (その他) 12 m ²	37-3797	飯尾規彦

※ 小学校給食室省略

〔対象校〕 学校給食センター 西中・南中・北中・泉川中・船木中・中萩中・角野中・川東中
愛媛県立新居浜特別支援学校（本校・川西分校）・泉川小（米飯のみ）
高津共同調理場 高津小学校・東中学校

新 居 浜 市 学 校 給 食 の 推 移

年度	給食の形態			1食当たり 給費(円)	献立等	購入
	ミルク給食	還元牛乳	完全給食			
S 22	市内全小学校					
23~			小1校			
25			小2校			
26~			小4校	15	各校単独献立	各校単独購入
31			小5校			
32			小6校		栄養職員1名で立案	
33			小7校		市教委栄養職員指導	
34			小8校		各校へ栄養職員配置	
35			小12校			準共同購入 (乾物・砂糖のみ)
36			小13校			
37~		市内全小中学校	小16校・中2校	25		
39				30		
40						(卵追加)
41~				40	準共同献立	
43				46	完全共同献立	
44						完全共同購入
45			小16校・中1校	55		
46		10月より牛乳		65		
47			小17校・中1校	70		
48				85		
49~				130	11月栄養職員県費切替	
51				150	米飯週1回実施	
52		9月より紙容器				
53			金子、船木			
54			泉川、垣生			
55			宮西、金栄、浮島、大生院	160	4月から10月ジュース実施	
56~			神郷、惣開、多喜浜		2学期から米飯週2回実施	
58			高津	180	全校へ「おほし」導入	
59			若宮			
60			角野、中萩		ジュース5、6、7、9月実施	
61~			新居浜		2学期から米飯週2.5回実施	
H1					学校給食地域農産物等活用 モデル指定校(神郷小)	
2				小200 中220	米飯週3回実施 学校給食情報ネットワーク化事業 モデル校(大生院小)	
3					給食用食器強化磁器導入 (惣開小)	
4					学校給食地域農産物等活用 モデル指定校(角野小)	
5					〃	
6~				小220 中260		
10~			小17校・中2校		高津共同調理場設置	
13~			小17校・中10校		地元産米の使用 学校給食センター設置	
15~			小18校・中11校		別子小中学校を追加(合併)	
21				21.9 小240 中280		
22					別子小中学校調理場改修	
23~					地元産米を地元業者納入	
25~			小17校・中11校		大島小学校廃校	
30			小15校・中10校		若宮小学校閉校 別子小・中学校の学校 給食が寮給食に移行	
R1				小260 中300		
2						
3						

※平成25年度～大島小学校廃校、平成29年度末～若宮小学校閉校、平成30年度～別子小中学校寮給食に移行

人 権 教 育 課

第 1 最 重 要 課 題

あらゆる垣根をこえて、あたたかい心で交わりあうことのできる社会の実現

第 2 重 点 事 項 (取 組 方 針)

1 あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進

(1) 地域、家庭における人権教育・啓発の推進

ア 社会教育関係機関・団体等の協力により、お茶の間人権教育懇談会をはじめとする、地域に根差した市民参加型の教育・啓発事業の拡充を図る。

イ 人権教育に関わる講座・懇談会等において、主体的に事業を推進することができる指導者の育成を図る。

ウ 「ふれ愛フェスタハートFULL新居浜」をはじめとした人権に関わる講演会等の開催により、多くの市民が人権について気軽に考えることができる機会の提供に努める。

エ 愛媛県人権教育協議会新居浜支部の主催事業である「地区別人権教育市民講座」については、支部の加盟組織・団体が連携してその開催を支援することができる体制を構築する。

オ 新居浜市人権尊重のまちづくり条例で定める「人権のつどい日」については、毎月11日に瀬戸会館を主会場として開催しているが、より多くの市民が気軽に参加して人権意識を高めていく機会となるよう、さまざまな人権課題をテーマとして取り上げて開催する。

(2) 企業等における人権教育・啓発の推進

ア 組織・企業等が開催する人権教育講座・セミナー等の開催を支援して、組織内における人権・同和教育の推進体制を確立する。

イ 愛媛県人権教育協議会新居浜支部組織・企業部会の協力により、未加入の組織・企業に対する人権・同和教育を推進する。

ウ 就職の機会均等に万全を期すとともに、人権尊重を基盤とした職場づくりを推進する。

エ 地区別人権教育市民講座への積極的な参加を呼びかける。

(3) 行政職員に対する人権教育の推進

ア 各種実践研修や派遣研修への、行政職員参加を支援する。

イ 愛媛県人権教育協議会新居浜支部行政部会との連携と協力により、地区別人権教育市民講座への積極的な参加を呼びかける。

(4) 人権教育・啓発資料の作成及び配布

コロナ禍の状況が当面は続くことを考慮して、これまで実施してきた参加型の教育・啓発活動等に関わったことのない市民に向けた、情報発信にも取り組む。

ア 教育・啓発用の教材・教具の整備と活用を図る。

イ 市民啓発資料の作成及び配布

市政だよりへの折込み「人権啓発特集号」の発行（年間2回）・「えひめ人権・同和教育」を関係機関・団体等へ配布（年間3回）

ウ 差別解消を目指す動画メッセージの作成及び放映

人権に関する動画メッセージを作成して、新居浜市行政広報番組「マイタウン新居浜」での放映と、ユーチューブの「新居浜市広報チャンネル」による配信に取り組む。

エ 身元調査お断り運動の推進

令和3年3月に作成した、新たな「身元調査お断りステッカー」を活用して、「身元調査をしない・させない・協力しない」の三原則を目指した、運動への取組を推進する。

(5) 人権教育推進機関等との連携強化

ア 小中学校、県立学校研究大会の開催を支援する。

イ 各種研修会・研究会・研究大会等への参加を支援する。

ウ 教育・啓発機関・関係団体等が主催する各種学習会等においては、人権啓発指導員をはじめとする講師・指導者を派遣する。

第3 主な事業

1 人権教育推進事業（2,650千円）

様々な人権問題解決に向けて、お茶の間人権教育懇談会、組織・企業向け人権教育講座・セミナー、ふれ愛フェスタハートFULL新居浜、人権のつどい日等の人権教育・啓発事業を実施するとともに、市政だより特集号や身元調査お断りステッカー、その他人権・同和教育推進資料等の人権啓発資料作成・配布に取り組むことにより、市民の方々に様々な人権問題について正しい理解と知識を深めていただく場を提供する。

さらに、県内・四国・全国等の各地で開催される各種研究大会・研究協議会等の場や市民が積極的に参加していただけるよう、大会参加者への支援を行っていく。

2 愛媛県人権教育協議会新居浜支部活動に対する補助（1,648千円）

人権・同和教育の進展を図るため、幼・保育園（所）、小・中・県立学校、公民館等各社会教育関係団体、組織・企業、行政がそれぞれ協調しながら、家庭や学校、地域社会、職場などあらゆる場を通じて「くらしに生きる人権教育」の実践に努め、部落差別問題をはじめとするあらゆる人権問題の早期解決に取り組む。

令和3年度のあゆみ

教育委員会の主な施策と実績

1 令和3年度決算額

(1) 教育費

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
教育総務費	教育委員会費	委員報酬	6,053	6,090	1,451,034
		委員会費	37		
	事務局費	人件費	532,379	536,395	
		事務局運営費	4,016		
	諸費	指導費	4,034	908,549	
		研究所費	7,100		
		教育振興補助事業費	319		
		奨学金	32		
		教育施設防火等管理費	1,430		
		文化施設管理運営費	137,062		
		文化施設環境整備事業	33,667		
		学校音楽教育振興費	201		
		パソコン管理費	8,705		
		交通災害遺児修学援助費	21		
		事務用パソコン整備費	1,613		
		公共施設ごみ収集費	9,388		
		いじめ・不登校問題等対策費	15,992		
		教職員住宅管理運営費	682		
		生きた英語教育推進費	56,952		
		別子ハイツ自然学習館管理費	5,688		
		スクールソーシャルワーカー活用事業費	2,481		
		発達支援教育運営費	4,136		
		発達支援教育充実費	23,241		
		発達支援センター整備事業	6,606		
		学力向上学習支援事業費	217		
		学校図書館支援センター充実費	22,761		
		持続可能な開発のための教育推進費	1,003		
		コミュニティ・スクール推進事業費	360		
		放課後まなび塾推進事業費	16,192		
		学校環境教育支援活動事業費	162		
		E S D 活動推進事業費	117		
		スクール・サポート・スタッフ配置事業費	5,872		
		小中学校 I C T 環境整備推進事業費	368,031		
		小中学校保健充実費	648		
		英語検定受験奨励事業費	756		
		S D G s 推進事業費	2,611		
		海洋教育推進事業費	3,385		
		小中学校感染症対策費	1,811		
		学校教育活動支援員配置事業費	1,597		
		特別支援教育充実費	133,641		
学校教育活動継続支援事業費（繰越分）		30,035			

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計				
小学校費	学校管理費	小学校管理運営費	323,555	441,609	509,606				
		小学校保健費	33,956						
		小学校体育費	1,772						
		小学校施設環境整備事業	72,317						
		小学校施設環境整備事業（繰越分）	10,009						
	教育振興費	小学校就学援助費	35,086	67,997					
		小学校理科教材備品購入費	1,545						
		小学校指導図書改訂費	296						
		小学校教育充実費	22,569						
		小学校ハートなんでも相談員設置事業費	3,360						
		小学校特別支援教育就学援助費	5,141						
中学校費	学校管理費	中学校管理運営費	188,023	320,287	390,797				
		中学校保健費	21,395						
		中学校体育費	10,125						
		中学校施設環境整備事業	58,243						
		中学校施設環境整備事業（繰越分）	7,883						
		別子中学校学び創生事業費	34,618						
	教育振興費	中学校就学援助費	30,534	70,510					
		中学校理科教材備品購入費	1,779						
		中学校教育研究県指定校費	780						
		中学校教育充実費	19,112						
		中学校指導図書改訂費	12,431						
		中学校ハートなんでも相談員設置事業費	1,680						
		運動部活動競技力向上事業費	812						
		中学校特別支援教育就学援助費	2,476						
		いのちの授業開催事業費	67						
		部活動指導員配置事業費	839						
		幼稚園費	幼稚園費			人件費	33,022	255,941	255,941
						王子幼稚園管理運営費	1,915		
						神郷幼稚園管理運営費	2,062		
幼稚園保健費	564								
私立幼稚園私学助成費	1,317								
幼稚園特別支援教育充実費	9,150								
幼稚園施設環境整備費	2,175								
幼稚園施設利用費給付事業費	119,010								
私立幼稚園施設型給付事業費（福祉部）	86,726								

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計		
社会教育費	社会教育総務費	人件費	106,986	201,375	808,285		
		社会教育振興費	168				
		文化教育費	4,470				
		文化振興基金積立金	863				
		文化財保護費	7,338				
		高齢者生きがい創造学園環境整備事業	43,027				
		高齢者生きがい創造学園管理運営費	15,445				
		生涯学習センター管理運営費	3,141				
		生涯学習センター充実費	7,665				
		社会教育充実費	6,677				
		文化芸術振興費	1,394				
		こども夢未来基金積立金	53				
		郷土資料室管理運営費	2,941				
		塩のまちづくり事業費	146				
		ユネスコ活動推進事業費	95				
		高齢者生きがい創造学園開園30年「記念誌」作成事業費	966				
		公民館費	公民館管理運営費			156,388	174,451
			公民館活動費			32	
			公民館推進費			239	
公民館施設環境整備事業	10,816						
地域主導型公民館推進費	6,769						
新居浜市文化祭事業推進費	207						
図書館費	図書館管理運営費	64,663	91,775				
	図書館充実費	22,979					
	図書館図書整備基金積立金	38					
	図書館施設環境整備事業	2,318					
	ブックスタート事業費	1,777					
青少年教育費	青少年育成強化費	974	1,143				
	成人式出席者PCR検査助成事業費	169					
青少年センター費	青少年センター管理運営費	2,289	2,373				
	補導活動充実費	84					
広瀬歴史記念館費	広瀬歴史記念館充実費	1,531	94,547				
	広瀬歴史記念館管理運営費	41,732					
	旧広瀬邸等保存活用事業	27,732					
	旧広瀬邸等保存活用事業（繰越分）	12,666					
	広瀬歴史記念館施設環境整備事業	10,886					
総合文化施設費	総合文化施設管理運営費	172,157	242,616				
	総合文化施設充実費	14,653					
	総合文化施設充実費（繰越分）	2,478					
	総合文化施設環境整備事業	7,317					
	新居浜市美術館特別企画展開催費	23,971					
	にいほまSDGsアートフェスティバル開催事業費	4,333					
	あかがねミュージアムプロジェクト事業費（繰越分）	14,410					
	あかがねミュージアム支援事業費	314					
	総合文化施設感染症対策事業費	2,983					
	美術品購入基金費	美術品購入基金繰出金		5	5		

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計		
保健体育費	保健体育総務費	市民体育振興費	2,599	51,754	903,912		
		市民体育祭費	3,761				
		学校開放費	3,912				
		市民体育充実強化費	5,709				
		体育施設建設基金積立金	731				
		青少年育成スポーツ活動費	531				
		競技スポーツ強化事業費	1,683				
		スポーツ推進審議会費	135				
		学校スポーツ活性化事業費	3,139				
		あかがねマラソン大会開催事業費	5,188				
		愛・野球博開催事業費	600				
		東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー等推進事業費	3,293				
		全国高校総体推進事業費	1,164				
		新居浜市スポーツ未来創造事業費	12,461				
		新居浜市スポーツ協会育成事業費	6,400				
		スポーツ大会派遣事業費	448				
		体育施設費	野外活動施設整備費			1,340	292,290
			体育施設管理運営費			258,339	
	体育施設環境整備事業		32,611				
	学校給食費	人件費	153,555	559,868			
		給食運営費	170,536				
		高津共同調理場管理運営費	2,964				
		学校給食センター管理運営費	113,945				
		給食運営改善事業	73,766				
		学校給食多子世帯支援事業費	2,405				
		学校給食推進費	13,981				
		学校給食センター建設推進費（繰越分）	22,000				
		学校給食センター建設事業	6,716				
教育費合計				4,319,575			

(2) 民生費

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
社会福祉費	人権推進費	人権啓発推進費	626	20,564	160,185
		人権教育推進費	2,276		
		人権教育費	17,662		
児童福祉費	児童福祉総務費	放課後児童対策費	139,621	139,621	
民生費合計					160,185

(3) 介護保険事業特別会計 地域支援事業費

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
一般介護予防事業費	一般介護予防事業費	高齢者生きがい創造学園講座事業費	8,768	8,768	8,768

2 主な施設の環境整備事業

令和3年度に実施した主な事業は、次のとおり。

【南中学校北棟屋上防水改修工事】

工事費 25,957,800 円
完 成 令和3年10月

南中学校北棟



【高津小学校体育館外部改修工事】

工事費 17,892,600 円
完 成 令和4年1月

高津小学校体育館



社会教育課の主な施策と実績

公民館、交流センターは社会教育拠点、生涯学習拠点、地域づくり拠点と様々な特性を持っているが、それぞれの地域の特徴を活かした活動を一層充実させることが公民館等の存在意義を高めることにつながる。この観点から、「地域教育力向上プロジェクト推進事業」として地域の課題解決に向けた取組を行った。

1 地域教育力向上プロジェクト推進事業

地域ごとに実情・課題は様々であるため、“つどう”（生活のなかで気軽に人々が集うことができる場）、“まなぶ”（自らの興味関心に基づいて、また社会の要請にこたえるための知識や技術を学ぶための場）を事業の柱とし、学びを活かして地域の課題解決を目指している。

令和3年度は、市内16校区及び2地区で実施した。

2 公民館施設環境整備事業

住民の地域づくりの拠点として、利用者により安全快適な施設環境を提供するために、必要な整備・維持管理を実施した。

3 別子ハイツ自然学習館の利用状況

(単位：人)

会 議 室			宿 泊		
R1	R2	R3	R1	R2	R3
510	111	40	607	6	0

※令和4年3月31日付で廃止

4 新型コロナウイルス感染対策による社会教育施設の臨時休館状況

始	至	休館日数
令和3年4月10日(土)	～ 令和3年5月31日(日)	47
令和3年8月13日(金)	～ 令和3年10月18日(月)	64
令和4年1月31日(月)	～ 令和4年2月28日(月)	25
合計		136

5 学校体育施設開放の利用状況

●開放校 小学校等 17 施設 中学校 10 施設

●照明設備使用料（運動場 1,000 円、体育館 200 円、武道場 100 円）

（単位：人）

年度 学校名	運 動 場			体育館・武道場		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新居浜小	5,828	5,737	3,959	10,269	8,698	7,053
宮西小	4,417	5,534	3,136	7,037	5,130	3,140
金子小	3,132	3,947	3,080	9,586	9,197	5,646
金栄小	1,339	2,841	3,139	14,046	15,588	11,040
高津小	6,101	6,715	4,582	11,942	11,824	7,257
浮島小	2,159	2,397	1,670	3,817	2,883	1,620
惣開小	1,942	3,450	3,174	7,483	7,197	4,681
生涯学習センター若宮学園 (旧若宮小)	3,333	3,442	—	9,578	5,644	—
垣生小	6,679	8,240	6,224	5,311	6,237	3,732
神郷小	8,425	9,007	6,070	13,268	11,280	7,170
多喜浜小	2,030	2,870	1,832	7,225	5,266	3,823
泉川小	7,635	7,316	5,393	9,078	9,609	5,780
中萩小	8,409	9,088	4,686	18,271	19,593	10,015
船木小	6,189	6,851	4,953	10,200	10,189	5,670
大生院小	6,293	7,147	4,705	10,970	10,095	5,580
角野小	7,076	7,253	4,942	10,236	11,841	7,603
別子小・中	0	0	0	318	133	0
東中	1,296	1,770	1,029	9,342	7,236	3,924
西中	667	763	565	3,623	3,752	1,873
南中	1,488	1,098	621	9,324	7,923	4,523
北中	1,162	923	670	7,948	6,747	3,952
泉川中	0	0	0	8,282	7,383	4,130
中萩中	2,523	2,384	1,756	10,612	9,284	4,098
船木中	733	1,198	434	8,538	6,786	3,561
大生院中	664	590	626	4,110	3,217	1,795
角野中	1,259	1,291	588	8,811	7,281	4,087
川東中	1,415	1,830	1,345	9,933	9,407	5,020
計	91,294	103,682	69,179	239,158	219,420	126,773

6 公民館事業報告

新居浜公民館

1 令和3年度の公民館活動の概要（重点事業）

～夢・ロマン・感動を求めて～

- 1 ボランティア活動の推進
- 2 学校・家庭・地域を結ぶ青少年育成と見守り隊の推進
- 3 生涯学習の活性化と推進
- 4 三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成
- 5 小学生・中学生・高校生の居場所づくりと交流

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
女性講座	婦人	19	1	154	0	155
生き生きセミナー	婦人	19	1	55	1	57
地域活性化事業（スポーツ教室）	校区住民	6	20	4	6	30
三世代交流校区史跡めぐりウォーキング	校区住民	4	17	19	34	70
シニアネットワーク	成人男性	3	6	4	0	10
三世代交流事業	校区住民	8	46	56	93	195
次世代ネットワークセミナー	生徒	5	0	5	6	11
健康セミナー	校区住民	15	0	35	2	37
読書感想文書き方教室	児童（小学生）	4	1	0	16	17

3 特色ある事業（講座）

【次世代ネットワークの活躍】

校区の防災事業では、中高高校生である次世代ネットワークメンバーが企画・運営に当たり、小中学生に参加者やボランティアを募集したり、リーダーを募ったりと、中心手的な役割を担っている。新居浜校区各種団体よりお手伝いしていただき、いざという時に役立てることを研修、防災について学んだ。

また、次世代ネットワークメンバーを対象に、新たにワークショップ研修を実施、今後の事業計画運営につなげることができた。若い世代の参加により、地域の活性化につながった。



4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 次世代ネットワークを立ち上げ、特に防災事業の企画立案、運営を行い、共に魅力ある地域づくりを行う。
- (2) 地域自主防災組織の強化。
- (3) 団塊世代の協力体制づくり。
- (4) 放課後子ども教室の充実を図り、地域住民との交流を深めること、様々な分野の体験を提供。

口屋跡記念公民館

1 令和3年度の公民館活動の概要（重点事業）

～心触れ合う、住みよい地域づくりをめざして～

- 1 豊かな心を育てる生涯学習の充実
- 2 青少年の健全育成
- 3 社会教育関係団体相互の連携・交流
- 4 人権・同和教育の推進
- 5 生涯スポーツの振興、生活文化活動の育成

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
女性講座	成人女性	7.5	1	64	0	65
高齢者講座	高齢者	7.5	41	38	0	79
高齢者・女性合同講座	高齢者・成人女性	1.5	12	18	0	30
生活文化講座	児童・保護者・校区住民	3.5	20	30	80	130
宮西サロン	成人女性・保護者	2.5	0	13	0	13
北中校区子ども絵画展	児童・生徒・保護者	5	6	5	0	11
三世代交流講座	児童・校区住民	2	2	3	42	47
三世代交流ふれあい交流会	児童・高齢者・校区住民	5	11	18	68	97
口屋あかがねプロジェクト事業	成人男性・成人女性	15	18	7	1	26
地域の未来を考えるプロジェクト	児童・生徒・校区住民	1	18	12	0	30

3 特色ある事業（講座）

【地域の未来を考えるプロジェクト】

地域住民へのアンケートを実施し、取りまとめた結果から地域課題を①防災防犯・コミュニティ・生活環境②子ども支援③地域福祉④生涯学習（まちづくり・人づくり）の4つのテーマに分類しました。

掲げる目標、目標を達成するために取り組む具体的な事業について、ともに考え、意見を出し合い、方向性を取りまとめている最中です。10年後の宮西校区を見据えて目標に向かい協力し合うことで連帯感も高まります。



【グループ討議中】



【グループ別発表】

4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 地域活動を担うリーダー的人材の確保
- (2) 子どもから高齢者まで、みんなが安心して暮らせるまちづくり
- (3) 学校・家庭・地域が一体となり子どもたちを支援し見守る環境作り
- (4) みんなの居場所、交流づくりや健康づくり、三世代交流事業等、ともに生きるためにどうすればよいか
- (5) 「人生100年時代を生き切る！」ためにできることとは

地域交流センター（ふれあい金子）

1 令和3年度の交流センター活動の概要（重点事業）

～笑顔あふれる地域交流センター～

- 1 地域ふるさとづくりの推進
- 2 生涯学習・スポーツの推進
- 3 各種団体との連携・協力体制の強化
- 4 地域が一体となった青少年健全育成
- 5 自主防災組織の充実と意識の向上

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者講座	高齢者	20	20	98	177	100
スポーツ健康教室	校区住民	3	14	48	16	78
宿泊合宿	児童・保護者	2	40	71	86	197
文化教養講座	校区住民	8	52	80	73	205
三世代交流事業	校区住民	8	42	52	53	147
地域リーダー育成事業	児童、生徒、成人 男性、成人女性	21	33	86	108	227

3 特色ある事業（講座）

【三世代交流事業（七草粥・太鼓台飾り幕の見学）】

令和4年1月8日（土）に、地域交流センターの恒例行事として「七草粥を知る会」と、初の試みとなる「太鼓台飾り幕の見学」を同時に開催しました。

見学では、庄内太鼓台の力をお借りして、現在使われている飾り幕や、以前使用され、現在は個人所有として大切に保管されている飾り幕、ミニチュア太鼓台（実物10分の1サイズ・個人所有含む）などの展示を行いました。

その後は、金子校区婦人部のお手製七草粥をいただき、地域の方と交流を深めました。



4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 地域住民主体の生涯学習の推進
- (2) 世代間交流事業を充実させ、地域住民の交流の輪を広げる。
- (3) 学校関係機関及び諸団体と連携し、青少年の健全育成を図る。
- (4) 自主防災組織の充実と意識の向上（住民同士の連携を深める）

金栄公民館

1 令和3年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域と共に歩む公民館を目指して～

- 1 安全・安心のまちづくりの推進
- 2 学校・地域との連携を図り、地域活性化につなげる
- 3 青少年健全育成の推進
- 4 公民館活動への住民の参画促進及び各種団体との連携強化
- 5 自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
婦人講座	校区住民	11	3	68	0	71
高齢者講座	高齢者	4	26	22	0	48
家庭教育講座	保護者	5	0	17	0	17
ふれあい文化講座	校区住民	5	0	16	0	16
子育て支援	乳幼児・保護者	10	1	31	27	59
金栄まちづくり事業	校区住民	4.5	86	14	0	100
三世代交流事業	校区住民	2	22	44	1	67
ドリームツリー 『金栄ふれあい広場』	校区住民	1.5	200	300	400	900

3 特色ある事業（講座）

【三世代交流事業（芸能発表会）】

金栄校区ではあかがねミュージアムにおいて金栄校区芸能発表会を行っており、公民館を利用しているサークルの一年に一度の発表の場となっています。

令和3年度はコロナ禍のため、無観客での開催となりました。また、毎年出演していた、放課後子ども教室『かるがもクラブ』の出演はありませんでしたが、『金栄手伝い隊』（中高生ボランティア）や、地域ボランティアの協力のもと、2年ぶりの発表会が開催されました。



4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 地域住民のニーズに合わせた事業及び講座の実施
- (2) 地域活動におけるボランティアの高齢化&後継者の育成
- (3) 見守りボランティアの拡大と支援の充実
- (4) 自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上
- (5) 地域に伝わる郷土芸能の伝承と継承

高津公民館

1 令和3年度の公民館活動の概要（重点事業）

～安心と安全のまち「たかつ」～

- 1 【住民交流】 隣近所が支え合い、助け合って「みんなが明るく住みやすい」町等
- 2 【育児】 親、子どもが自由に集まって、ふれ合い、遊び、子どもたちが元気に「健やかに育つ」町等
- 3 【高齢者】 高齢者同士が交流し、地域の子どもたちと触れ合って「明るく生き生きと生活する」町等
- 4 【障がい者】 障がい者や障がいを正しく理解し、障がい者から真に求められる「手助けをする」町等
- 5 【青少年健全育成】 子どもたちが友達や仲間たちとふれ合い、助け合い、理解し合って「共に成長する」町等
- 6 【環境】 一人一人が気を配り、みんなの力で実現する「清潔で美しい」町等
- 7 【防災】 想定される災害を正しく理解し、災害に備える「災害に強い」町等

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業の実施

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
シニア講座	高齢者	8	52	20	0	72
女性セミナー	婦人	19.5	13	158	0	171
たんぽぽ・ふわり講座	乳幼児、保護者	15	7	63	38	108
スポーツ健康教室	校区住民	5	12	25	0	37
たかつ花あふれるまちづくり	校区住民	13	55	58	2	115

3 特色ある事業（講座）

【たんぽぽふわり講座】

未就園児の子どもを育てる母親対象の講座で、日頃から育児を頑張っているお母さんたちに少しの間子どもと離れ、身体を動かしたり、物づくりや生活の知恵を身につけるなど、自分の時間を楽しんでもらうため実施。「ピラティス」「ポーセラーツ」「アレンジフラワー」「アロマを使った美容」「アロマハンドクリーム作り」など若い母親世代にとって興味のある講座を計6回、感染対策に留意しながら開講した。

母親の受講中は、子どもたちは母親と離れ、保育士2名と公民館スタッフ3名が保育をしている。初めは不安そうに泣いていた子も、回を重ねるごとに慣れて楽しく遊べるようになったり、参加者同士の交流も生まれたり、もっと回数を増やして欲しいという熱い要望が届く人気の講座である。



【ピラティス】



【託児風景】

4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 高津まちづくり実行委員会（第1「挨拶・見守り実行委員会」、第2「自治会活性化実行委員会」、第3「三世代交流わいわいクラブ」、第4「防災対策実行委員会」）の強化と更なる推進
- (2) 次世代を担うリーダーの養成と人材の発掘
- (3) 学校・家庭・地域をつなぐコミュニティスクールの推進

浮島公民館

1 令和3年度の公民館活動の概要（重点事業）

～明るく元気な浮島校区の構築～

- 1 青少年の健全育成を地域の課題として取り組む。
- 2 高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進
- 3 「安全・安心」の地域の拠点としてのレベルアップ

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
家庭教育講座	児童、保護者 校区住民	14	4	30	13	47
男性料理教室	成人男子	14.25	44	12	0	56
教養講座	校区住民	6.5	16	26	32	74
ものづくり講座	校区住民	17	11	50	1	62
健康講座	校区住民	7.5	5	26	16	47
伝統講座	児童、校区住民	12	35	55	64	154

3 特色ある事業（講座）

【伝統講座・しめ縄づくり】

毎年12月に浮島小学校の5年生と6年生を対象に行っています。地域の方々にはわら取りやしぶとりなどの準備から、当日のご指導までご協力いただいています。

子どもたちも縄の結び方を教わりながら一生懸命に編んでいます。丁寧に教えてもらって作ったしめ縄、家に飾るのを楽しみに持ち帰っています。



4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 地域の主体性を尊重した生涯学習の推進を図る。
- (2) 多くの地域住民が公民館活動に参加できるよう工夫し、地域の活性化に繋げる。
- (3) 子ども達を地域で守り育てる意識と環境の向上を図る。
- (4) 公民館活動の担い手となる人材の確保と育成を図る。

惣開公民館

1 令和3年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域と共に歩む活気ある公民館づくりを目指して～

- 1 事業の企画・運営への住民の参画促進と人材の育成・発掘を図る。
- 2 地域資源を活かしたまちづくり
- 3 地域住民に親しまれる公民館づくり

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
乳幼児学級	乳幼児	1	11	13	20	44
生活文化講座	校区住民	14.5	1	77	23	101
遊YOUセミナー	校区住民	14	3	52	0	55
シニア教室	高齢者	17.5	0	36	0	36
王子が丘教室	児童	50	10	211	539	760
三世代交流事業	校区住民	13.5	72	132	262	466
まちづくり事業	校区住民	18.5	355	455	600	1410

3 特色ある事業（講座）

【まちづくり事業】

世界中がコロナ禍でも、ルールを守り、住民がそのような状況にも負けないように。

地域が元気になり、又、惣開小学校児童・西中学校生徒と共に、楽しい思い出を作り、惣開校区の機運を高められるように、令和3年7月24日（土）「サマーフェスタ in そうびらき2021」、令和3年12月25日（土）「ウィンターフェスト in そうびらき2021」をそれぞれ開催した。和気あいあいとした雰囲気の中で地域交流も深まった。



4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 世代間の交流のある講座の推進
- (2) 魅力があり、誰もが気軽に参加できる講座の開設
- (3) 地域住民に対する生涯学習への認識と啓発（特に青年層）による新規参加者の増加
- (4) 学校と地域をつなぐESD活動の推

若宮公民館

1 令和3年度の公民館活動の概要（重点事業）

「地域とともに歩み育つ公民館」をスローガンとして家庭・学校・地域の連携をはかり、安全・安心で住みよい若宮地域づくりを目指す。

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者	9.5	8	59	0	67
趣味と教養	校区住民	2.5	1	9	6	16
環境にやさしいまちづくり	校区住民	3	2	19	0	21
安全・安心なまちづくり	校区住民	5	13	21	0	34
地域の伝統・歴史の伝承	乳幼児、児童、保護者	6	11	21	31	63
スポーツと健康	校区住民	3.5	8	21	0	29

3 特色ある事業（講座）

【安全・安心なまちづくり】

高齢化率が高く浸水被害に弱い若宮地区では、近年多発する自然災害に対して“逃げ遅れゼロ”を目指し、自主防災組織を立ち上げ、地域の課題を明確にし、月1回の会合を実施している。

地域の防災士を講師に、防災講座を実施。コロナ禍で日程や内容の変更があったが、1回目は避難用のリュックを持ち寄って中身を点検し、被災時に役立つ用具を体験した。2回目は地域の防災訓練で学んだ『マイタイムライン』を実際に作成し防災意識の高揚を図った。要支援者の避難をどうするかなど地域課題も共有することができた。



4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 公民館活動への幅広い世代の住民の参画を推進。
- (2) 家庭・学校・地域を繋ぐ安全安心な拠点施設を目指す。
- (3) 放課後子ども教室による子どもたちの居場所作りと将来の地域リーダーの育成。
- (4) 「生涯活躍のまち拠点施設ワクリエ新居浜」との協働による地域活性化。

垣生公民館

1 令和3年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域と共に歩む公民館～

- 1 地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり
- 2 自ら学ぶ生涯学習の推進
- 3 各種団体・機関との連携強化
- 4 生活文化活動の振興
- 5 安全で住みたい垣生づくり

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者講座	高齢者	23	75	57	0	132
女性講座	女性	16	37	103	33	173
成人講座	校区住民	17	25	43	0	68
スポーツ健康教室	校区住民	4	37	15	0	52
ふるさと文化講座	校区住民	5	17	0	0	17
子育て支援講座	乳幼児、児童、 保護者	10	1	64	43	108
垣生環境美化事業	校区住民	13	124	31	43	198
イルミネーションファンタジー	校区住民	6	89	56	129	274

3 特色ある事業（講座）

【イルミネーションファンタジー】

毎年、恒例となっているイルミネーション点灯式。
垣生公民館内の木々や建物、そして垣生山山頂にも地域の方々のご協力によって色鮮やかに装飾されます。
校区内の方のみならず、市内各地からも鑑賞にいられています。



4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) コロナ禍で実現できなかった事業開催への対策
- (2) 地域に寄り添う、地域の方が興味や愛着をもてるような事業の取り組みを図る。
- (3) 地域・学校・家庭がより連携し、青少年健全育成と子育て支援に取り組む。

神郷公民館

1 令和3年度の公民館活動の概要（重点事業）

家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安心・安全で住みよいまちづくりを目指す。

- 1 青少年の健全育成
- 2 地域の安全と安心の推進
- 3 地域福祉の拡充
- 4 生涯学習の推進と各サークル活動の支援
- 5 スポーツの推進と健康づくりの推進
- 6 お茶の間懇談会の拡充・強化
- 7 自主防災組織作りの拡充・強化
- 8 地域の環境美化の推進

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者講座	高齢者	9	60	63	0	123
いきいきセミナー	校区住民	36	36	124	0	160
乳幼児期家庭づくり講座	乳幼児	22	15	72	127	214
三世代交流	校区住民	22	149	142	328	619
いきいきクラブ事業	校区住民	6	100	100	20	220
夏祭り事業	校区住民	8	100	100	200	400

3 特色ある事業（講座）

【夏祭り事業】（冬の贈り物 IN KOUZATO）

夏祭りの縮小開催及びその後の中止を経て、12月に「冬の贈り物 IN KOUZATO」とかたちを変え、実施しました。

校内音楽会等の観客制限で見られない保護者のためにとの声をうけ、小学校金管バンド演奏をしたり、幼稚園・小学生・地域の人が思いを込めて描いたキャンドルも会場を灯したりと、多世代交流が深まり地域に一体感が生まれました。



4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) どの事業もみんなで計画し、より多くの校区住民の参加を目指す。
- (2) 自治会、各種団体との連携を図り防災等で役に立つ地域の連帯感を深める。
- (3) 学校・公民館・地域の連携を一層深め、青少年の健全育成に取り組む。
- (4) 小・中学校と連携し神郷独自のコミュニティスクールを構築する。
- (5) 神郷まちづくり委員会を核として熟議を重ね、問題点を見つけ課題解決に向け地域全体で取り組む。

多喜浜公民館

1 令和3年度の公民館活動の概要（重点事業）

～笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～

- 1 潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進
- 2 世代間の交流、人材の発掘
- 3 学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成
- 4 郷土の伝統文化・塩田歴史文化・「かしょい」精神の継承
- 5 人権・同和教育の推進

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
健康講座	校区住民	17	32	53	24	109
青少年健全育成事業	校区住民	0.5	18	9	0	27
婦人講座	成人女性	12	1	54	0	55
子育て講座	乳幼児	3	5	7	8	20
家庭教育講座	校区住民	1	7	16	0	23
福祉講座	高齢者	3.5	12	27	0	39
食育・料理講座	校区住民	11	2	32	17	51
高齢者大学	高齢者	12.5	35	94	0	129
三世代交流事業	校区住民	22	104	131	179	414
塩田文化バンク	校区住民	17	43	47	62	152
環境・美化講座	校区住民	7.5	57	24	7	88
まちづくり講座	校区住民	12	67	48	0	115

3 特色ある事業（講座）

【塩田文化バンク】

別子銅山とほぼ同時期に生まれた塩田は、新居浜の発展を支え昭和40年代まで多喜浜の住民とともにあった。廃田以降、人々の記憶から忘れ去られつつある多喜浜塩田を後世に継承していこうという声が地域から高まり、住民が主導してその伝承活動に努めている。塩田で培われた相互扶助、連携協力の精神的基盤である“かしょい”文化と共に、今では使われなくなった“かしょい”の言葉も受け継いでいくために啓発活動も行っている。「ソルティ多喜浜」を活用した「塩の学習館」での塩づくり体験学習、多喜浜塩田学習、塩田遺跡めぐりなど継続的に取り組んでいる。



4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 塩田文化の保存伝承と継承
- (2) コロナの影響で実施できていない「ソルティちゃん音頭」「塩田讃歌」の継承
- (2) 地域主体の事業及び講座を実施し異世代の交流を深め、地域の活性化を図る

大島交流センター

1 令和3年度の交流センター活動の概要（重点事業）

～地域に親しまれるセンターづくり～

- 1 高齢者が楽しみながら健康維持できる推進事業
- 2 歴史と自然を守り伝統文化の伝承
- 3 住民どうしのつながりと安全・安心なまちづくり

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
教養講座	校区住民	40	12	54	0	66
高齢者講座	校区住民	9	13	48	0	61
伝統文化の継承	校区住民	8	16	34	0	50
防災教室	校区住民	2	11	12	0	23
みんなの作品展	校区住民	3.5	11	23	4	38

3 特色ある事業（講座）

【防災教室】

「新型コロナウイルス感染症」予防に注意しての開催でしたが、自治会の防災訓練も同時に実施しました。

また、消防大島分団の協力もいただき防災運動会では、防災をもっと身近に感じられるよう楽しく学びながら地域住民の親睦と繋がりを図る事ができました。



4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) ますます人口減少と高齢化に加えて「新型コロナウイルス感染症」対策をしながら高齢者が元気に楽しく学べる事業の推進
- (2) 伝統文化である「念仏踊り・口説き」「とうど祭り」を後世に伝え保存していけるような対策
- (3) 非常時に備え、住民の防災知識と住民どうしのつながりを持って、楽しく学習できる講座の実施

泉川公民館

1 令和3年度の公民館活動の概要（重点事業）

～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～

- 1 青少年の健全育成
- 2 高齢者が楽しみながらの健康増進事業
- 3 住民が総参加の事業展開
- 4 地域課題の解決に向けた学習会
- 5 郷土の伝統文化の伝承
- 6 まちづくりの醸成

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業名	対象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
ふるさと塾	校区住民	10	109	70	0	179
なんでも学習会	高齢者、校区住民	8	22	25	0	47
伝統行事を伝える	校区住民	1.5	190	120	50	360

3 特色ある事業（講座）

【ふるさと塾】

地域の課題や住民の要望を受け、講演会やワークショップ、先進地研修などを開催しています。平成21年度から令和3年度までに119回の研修会を計画して開催してきました。

毎月12日に会を開催し、年間8回程度を計画して住民に知らせています。認知症を学ぶ講演では、校区内の各施設にも連絡します。人権教育やコミュニティ・スクール関係は、小・中学校と連携しています。令和3年度はワークショップでの講座を2度行うことができ、自分のこととして研修することができ、参加者から好評を得ました。



4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) コロナ禍で計画した講座が急遽中止することがあった。できるだけ日程変更して校区住民の研修会を実施する。
- (2) 感染予防を徹底し、できることは何かを検討する。
- (3) コミュニティ・スクール関係では、学校・家庭・地域の連携をこれまで同様に深め、青少年の健全育成を図る。
- (4) 地域福祉を推進する関係機関や各種団体と連携強化を図る。

中萩公民館

1 令和3年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す～
「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町 日本一の中萩」

- 1 生涯学習・生涯スポーツ活動の推進
- 2 青少年健全育成の推進
- 3 社会福祉活動の推進
- 4 人権・同和教育の推進
- 5 安心・安全な地域づくりの推進

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
中萩セミナー	校区住民	12	41	84	0	125
高齢者セミナー	高齢者	10	123	110	3	236
健康セミナー	校区住民	18	90	110	17	217
福祉セミナー	校区住民	2	9	9	0	18
十河信二を知り学ぶ活動	校区住民	4	19	13	3	35
中萩三世代交流事業	校区住民	3	11	7	35	53
環境改善事業	校区住民	13	14	15	0	29
まちづくり事業	校区住民	2.5	35	13	0	48
ふたごクラブ	乳幼児、保護者	14	3	35	45	83

3 特色ある事業（講座）

【十河信二翁を知り学ぶ活動】

地域の偉人である「新幹線を走らせた男 十河信二翁」について、知り学ぶ活動の一環として、翁の気骨養成と座右の銘「有法子」の原点となる通学路を、健康増進も兼ねて体験ウォーキングしました。当日は天候にも恵まれ、翁の学び舎である旧制西条中学校（現県立西条高校）までの約10kmを参加者全員で元気に歩き切りました。また、その後伊予西条駅横にある「十河信二記念館」へも立ち寄りました。



4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 公民館の各種事業が、各種団体の積極的な支援と協力により有効に実施することができた。
- (2) はぎっ子の健全育成について、地域の各種団体との連携を取りながら、なお一層の充実を図りたい。
- (3) 地域の人々のニーズや実態を把握し、地域力の向上を図り、より多くの人々の参加を目指して、魅力ある事業を展開する。
- (4) 開かれた公民館として、地域の人々の誰もが活動し、また誰もがつながっている公民館にしていくことを目指す。
- (5) まちづくりや地域活性化の拠点として活動できるよう話し合いの場を重ね、地域住民と一体となり、様々な事業を企画・運営していく。
- (6) 少子高齢化が進む地域で、福祉や子育てについて、気軽に相談できる体制づくりを地域とともに考えていきたい。

船木公民館

1 令和3年度の公民館活動の概要（重点事業）

～安全で安心して快適に暮らせるまちづくり～

- 1 学校・家庭・地域の連携強化による青少年の健全育成
- 2 心豊かな福祉のまちづくりの推進
- 3 一人ひとりの学ぶ心を大切にする生涯学習の推進
- 4 人権・同和学習の推進
- 5 地域に根ざした親しまれる公民館づくり

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
人権講座	校区住民	3	11	6	0	17
環境講座	児童、校区住民	16	49	20	120	189
健康講座	高齢者、校区住民	9	22	58	0	80
伝統文化講座	校区住民	5	122	74	84	280
こども講座	児童、保護者	10	11	20	85	116
HAPPYクッキング講座	校区住民	4	7	8	0	15
趣味講座	校区住民	5.5	1	49	0	50
地域づくり講座	校区住民	9.5	43	89	58	190
船木を歩こう	校区住民	6	15	36	0	51

3 特色ある事業（講座）

【人権講座】

船木に在住の小野しんや先生を講師に迎え、毎年実施しています。講師自身が地域の方に伝えたいこと、自分の経験談など様々な分野でのお話で、とても興味深いものです。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、人数を制限するなど、しっかりと感染予防をし、親睦を深める場となっています。



4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 地域住民が主体となる地域づくりの拠点として地域の発展につなげる。
- (2) 次世代を担う人達の愛郷心を育て、リーダーとなる人材を養成する。
- (3) 若い世代の人にも公民館を活用、利用していけるよう取り組む。

大生院公民館

1 令和3年度の公民館活動の概要(重点事業)

- ～地域住民が集まり、共に進む公民館～
- 1 事業の企画・運営への住民の参画促進
 - 2 地域歴史遺産を生かした特色ある事業の推進
 - 3 自主防災組織の更なる充実と意識の向上
 - 4 子どもの居場所づくりと交流

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
高齢者いきいきセミナー	高齢者	5.5	17	18	1	36
くらしのセミナー	校区住民	14.5	9	67	0	76
子育て支援セミナー	乳幼児、保護者	4	1	18	18	37
郷土の歴史と文化	校区住民	6	23	12	0	35
スポーツ健康教室	校区住民	4	21	26	0	47
三世代交流事業	児童、高齢者	4	32	22	82	136
大生院まちづくり事業	校区住民	1	22	30	48	100

3 特色ある事業（講座）

【郷土の歴史と文化（近藤篤山の孝道を訪ねて）】

伊予の聖人と尊称された江戸時代の儒学者近藤篤山。近藤篤山の生誕の地を訪れ、石碑や歌碑などに触れ、篤山の偉大な功績を偲び、また、暁雨館では、学芸員さんの話を聞き数多くの書を鑑賞しながら歴史を学びました。



4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 公民館活動への住民の参画の促進をしつつ、次世代を担う人材の発掘と育成
- (2) 地域全体で、子どもや青少年の健全育成の充実
- (3) 地域住民のニーズに合わせ、より多くの人々の参加を目指し魅力あふれる事業を展開していく。
- (4) 地域防災の更なる充実と強化

角野公民館

1 令和3年度の公民館活動の概要（重点事業）

～共に学び・話し・喜び合える地域づくりを目指して～

- 1 思いやる心を育てる生涯学習を推進し将来を見据えた地域づくり
- 2 伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり
- 3 学社融合で青少年健全育成、安全で安心の地域づくり
- 4 自分達で命を守る防災意識の確立を図る地域づくり
- 5 三世代交流や人と自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
合同セミナー	校区住民	17	184	148	253	585
手作りセミナー	校区住民	9	7	79	0	86
いき生き生活セミナー	校区住民	5	11	14	0	25
家庭教育セミナー	校区住民	8	45	27	176	248
スポーツ健康教室	校区住民	3	8	5	3	16
伝統文化プラン	児童、生徒 校区住民	21	163	141	80	384
未来まちづくりプラン	児童、生徒 校区住民	2	52	29	105	186

3 特色ある事業（講座）

【合同セミナー しめ縄作り教室】

しめ縄の材料となる藁のしぶを取る作業を、地域の方や角野中学校の生徒の協力のもと行った。当日は、小さな子どもから高齢者まで幅広い世代の方々が集まり、コミュニケーションを図りながら思い思いのしめ縄を制作した。世代の垣根を越えて教え合ったり、完成に向けて協力したりと、楽しみながら活動することができ、貴重な異世代交流の場となった。

また、ものづくりを通して日本の伝統的な文化に触れ、それらを守り受け継いでいくことの重要性について考え直すきっかけにもなった。



【しぶ取り】



【しめ縄作り教室】

4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 学校との連携により、充実した「角野コミュニティ・スクール」の展開を進める。
- (2) 次世代を担う人材の発掘と育成に努める。
- (3) アクティブラーニング、課題解決型活動を推進し豊かなまちづくりを目指す。
- (4) 人権教育の充実

別子山公民館

1 令和3年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域づくりの拠点として、暖かくぬくもりのある公民館を目指して～

- 1 学校・地域との連携を図り、地域活性化に繋げる。
- 2 伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る。
- 3 人権・同和教育の推進
- 4 青少年の健全育成を図る。
- 5 世代間交流の充実強化

2 地域教育力向上プロジェクト推進事業一覧

事業（講座）名	対 象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
スポーツ健康教室	校区住民	4	18	10	6	34
別子校区秋季大運動会	校区住民	4	23	28	21	72
高齢者配布用餅つき	校区住民	5	14	12	5	31

3 特色ある事業（講座）

【高齢者配布用餅つき】

別子校区では、講座開設時から独居高齢者配布用として餅つきを実施してまいりました。

ですがこの所の地域内人口減少もあり、一人暮らしを対象とすることなく、70歳以上の全ての高齢者を対象に配布するよう変更し事業を実施しております。

対象の高齢者の皆さんも、様々な思いを抱えながら新年を迎えるにあたり地域住民からの贈り物に、目を細め感謝の気持ちを表していただきました。

これからも感染予防に配慮しながら、続けていけることを願っております。



4 令和3年度事業の反省及び今後の課題

- (1) 溢れる自然という地域素材を利活用した、体験型学習の推進を図る。
- (2) 地域住民の生涯学習の推進を図り、人材育成につなげる。
- (3) 地域づくりの拠点として、地域課題を検討し、今後の地域発展につなげる。
- (4) 地域の連携を一層深める。

青少年センターの主な施策と実績

1 運営協議会

青少年センターの運営に必要な運営方針、重点目標、業務計画、少年補導委員の推薦、青少年の善行表彰の審議等について協議している。

協議会の開催状況（令和3年度）

第1回 令和3年 5月 （書面開催）

第2回 令和4年 2月 （書面開催）

2 街頭補導

街頭補導は、少年補導委員を中心に活動場所を選んで効果をねらうとともに、計画的・組織的に問題少年、非行少年の早期発見、早期補導を基本に取り組んでいる。

(1) 実施の状況（令和3年度）

街頭補導回数	従事補導委員延べ人数	補導した少年延べ人数
471回	2,095人	98人

(2) 行為別内容（指導・声かけ）（令和3年度）

（単位：人）

区 分	児 童 生 徒	そ の 他	計
飲 酒 喫 煙 怠 学 ・ 怠 業 盛 り 場 徘徊 夜 遊 び 暴 走 行 為 ゲ ー ム セ ン タ ー 無 灯 火 ・ 重 乗 等 声 かけ（帰 宅 指 導 等） そ の 他		2	2
	8		8
	88		88
計	96	2	98

3 相談活動

国際化、少子化、高齢化、情報化などが進む今日、青少年を取り巻く社会環境も変化し、また、青少年自身の価値観、意識、行動も変容している。

このような社会の中で、保護者をはじめ、学校関係者、地域住民、関係機関等が連携を密にし青少年の健全育成に取り組んでいる。

青少年の健全育成には、子どもたちの人間性を豊かにし、たくましく生きる力を育成することが必要である。

子どもの非行、いじめ・問題行動などで悩みをもっている家庭、関係者、青少年自身からも相談を受け、問題の早期解決、予防、生活習慣の改善策等について話し合っって支援をし、必要な場合は関係諸機関に連絡し、相談、助言、指導を行っている。

(1) 相談の日 毎週月曜日～金曜日 8:30～17:15（祝日・年末年始の休日を除く）

(2) 相談の方法 来所相談・電話相談・訪問相談

(3) 令和3年度少年相談の状況

項目	来所相談	電話相談	訪問相談	合計
相談件数	0	4	0	4

ア 相談対象者

学 職	小学生	中学生	高校生	その他	合計
相談件数	0	1	1	2	4

イ 相談内容

相談内容	家庭問題	学校	非行・不良行為	その他	合計
相談件数	1	0	0	3	4

4 関係機関・団体との連絡連携

家庭、学校、警察、大型店、関係機関、団体等との連携により問題少年、非行少年等の早期発見、早期補導に努めた。

関係機関や団体が催す青少年健全育成、非行防止等の研修会、連絡会等に積極的に参加し、情報の収集、情報交換等に努めた。

5 青少年善行表彰

青少年の資質の向上を目的に日常生活や行動において善行著しい者について、運営協議会の決定に基づいて表彰した。

【善行表彰受賞者（令和3年度）】

小学生1名 中学生6名 高校生2名

6 青少年健全育成の活動状況

新居浜市では、7月1日～7月31日の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月1日～11月30日の「子ども・若者育成支援強調月間」を重点に、青少年健全育成のための活動を展開している。

(1) 青少年健全育成に関する啓発資料の配布

市政だよりによる啓発と未成年者の飲酒・喫煙防止等の啓発。

(2) 青少年健全育成に関する標語

各小・中・高校へ標語を募集し、審査の後、表彰した。(応募数は、小学生42、中学生27、高校生9)

最優秀(3点)、優秀(5点)、佳作(12点)作品は、市政だよりに掲載するとともに、ポスターを作成し、強調月間中、小・中・高校、公民館、市役所等に掲示し、啓発に努めた。

<最優秀>

マスクでも にっこりえがお とどけよう	角野小1年	秋山 凜都
話そうよ スマホもネットも Offにして	川東中1年	佐々木 伶桜
画面越し 見えないからこそ 思いやり	東高2年	伊藤 優香

<優 秀>

おはようで すてきなえがおが あっ!さいた	浮島小2年	竹野 大翔
「どうしたの」うつむくあの子に 声かけよう	金子小3年	杉本 真優果
マスクでも 微笑み伝わる 目もとから	大生院小5年	野口 舞花
どう動く あなたの正義が 問われてる	角野中2年	米澤 大和
ポイ捨ては 人間性も すてている	商業高2年	里井 菜々音

生涯学習センターの主な施策と実績

1 生涯学習センター事業報告

令和3年度の事業も新型コロナウイルス感染の影響を受け数度の延期をとなり、特定の期間に集中開催する変則的な運営となった。結果として、ほぼすべての講座を完了できたが、日程変更等で受講生にとって負担も多かった。

今年度の講座の特色としては、リモートを活用した新しい学びの導入が挙げられる。松山大学や愛媛大学の講師陣は大学から遠隔配信で講義し、受講生はセンターで共同視聴する場面が増えた。また、雑談しま専科では、受講生にリモートのスキルを習得する研修を実施し、結果的に各家庭でパソコンやスマホを通じてグループで対話する場面に辿り着くことができた。ニューノーマルな学びの足掛かりとなった一年であった。

市民スタッフ（まなびすと）の活動が充実したことも大きな成果であった。はじめての別子銅山や環境セミナーはじめ、まなびすとが企画立案した講座が生まれた。多様な学習ニーズに応えるために「学んでマナビィ」も拡充を図った。

また、子ども達に体験の機会を提供する講座、愛媛県在宅介護研修センターと共催した「すぐに役立つ介護講座」などの新規講座も生まれた。生涯学習大学を契機に生まれたステップアップ活動も拡充が図られた。

2 生涯学習大学の開設

生涯学習大学講座内容

(令和3年度)

講座名	対象	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
					男	女	
松山大学公開講座	市民	R3. 6. 19～R4. 1. 29	10	20	32	20	330
日本文学講座	市民	R3. 7. 10～R4. 3. 19	8	16	18	34	293
新居浜高専市民講座	市民	R3. 6. 19～R4. 3. 26	8	16	42	13	312
科学博物館講座	市民	R3. 6. 30～R4. 3. 16	8	16	28	20	287
人生百年医学講座	市民	R3. 6. 23～R4. 3. 23	8	16	29	81	582
はじめての別子銅山	市民	R3. 6. 30～R3. 11. 2	6	12	12	14	123
別子銅山に学ぼうⅡ	市民	R3. 7. 2～R4. 1. 14	6	12	63	20	328
ポストコロナの人間関係	市民	R3. 10. 21～R3. 12. 9	4	8	2	3	32
へんろと郷土	市民	R3. 6. 29～R4. 1. 25	5	10	17	9	112
人間学講座(大学を読む)	市民	R3. 6. 14～R3. 11. 1	4	8	5	7	40
戦国四国物語	市民	R3. 7. 13～R4. 1. 18	4	8	77	44	364
日本文化の心	市民	R3. 10. 29～R3. 11. 19	3	6	6	5	23
すぐに役立つ介護講座	市民	R3. 7. 16～R4. 1. 28	5	14	14	50	190
めだかの学校	市民	R3. 6. 21～R3. 12. 6	4	8	3	1	14
世界知っトク・なっトク講座	市民	R3. 10. 26～R3. 12. 9	4	8	5	17	63
懐かしの心の唄講座	市民	R3. 10. 27～R4. 3. 23	8	16	24	90	533
新・読書のすゝめ	市民	R3. 10. 28～R3. 12. 16	3	6	1	7	18
環境問題を考えよう	市民	R3. 6. 19～R4. 1. 22	5	10	8	1	33
語り部教室	市民	R3. 7. 1～R3. 10. 28	4	8		15	55
ヨーヨーお手玉ダンス	市民	R3. 6. 16～R4. 1. 14	5	10	2	14	67
自然探訪	市民	R3. 6. 22～R3. 11. 11	4	12	12	11	62
じっくりと野鳥観察	市民	R3. 11. 25～R4. 3. 11	3	12	9	13	55
おとなの社会科	市民	R3. 7. 30～R3. 12. 14	4	8	13	14	79
新・雑談しま専科	市民	R3. 7. 7～R4. 3. 2	10	20	5	18	205
子どもワクワク教室	市民	R3. 6. 12～R4. 3. 12	8	24	10	10	150
藍染(A・B)	市民	R3. 7. 21～R3. 8. 3	2	6	1	24	47
学んでマナビィ	市民	R3. 6. 28～R4. 3. 3	21	42	83	518	451
俳句講座(自主講座)	市民	R3. 7. 9～R4. 1. 14	5	10	3	11	75
チケット受講生	市民				延べ17	延べ44	61
計			169		541	1,128	4,984

高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績

1 高齢者生きがい創造学園事業報告

おおむね60歳以上の者を対象にして、その生きがいづくりと健康・自立を目指す学習ニーズに応えられるよう講座を開設して、学習機会の提供、各種情報の収集・提供やボランティア活動・サークル活動の促進をした。

(1) 生きがい創造学園講座内容

(令和3年度)

講座名	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
				男	女	
幸齢社会を賢く生きる	R3. 6. 8～R4. 1. 18	7	14	10	19	125
郷土を歩く	R3. 6. 10～R4. 1. 13	6	33	12	6	68
家庭菜園教室	R3. 6. 8～R4. 3. 1	9	17	16	6	159
四季の組み木教室	R3. 6. 10～R4. 1. 13	9	18	2	5	57
幸齢いきいきアート教室	R3. 6. 16～R4. 1. 19	9	22	1	8	72
茶道教室	R3. 6. 11～R4. 1. 14	13	26	1	2	39
書道教室	R3. 6. 9～R4. 1. 26	14	28	8	15	245
篆刻教室	R3. 6. 15～R4. 1. 18	11	22	18	12	271
絵手紙教室	R3. 6. 8～R4. 1. 25	14	28	2	7	118
写真教室①	R3. 6. 3～R4. 1. 27	7	14	9	4	79
写真教室②	R3. 6. 17～R4. 1. 20	9	18	11	3	124
陶芸教室	R3. 6. 16～R4. 1. 19	7	14	5	13	115
グラウンドゴルフ教室	R3. 6. 7～R4. 1. 24	11	22	12	19	259
ラージボール卓球教室	R3. 6. 14～R4. 1. 24	11	22	10	21	287
Shall we ハッピーダンス!教室	R3. 6. 11～R4. 1. 21	11	22	7	10	143
ピアノ教室	R3. 6. 1～R4. 3. 1	13	26	5	16	226
計		161	346	129	166	2387

※「四季の料理教室」は新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

(2) サークル活動等

【サークル活動】

講座終了者が、グラウンドゴルフサークルをはじめとする52サークルで自主的で幅広い活動をしている。

年間延べ回数 931回 男 6,204人 女 10,746人 計 16,950人

【代表者会】

- 目的 学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図ることを目的とする。
- 構成 学園の各講座、サークルの受講者の互選により選出された代表者で構成される。
- 組織 総務委員会・広報委員会・体育委員会・文化委員会・音楽委員会で構成される。
- 実績 記念誌「高齢者生きがい創造学園 三十年のあゆみ」の発刊

学校教育課の主な施策と実績

令和3年度は、「チーム学校」のマネジメント機能を強化することを重点事項とし、①「持続可能な社会」の担い手育成に向けた、地域とともに育つ学校づくり、②互いの人権を尊重し、一人一人が支え合い、認め合う人間関係づくり、③生きる力を育む教育の推進、④教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化、⑤安全・安心な教育環境の整備に取り組み、誰ひとり取り残さない教育の実現に努めた。

特色ある学校づくり

市内の全小・中学校がユネスコスクールに認定されており、ユネスコスクールとしてE S Dの視点に立った特色ある学校づくりに取り組むとともに、持続可能な社会の担い手を育てるため、学校と地域が連携して自主的に創意工夫を凝らした教育活動の実施に努めた。

令和3年度E S D推進事業

小学校

学校名	実施テーマ
新居浜小学校	見つめよう 考えよう 未来へつなげよう ふるさと新居浜 ～学校ビオトープの学びを中心に～
宮西小学校	地域とつながり 未来へはばたく みやにし(人・文化・自然)
金子小学校	未来につなげよう!金子愛顔の町プロジェクト～かかわる・つながる・ひろがる～
金栄小学校	金栄いきいきつながりプロジェクト～地域の方との交流活動を通して～
高津小学校	ふるさと発見 つなげよう未来へ
浮島小学校	共に生きる
惣開小学校	自ら学び、自ら考え、持続可能な社会づくりに参画・貢献できる人材の育成 ～SDG s 達成のために学校と地域のパートナーシップを構築し、多様なステークホルダーとの協働により学校と地域をつなぐE S D活動を通して～
垣生小学校	「自然」「環境」「歴史・文化」とのふれ合いを通して ～命の尊さと地域とともに生きることのすばらしさを感じられる子～
神郷小学校	つながろう地域と人と つなげよう私たちの未来へ
多喜浜小学校	「多喜浜塩田を未来に伝えよう」
泉川小学校	わたしたちのまち 大好き泉川 ～自然・文化・人とのかかわりによるSDG s の達成～
船木小学校	「ふれあい ～ふるさと船木の自然や人～」
中萩小学校	「伝えよう!地域のよさを」 ～見つめようふるさと 広げよう思いやり～
大生院小学校	人・自然・地域から、ふるさと大生院の未来を創造する児童の育成
角野小学校	角野小学校タイムトラベル ～ふるさとに誇りを持ち、そのよさを発信していける子の育成～
別子小学校	「学校・地域文化の継承」「自然から学ぶ」 ～ふるさとを守ろう ふるさとから学ぼう～

中学校

学校名	実施テーマ
東中学校	うぐいす運動
西中学校	地域を知り、人とつながり、未来を拓こう
南中学校	「共生社会」の実現を目指し、自己の生き方を探ろうとする心豊かな生徒の育成
北中学校	私たちはどのようにすれば、人や自然に優しい街づくりができるのだろう。
泉川中学校	地域や社会に生きる一員として何ができるかを考え、公のために行動する
船木中学校	持続可能な発展を目指し、地域の一員としてどのように生きていけばいいか考えよう。
船木中学校 ひびき分校	「地域と連携した和太鼓活動」～地域に学び、自己の生き方を考える～
中萩中学校	「自立・共存・交流」～地域に学び、自己の生き方を考える～
大生院中学校	ともに学び合う生徒の育成 ～人・もの・自然との関わりを通して～
角野中学校	大人になっても語ろう！角野の誇り
川東中学校	地域の暮らしを見つめ、地域や社会の一員としてよりよく生きる
別子中学校	「学校・地域文化の継承」「自然から学ぶ」 ～ふるさとを守ろう ふるさとから学ぼう～

コミュニティ・スクール

地域と学校が公式のパートナーとして、共に子どもたちを育て共に地域をつくる「地域とともにある学校づくり」の推進のため、全市的にコミュニティ・スクールの充実に向けた取組を実施した。また、各校の取組や課題の共有等を通じ、各校の特色のあるコミュニティ・スクールの充実に努めた。

生徒指導

不登校対策に校長を中心に全教職員が一致協力して取り組み、全力を尽くしてその防止・解決に努めた。

不登校対策検討委員会や関係機関との連携を図り、実態に即した活動を実施した。

昨年度に引き続き本年度も、教育委員会、各学校及び青少年の健全育成団体との連携を図るため、「児童生徒をまもり育てる協議会」を中学校区別に実施した。

各学校と「あすなる教室」との連携を深め、進路相談会や研修会を実施した。

人権・同和教育

校区別人権・同和教育懇談会開催事業として、基礎研修、学級・学年別研修を実施した。差別の現実に深く学ぶことを理念に、同和教育問題をはじめとする様々な人権問題について正しい理解を深め、全教育活動を通して、差別を「しない・させない・許さない」児童生徒を育成する教育実践を目指してきた。

国際・情報化

A L T 11名と英語指導員(3名)を小・中学校に派遣することにより、生きた英語教育の充実を図ることができた。また、市内全小・中学校がホームページを開設し、広く情報公開に努めている。

1 教職員研修の推進

研修内容の3本柱として、「特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実」「人権・同和教育の充実」「生徒指導の徹底」を挙げ、次のとおり研修に努めた。

(1) 重点目標

「チームとしての学校」の機能強化

(2) 最重要課題

誰ひとり取り残さない教育

(3) 研修の内容

ア 特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実

- (ア) 基礎的・基本的事項を確実に身に付け、個性を生かす学習指導の充実と評価方法の確立に努める。
- (イ) 児童生徒や地域の実態等を十分に踏まえ、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。
- (ウ) 豊かな体験を通して、道徳的実践力の育成と情操教育の充実を図る。
- (エ) 学校図書館やICT機器の活用による指導法の改善に努める。
- (オ) 体験的・問題解決的な学習を重視し、ティームティーチングや少人数による授業の実施等、多様な学習指導の工夫に努める。
- (カ) 授業研究、事例研究等の研究を通して、「生きる力」を育てる実践的指導力の向上を図る。

イ 人権・同和教育の充実

- (ア) 相互に認め合い、戒め合い、支え合う仲間意識を育て、いじめ等を生まない集団づくりに努める。
- (イ) 家庭・地域・学校の連携をより深め、人権思想の啓発と高揚を図る。
- (ウ) 困難な条件のもとにある児童生徒の教育条件を整備し、学力の向上と進路保障の体制を整える。
- (エ) 差別の現実を正しくとらえ、差別を解消する視点を明確にし、問題解決への実践力を身に付ける同和問題学習の推進に努める。
- (オ) 小・中学校の連携を図りながら、教職員一人一人の同和教育観の確立と同和问题解決の力量を高める。

ウ 生徒指導の徹底

- (ア) いじめ・不登校・非行の問題について、校長を中心に全教職員が一致協力し、全力を尽くしてその防止・解決に努める。
- (イ) 学習指導と生徒指導の一体化を図り、一人一人のよさを認め、可能性を伸ばすよう指導の改善に努める。
- (ウ) 教職員と児童生徒、保護者との信頼関係を確立し、積極的な生徒指導に努める。
- (エ) 児童生徒や保護者に対する教育相談を充実し、温かい人間関係のなかで、児童生徒理解に努める。
- (オ) 学校と家庭・地域社会・関係諸機関等との連携を密にし、協力体制の一層の充実を図る。

(4) 研修の日程と協議内容

ア 小・中学校長研修会

- 4月12日(月) 新居浜市教育委員会令和3年度基本方針の説明及び令和3年度校長研修会計画
- 11月17日(水) 「遺書が問いかけること」と「部落差別の解消の推進に関する法律」の具現化について

2月22日(火) 「学校経営の反省と今後の教育に望むこと」

イ 小・中学校教頭研修会

- 4月21日(水) 講演「ポストGIGAの授業デザイン～普段使いのICT機器活用を通して～」
- 8月27日(金) 研究協議題「ICTの効果的な活用等による学びの保障について、教頭としてどのように推進していくか～「一人1台端末の日常的・継続的な活用の早期実現を目指して」～」
- 12月10日(金) 講演「児童相談所と児童虐待について
～児童相談所と学校はどのように連携を図れるのか～」

2月17日(木) 研究協議題「令和3年度の反省と令和4年度の取組について」

ウ 小・中学校主幹教諭及び教務主任研修会

- 6月18日(金) 研究協議題「主幹教諭・教務主任として、今年度工夫しようとしている点や過去の実践で効果があった取組」
- 8月7日(金) 研究協議題「各校それぞれの教育課題の解決に向けて、主幹教諭・教務主任として、どのように『チームとしての学校』の機能強化に取り組んでいるか。」

エ 小・中学校生徒指導主事研修会

4月26日(月) 研究協議題「いじめ・不登校の未然防止のために、小中連携の取組を踏まえ、各校においてどのような工夫・努力をしようとしているか。」

8月24日(火) 研修「子どもを守るネット問題対策」

2月4日(金) 研修「令和3年度の新居浜市のいじめ・不登校の現状について」

オ 交通安全指導担当者研修会

4月27日(火) オンライン研修「小・中学生の交通事故の実態及びその対策について」

カ 人権・同和教育主任研修会

5月21日(金)、6月30日(水)、8月3日(火)、8月20日(金)、1月19日(水) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止、1月21日(金)、2月17日(木)

- ・令和3年度人権・同和教育の推進について
- ・校区別人権・同和教育懇談会の取組について
- ・新居浜市小中学校人権・同和教育研究大会の取組について
- ・人権作文の取組について
- ・共通教材について
- ・令和3年度の人権・同和教育の推進の反省と今後の課題について
- ・令和4年度からの人権・同和教育の進め方について

キ 学力向上研修会

6月28日(月) 中学校の部開催

10月22日(金) 小学校の部オンライン開催

ク 新居浜市小・中学校人権・同和教育研究大会の開催

11月26日(金)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため小・中学校同日オンライン開催とした。後日各小・中学校において授業動画を視聴し、オンラインで研究協議を行った。

【研究主題】「差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか」

- 小学校 [会場] A群 惣開小学校
B群 角野小学校・別子小学校
C群 神郷小学校
- 中学校 [会場] A群 川東中学校
B群 北中学校・別子中学校

2 教育研究所の歩み

23期の1年次として、平成30年3月に新居浜市学力向上推進委員会から出された提言を基本理念とし、『未来を共創する「生き抜く力」を育む実践研究』を研究テーマとして新たな研究体制を継続発展させた。

教育研究所員については、23期において次の体制のもとに実践研究を行った。

ア 新居浜市教育研究所員は10人程度の公募及び中学校教科会からの推薦制で、研究期間は2年とする。

イ 新居浜市教育研究所の諮問機関として新居浜市教育力向上推進委員会(改称)を継続設置する。

【主な活動】

5月25日(水) 第1回新居浜市研究所員会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

6月4日(金) 第1回社会科副読本編集委員会

7月12日(月) 第2回新居浜市研究所員会

7月27日(火) 第2回社会科副読本編集委員会

8月25日(水) 第3回社会科副読本編集委員会

10月14日(木) 第3回研究所員会並びに第1回新居浜市教育力向上委員会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

12月10日(金) 第4回新居浜市研究所員会

1月24日(月) 第3回社会科副読本編集委員会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

3月4日(金) 第5回研究所員会並びに第2回新居浜市教育力向上委員会

3 適応指導教室(あすなる教室)の歩み

不登校児童・生徒の数が全国的にも、また新居浜市においても増加の傾向にあることから、平成5年9月に青少年センターが旧図書館の一階に移転したのを機会に、同年10月から青少年センター内に「適応指導教室」を設置した。当初は、中学校生徒の受入れのみで始まったが、学校教育課所管になった平成10年度から、児童の受入れも開始した。

【入級児童・生徒数】

年 度	人 数	備 考
平成21年度	23	うち 児童4名
平成22年度	20	うち 児童5名
平成23年度	19	うち 児童2名
平成24年度	15	うち 児童2名
平成25年度	19	うち 児童5名
平成26年度	22	うち 児童2名
平成27年度	21	うち 児童2名
平成28年度	23	うち 児童3名
平成29年度	20	うち 児童5名
平成30年度	34	うち 児童10名
令和元年度	36	うち 児童8名
令和2年度	59	うち 児童7名
令和3年度	49	うち 児童5名

4 教育における国際化への対応

(1) A L T (外国語指導助手) による訪問指導

新居浜市では、総務省・文部科学省及び外務省の協力で行っている「JETプログラム」(語学指導を行う外国青年招致事業)の事業目的に則りA L T (外国語指導助手)として招致している。

ア 趣 旨

各中学校の英語担当教員及び生徒、また、各小学校教員及び児童に、A L Tによる生きた英語に接する機会を提供し、本市の英語教育の充実発展を図り、合わせて国際理解教育推進の一助とする。

イ 訪問期間

令和3年4月～令和4年3月

ウ 訪問(派遣)方法

訪問日は、月曜日から金曜日までとする。A L T11名が中学校に常駐。各中学校から計画に従って担当小学校に派遣。

エ A L Tの職務

- (ア) 英語教師の授業補助(ティームティーチング)
- (イ) 英語担当の教員の研修(現職教育)
- (ウ) 教材作成の援助
- (エ) その他、学校長に指示された職務

オ 成 果

「A L Tとのふれあいや授業を通して、発音やスピーチ能力が高まり、英語に関心を持つ児童生徒が増えた。」あるいは、「自分の英語力を試そうとする生徒が増え、コミュニケーション能力が育ってきている。」等の学校からの報告がある。このようなA L Tとのティームティーチングによる授業を通して生きた本場の英語を体験させ、学ぶ楽しさと国際理解を深めることができた。

(2) 第32回新居浜市中学生英語スピーチコンテスト

英語によるコミュニケーションや表現に興味を持たせ、国際化社会に対応できる生徒を育成することをねらいに、無観客での開催ではあったが充実したスピーチコンテストを実施することができた。

(3) 小学校英語指導員による訪問指導

英語指導員3名が市内の全小学校訪問指導し、外国語活動や総合的な学習の時間などを活用して、小学生の英語活動や英会話学習、国際理解教育の指導に当たっている。

5 中学生による国際交流事業

(1) 趣旨

21世紀を担う中学生が国際交流を通して、その国の文化・経済・生活習慣・国民性等を理解して、友好親善の絆を結ぶとともに、国際的視野の拡大を図り、国際感覚を磨き、さらには本市の活性化に通じる諸活動を推進するため、昭和61年度から中高生を中心に海外派遣研修事業を実施している。なお、新居浜市国際交流推進委員会の審議を経て、平成19年度から中学生海外派遣事業としてアメリカ合衆国フランクリン市へ中学生を派遣していたが、フランクリン市との本事業は平成29年度で終了となった。平成30年度からは、アメリカ合衆国ウィスコンシン州コンコーディア大学へ中学生を派遣している。

(2) 実施状況

	訪問国（都市）	名称	日程	訪問者
61	中国 （泰安・済南・徳州）	日中友好の翼 ニイハマ訪中団	7/23～7/31	市長、教育委員、 市議会議員、教師等11人 中高生20人
62	東南アジア （シンガポール・バンコク）	東南アジア 友好のかけ橋 '87 団	7/23～7/29	団長（教育長） 教師等6人 中高生25人
63	韓国	'88 日韓友好団	8/1～8/8	団長（教育長） 教師等6人 中高生30人
元	アメリカ （ロサンゼルス）	太平洋横断 夢の使節 '89 団	7/30～8/8	団長（助役） 教師等6人 中高生30人
2	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	Hello. Australia 希望とふれあい '90	7/26～8/3	団長（教育委員長） 教師等6人 中高生30人
3	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	Friendship with Australians 青春・発見・感動 '91	7/25～8/1	団長（教育委員長） 教師等8人 中高生30人
4	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	Good day with Aussie '92	7/27～8/3	団長（収入役） 教師等8人 中高生30人
5	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	A good will mission to Australia '93	7/29～8/5	団長（教育委員長） 教師等7人 中高生25人
6	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	Jump into the life of Australia '94	7/28～8/4	団長（教育委員長） 教師等7人 中高生25人
7	オーストラリア （シドニー・キャンベラ）	Lets make wonderful friendship in Australia '95	7/26～8/3	団長（助役） 教師等6人 中高生25人
8	オーストラリア （シドニー・キャンベラ）	Lets go to Australia to find the same smiles! '96 —同じ笑顔を探して—	7/29～8/6	団長（教育委員長） 教師等7人 中高生25人
9	オーストラリア （シドニー・キャンベラ）	Making new friends in the land of the Southern Cross —南十字星の下で 友情を誓って—	7/28～8/5	団長（教育委員長） 教師等5人 中高生25人
10	オーストラリア （シドニー・キャンベラ）	Put our Hearts Together into One —深いきずなをこの一時で—	7/27～8/4	団長（市長） 教師等6人 中高生25人
11	オーストラリア （シドニー・キャンベラ）	In Australia, Lets Shine Together! 1999☆ —みんな輝いて—	7/26～8/3	団長（教育委員長） 教師等5人 中高生25人

12	オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	Spread your Wings. Lets Go To A New Age —翔け 未来へ—	7/26 ~ 8/3	団長 (教育委員長) 教師等 5 人 中高生 25 人
13	オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	BuildingBridges.LetsMake Borderless Countres. —国境をこえて…—	7/26 ~ 8/3	団長 (教育委員) 教師等 5 人 中高生 25 人
14	韓国 (ソウル)	韓国訪問団友好新風	8/21 ~ 8/25	団長 (教育長) 教師等 6 人 中高生 45 人
15	中 止			
16	韓国 (ソウル)	「日韓友好輝団 '04」 —輝く自分を見つけて—	8/9 ~ 8/13	団長 (教育委員長) 教師等 6 人 中高生 45 人
17	韓国 (ソウル)	「日韓栄光親善団 '05」 —全ての隔たりを越えて—	8/8 ~ 8/12	団長 (教育委員長) 教師等 6 人 中高生 45 人
18	韓国 (ソウル)	「日韓新世代交流団 '06」 —未来へ生かすこの時を—	8/1 ~ 8/6	団長 (中学校長会長) 教師等 6 人 中高生 41 人
19	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Dream Chaser 2007 —笑顔は世界の共通語—	10/31 ~ 11/9	代表 指導主幹 教師等 2 人 中学生 20 人
20	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Lets Make Friends 2008 —国境を越えた仲間づくり—	10/28 ~ 11/7	代表 指導主幹 教師等 2 人 中学生 20 人
21	中 止			
22	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Friendship Link 2010 —世界はひとつ 友情の輪—	10/30 ~ 11/9	代表 指導主幹 教師等 2 人 中学生 19 人
23	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Imagine What We Can Do Together —みんな友達—	10/29 ~ 11/8	団長 教育長 教師等 2 人 中学生 19 人
24	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	The Bonds of Friendships Link the World —絆が世界を結ぶ—	10/27 ~ 11/6	代表 指導主幹 教師等 2 人 中学生 21 人
25	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Friendships Without Borders —国境のない友情—	10/26 ~ 11/5	団長 教育委員 指導主幹 教師 中学生 18 人
26	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Smile Link connect the world 2014 —世界を繋ぐ愛顔の輪—	10/25 ~ 11/4	団長 教育委員 指導主幹 教師 中学生 20 人
27	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Blooming warm smiles around the world 2015 —世界中に咲き誇れ、笑顔の花—	10/24 ~ 11/3	団長 教育委員 指導主幹 教師 中学生 20 人
28	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Love and Friendship Across the Ocean 2016 —愛と友情は海を越える—	10/29 ~ 11/8	団長 教育長 指導主幹 教師 中学生 20 人
29	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	The World Lit by Friendships and Smiles 2017 —友情と愛顔が世界を照らす—	10/28 ~ 11/7	団長・教育委員 指導主幹 教師 A L T 中学生 20 人
30	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (コンコーディア大学)	Concordia University Nice to Meet You! 2018 —はじめまして! コンコーディア 大学—	7/30 ~ 8/8	団長・教育委員 指導主幹 A L T 中学生 22 人

元	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (コンコーディア大学)	Concordia University is my starting point to change myself!2019 —コンコーディア大学は私を変え る出発点—	7/22 ~ 7/31	団長・教育長 指導主幹 教師 中学生 22 人
2		中	止	
3		中	止	

6 放課後関連事業

(1) 放課後児童クラブ

就労又は疾病のため、昼間家庭において保護者の監護を受けられない小学1年生から6年生を対象として、生活や遊びの場を提供し健全な育成に資するため、放課後児童クラブを開設している。令和3年度は、市内15校30クラブで実施し、年間平均登録児童数は1,232人となっている。

(2) 放課後まなび塾

学校の放課後、希望する小学生4～6年生に教員OB等が学習支援員となり、宿題や予習など児童が自主的に行う学習をサポートするなどの学習機会を提供し、子どもの学習習慣の定着と学力向上を目指している。

令和3年度は15校区で実施され、子ども延べ参加者数は16,683人となっている。

(3) 放課後子ども教室

放課後や週末等において、公民館や学校の余裕教室等を活用して子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的に提供することにより、放課後等の支援活動を行うもの。地域の有識者等が講師となるプログラムや、企業・団体等が提供するプログラムなどそれぞれの教室で特色のある事業を実施している。

令和3年度は14教室で実施され、子ども延べ参加者数は5,951人となっている。

(4) 地域学校協働本部事業

地域全体で子どもたちを守り育てるため、学校と地域の連携体制の強化を図り、各種の活動を行う地域学校協働本部を設置している。主な活動内容は、登下校支援・校内環境美化・あいさつ運動・読み聞かせ・授業支援等である。

令和3年度は15校区で実施され、ボランティアなどの延べ活動人数は、36,829人となっている。

7 奨学金等

(1) 新居浜市しらうめ入学準備金貸付制度

【貸付け対象及び資格】

高等学校、大学、高等専門学校及び専修学校（一般課程を除く。）に入学しようとする者の保護者で、入学準備金の調達が困難であり、次の各号のいずれにも該当するもの

ア 本市に住所を有し、引き続き2年以上居住している者

イ 高等学校等への入学が確実である者の保護者

【基金の額】

5,350万円

【貸付け金額】

高等学校、高等専門学校又は専修学校（高等課程） 10万円

大学又は専修学校（専門課程） 30万円

【返還方法】

入学後6月を経過した日の属する月から原則卒業するまでの間に無利子で月賦による返還

【貸付け状況】

(単位：円)

年 度	貸付者 (人)	貸付額	年 度	貸付者 (人)	貸付額
24	3	150,000	29	0	0
25	4	250,000	30	2	100,000

26	2	100,000	元	1	50,000
27	2	100,000	2	4	400,000
28	2	100,000	3	3	900,000

(2) 新居浜市奨学資金貸付制度

【貸付け対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、高等学校、高等専門学校、大学又は専修学校（専門課程）に在学し、その学資の支弁が困難であり、次の各号のいずれにも該当するもの

- ア 学業が優秀で性行の善良な者
- イ 身体が健康な者
- ウ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の貸与を受けていない者

【基金の額】

1億3,400万円

【貸付け金額】

- ア 高等学校……………卒業まで毎月8,000円
- イ 高等専門学校……………1年から3年まで毎月10,000円
4年から5年まで及び専攻科毎月18,000円
- ウ 大学（短期大学を含む。）又は専修学校（専門課程）…………卒業まで毎月26,000円

【返還方法】

卒業後満1年後から15年以内は無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け状況】

(単位：円)

年度	高等学校		高等専門学校		大学		計	
	貸付者(人)	貸付額	貸付者(人)	貸付額	貸付者(人)	貸付額	貸付者(人)	貸付額
24	5	480,000	1	216,000	15	4,914,000	21	5,610,000
25	5	480,000	2	336,000	11	3,432,000	18	4,248,000
26	3	216,000	1	120,000	18	5,616,000	22	5,952,000
27	2	192,000	1	120,000	14	4,368,000	17	4,680,000
28	3	288,000	1	216,000	8	2,496,000	12	3,000,000
29	2	192,000	1	216,000	9	2,808,000	12	3,216,000
30	2	192,000	0	0	4	1,014,000	6	1,206,000
元	0	0	0	0	4	1,248,000	4	1,248,000
2	0	0	0	0	7	1,950,000	7	1,950,000
3	0	0	1	120,000	4	1,248,000	5	1,368,000

(3) 新居浜市青野記念奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、新たに大学（修業年限4年以上）へ入学したもの（短期大学、高等専門学校又は専修学校から大学へ編入学したものを含む。）で、その学資の支弁が困難であり、次の各号のいずれにも該当するもの

- ア 学業が優秀で性行の善良な者
- イ 身体が健康な者
- ウ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【基金の額】

7,000万円

【貸付け・給付金額】

4年間（編入学者については2年間）を限度として毎月32,000円（うち16,000円は貸付金、16,000円は給付金とする。）

※平成5年度以前に決定した者については、毎月20,000円（うち10,000円は貸付金、10,000円は給付金）

【返還方法】

卒業後満1年後から15年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】

(単位：円)

年度	大 学		備 考	
	区分	貸付者(人)		貸付額
24		4	1,536,000	うち給付金 768,000
25		4	1,536,000	うち給付金 768,000
26		4	1,536,000	うち給付金 768,000
27		4	1,536,000	うち給付金 768,000
28		4	1,536,000	うち給付金 768,000
29		2	768,000	うち給付金 384,000
30		3	1,152,000	うち給付金 576,000
元		2	768,000	うち給付金 384,000
2		2	768,000	うち給付金 384,000
3		2	768,000	うち給付金 384,000

(4) 新居浜市特別奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であつて、大学院（修士課程・博士課程）に在学するもの又は海外の大学に在学するもので、次の各号のいずれにも該当するもの

ア 学業が優秀で中正妥当な性格で特に研究熱心な者

イ 留学生は、高等学校卒業で30歳未満の者

ウ 学資が乏しく修学困難な者

エ 身体の健康な者

オ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【貸付け・給付金額】

修士課程及び留学生は2年間、それ以外は5年間を限度として毎月30,000円（うち20,000円は貸付金、10,000円は給付金とする。）

【返還方法】

卒業後満1年後から10年間以内に無利子で半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】

(単位：円)

区分	大学院・留学生		備 考
	貸付者(人)	貸付額	
24	2	660,000	うち給付金 220,000
25	4	1,320,000	うち給付金 440,000
26	3	1,080,000	うち給付金 360,000
27	3	840,000	うち給付金 280,000
28	3	780,000	うち給付金 260,000
29	2	720,000	うち給付金 240,000
30	1	360,000	うち給付金 120,000
元	1	360,000	うち給付金 120,000
2	1	360,000	うち給付金 120,000
3	0	0	—

8 新居浜市寺尾音楽教育振興基金

【設置】

故 寺尾貞子氏の遺志を継がれた遺族の寄附金により学校音楽教育の振興を図ることを目的として、新居浜市小・中学校音楽教育振興会が行う事業の経費に充てるため、平成元年度に設置した。

【基金の額】

1,000 万円

【学校音楽教育振興資金】

学校音楽教育振興資金は、次の各号に掲げる事業を行う新居浜市小・中学校音楽振興会に補助する。

- ア 学校音楽教育における教職員の資質向上のための研修事業
- イ 特に、学校音楽教育発展に貢献し、その功績が顕著な者の表彰
- ウ その他新居浜市教育委員会が承認する事業

【運用収益の処理】

基金の運用から生ずる収益は、予算に計上し、基金に編入するものとする。

教職員の研修に関する事業

- 音楽指導者講習会 令和3年7月3日（土）マリンパーク新居浜
- 令和3年7月4日（日）新居浜市市民文化センター大ホール
- 令和3年7月25日（日）中萩小学校

9 新居浜市工藤交通災害遺児修学基金

【設置】

故 工藤圓治氏の寄付金により、交通災害遺児に対する修学援助を図ることを目的として、平成5年度に設置した。

【基金の額】

1,000 万円

【修学援助】

交通災害遺児（義務教育就学中の児童及び生徒）に対し、図書カードを支給

【支給状況】 (単位：人)

年度	区分	小学校	中学校	計
		対象者	対象者	
29		4	3	7人 21,000円
30		4	2	6人 18,000円
元		3	2	5人 15,000円
2		2	2	4人 12,000円
3		2	2	4人 20,000円

10 就学援助費

【趣旨】

学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対して必要な援助を行う。

【援助の対象】

新居浜市に住所を有し、小学校又は中学校に在学する児童生徒の保護者で生活保護法第6条第2項に規程する要保護者及び要保護者に準ずる程度に困窮している者

【就学援助の種類】

学校給食費、通学費、修学旅行費、校外活動費(宿泊を伴わないもの)、校外活動費(宿泊を伴うもの)、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費、入学準備金等

【就学援助の状況】

(単位：円)

区分	小 学 校		中 学 校		計	
	対象者	援 助 金	対象者	援 助 金	対象者	援 助 金
24	546	32,731,536	370	32,756,047	916	65,487,583
25	524	31,265,030	324	28,449,877	848	59,714,907
26	535	31,849,307	335	27,786,536	870	59,635,843
27	577	35,908,625	312	26,181,819	889	62,090,444
28	612	37,055,597	315	25,735,513	927	62,791,110
29	720	42,541,663	305	32,172,027	1,025	74,713,690
30	698	40,303,052	319	29,805,438	1,017	70,108,490
元	644	41,624,527	317	32,812,695	961	74,437,222
2	593	38,141,855	315	30,074,198	908	68,216,053
3	515	35,086,353	322	30,534,041	837	65,620,394

*平成29年度以降、新中1・新小1に対して、入学運備金を前倒しで支給。

*令和元年度について、新型コロナウイルス感染症対策にかかる臨時休業対策支援事業費を含む。

11 特別支援教育就学奨励費

【趣 旨】

市町村が特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学のため必要な援助をし、もって特別支援教育の振興に資することを目的としている。

【援助の対象】

市内の小学校及び中学校の特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者

【就学奨励の種類】

学校給食費、通学費、職場実習交通費、交流及び共同学習交通費、修学旅行費、校外活動参加費（宿泊を伴わないもの）、校外活動参加費（宿泊を伴うもの）、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費等

【就学奨励の状況】

(単位：円)

区分	小 学 校		中 学 校		計	
	対象者	奨 励 費	対象者	奨 励 費	対象者	奨 励 費
24	58	1,634,988	25	990,264	83	2,625,252
25	67	1,876,018	27	973,808	94	2,849,826
26	82	2,304,020	25	846,979	107	3,150,999
27	78	2,147,758	21	681,789	99	2,829,547
28	89	2,395,170	23	769,297	112	3,164,467
29	112	3,096,859	27	1,095,280	139	4,192,139
30	98	2,981,008	38	1,504,144	136	4,485,152
元	114	3,711,705	54	2,457,707	168	6,169,412
2	130	4,279,813	63	2,568,644	193	6,848,457
3	166	5,140,988	63	2,475,975	229	7,616,963

*令和元年度について、新型コロナウイルス感染症対策にかかる臨時休業対策支援事業費を含む。

12 私学助成

就学前教育の充実を図るため、私立幼稚園の運営に対し助成を行っている。

2園 1,317,080円

13 学校保健

(1) 学校職員・児童生徒の健康診断の拡充

近年、飽食の時代になり成人に多く見られている病気が児童生徒にも多く発生している。そこで、検診機会の少ない児童生徒に対し、集団検診を実施することで早期発見・早期治療に努める。また、教職員においても各種検診を実施している。

(2) 学校保健委員会の推進

心身共に健康でたくましく生きる児童生徒の育成に向け、学校・地域社会・家庭との連携を深め、自ら積極的に健康づくりに取り組むため、各校の学校保健委員会の充実と有効活用に努めている。

(3) 健康・安全教育の推進

児童生徒が健康でなければ楽しい学校生活は送れない。そこで疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、交通安全、学校内の災害発生防止に向け、健康・安全教育を推進している。

(4) 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度の加入促進

日本スポーツ振興センター災害共済給付制度へは、原則全員加入している。

【体位測定表】

(令和3年度)

		人数(人)	身長(cm)	体重(kg)	
			平均	平均	
幼稚園	4歳	男	7	101.6	17.7
		女	7	100.3	16.6
	5歳	男	15	110.1	20.0
		女	5	111.5	18.3
小学生	6歳	男	513	116.5	21.8
		女	472	115.3	21.1
	7歳	男	504	122.5	24.5
		女	471	121.3	23.7
	8歳	男	488	128.2	27.6
		女	496	127.7	26.9
	9歳	男	530	133.4	31.0
		女	461	133.6	30.4
	10歳	男	546	138.5	34.9
		女	524	141.1	36.0
	11歳	男	517	145.8	39.5
		女	528	146.6	39.3
中学生	12歳	男	513	153.0	45.2
		女	522	151.8	44.3
	13歳	男	566	160.2	49.7
		女	488	154.4	47.8
	14歳	男	510	164.9	54.1
		女	456	156.0	50.1

【歯科検診成績】

(令和3年度、単位：人)

区分	検査人員	むし歯		その他歯・口腔疾患異常者数
		処置完了者	未処置ある者	
幼稚園	30	1	4	2
小学校	5,998	1,679	1,563	892
中学校	2,958	1,169	354	370
計	8,986	2,849	1,921	1,264

【脊柱側弯症検診】

(令和3年度、単位：人)

区 分	検 査 人 員	一次検診異常者数
小 学 校	1,061	39
中 学 校	978	66
計	2,039	105

●検査対象者は小学校5年生、中学校1年生全員

モアレ写真撮影による（一次検診）

【血液検査結果】

(令和3年度、単位：人)

区 分	検 査 人 員	一次検診異常者数	二次検診異常者数
小 学 校	1,082	383	71
中 学 校	1,109	315	34
計	2,191	698	105

●検査対象者は小学校4年生、中学校1年生全員

(小学校5年生、中学校2年生で昨年異常だった者の再検査を含む。)

14 学校体育活動の推進

体育授業や体育活動、部活動等の充実により、児童生徒の体力向上や運動の日常化の推進のため、小・中学校体育連盟の活動とともに、各学校の体育主任、部活動顧問が連携し、児童生徒の運動能力、体力の向上に向け、学校体育活動の充実を図った。

【新居浜市小学校体育連盟】

体育活動を通しての児童の健全育成については、新居浜市水泳記録会・新居浜市陸上競技会・親善球技大会を中心として実施した。記録会においては、多くの児童が自己記録を更新するための継続した練習を行い、能力及び体力の向上に大きく貢献した。また、親善球技大会では、サッカーの技能を高めるとともに、スポーツの楽しさや学級のチームワークを育成することにも大きく役立った。

【新居浜市中学校体育連盟】

中学校における保健体育の健全な発達を図ることを目的に、生徒・教職員の諸体育大会の開催、中学校保健体育振興に関する調査研究等を実施した。

活動実績

【新居浜市小学校体育連盟】

小学校教職員ソフトボール大会	中止	
小学校体育実技講習会	6月7日	山根公園屋内プール
	8月19日	東雲競技場
	12月3日	市営サッカー場
小学校水泳記録会	7月21日	垣生小学校他
小学校陸上運動記録会	10月12日	東雲競技場
小学校親善球技大会	2月2日	新居浜小学校他

【中学校】

市長旗・杯争奪中学校選手権大会	中止	
中学校総合体育大会	6月2日、3日、5日	市営野球場他
愛媛県中学校総合体育大会	7月21日～26日	県総合運動公園他 491人
四国中学校総合体育大会	7月31日～8月8日	四国4県各競技会場 19人
全国中学校体育大会	8月17日～26日	関東ブロック各競技会場 23人
中学校新人体育大会	9月29日、30日、10月2日	市営野球場他
愛媛県中学校新人体育大会	11月6日、13日～17日	県内各競技会場
中学校駅伝競走大会	11月3日	河川敷陸上競技場周辺
愛媛県中学校駅伝競走大会	中止	
代替(愛媛県中学校長距離継走大会)	11月20日	愛媛県総合運動公園陸上競技場 男子7チーム、女子7チーム
全国中学校駅伝競走大会	12月19日	滋賀県希望が丘文化公園 男子1チーム

15 人権・同和教育実践の状況

(1) 新居浜市小学校人権・同和教育研究大会

- 期 日 令和3年11月26日(金)
- 会 場 A群 惣開小学校
B群 角野小学校・別子小学校
C群 神郷小学校

- 研究主題

差別の現実から深く学び、同和教育をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。
--

- 研究授業

群	会 場	分科会		教科等	資料名	授業者
A	惣開小学校	低	1年	道徳	友達っていいな 「こころはっば」	小倉 盛嘉
		中	4年	道徳	勇気をもって行う 「勇気を出して」	明星 勇佑
		高	6年	社会	町人の文化と新しい学問 「渋染一揆」	藤田 啓文
B	角野小学校 別子小学校	低	2年	道徳	友達を思って 「ともだちやもんな、ぼくら」	白石美佑紀
		中	3年	道徳	みんなのクラス「しょうたの手紙」	片岸 力丸
		高	5年	道徳	公平な心「変わっていくぼくの心」	糸野 達也
C	神郷小学校	低	1年	道徳	自分のよさ「ええところ」	末次 春那
		中	4年	道徳	正しく生きる「秋祭り」	望月 幸二
		高	6年	道徳	人としての生き方を見つめ、差別を しない生き方を考える 「山の粥」	倉崎 萌

(2) 新居浜市中学校人権・同和教育研究大会

- 期 日 令和3年11月26日(金)
- 会 場 A群 川東中学校
B群 北中学校・別子中学校

- 研究主題

差別の現実から深く学び、同和教育をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。
--

- 研究授業

群	会 場		教科等	題材名	授業者
A	川東中学校	1年	道徳	「渋染一揆に学ぶ」	高松 諒
		2年	道徳	「水平社宣言に学ぶ」	村瀬 達也
		3年	道徳	「ひとりひとりが自分らしく生きる」	月原 一成
B	北中学校 別子中学校	1年	学級活動	多様な性	原 里美
		2年	学級活動	「水平社宣言」から学ぶ	奥野 智恵
		3年	道徳	遺書が問いかけること	中川 美和

発達支援課の主な施策と実績

地域における発達支援及び特別支援教育の中核的機関として設置した「こども発達支援センター」を中心に、総合相談、臨床心理士など専門職による幼稚園、保育所、小・中学校への巡回相談や発達検査の実施、個別の教育支援計画の作成、引き継ぎなど関係機関とのネットワークの強化を図りながら、子どもの発達の支援に向け諸事業を展開した。関係機関を包括した新居浜市地域発達支援協議会において、障がいや発達課題のある子どもへの生涯にわたる一貫した支援について、各機関がどのような働きをしているか、そして今後どのように互いに連携していけるかを話し合った。また、個別療育、小集団療育、構音指導、個別SST等を内容とする早期療育通園事業を実施し、心身の発達に課題のある就学前の幼児に対し、個々の障がいの状態や生活年齢、学習状況や経験等に応じた具体的な指導や支援を行い、早期療育体制の充実強化に取り組んだ。さらに、読み書き困難の子どもへの理解と支援のあり方に関して、小学校教務員を対象に、学年単位で専門家から具体的な支援方法を学んだり、相談支援ガイドブック等の配布を行い、関係職員の専門性、実践力の向上や発達障がい等の理解啓発を図った。

1 特別支援教育支援員の配置状況

障がいや発達課題のある児童・生徒等が在籍する小・中学校等において、学校生活における介助や学習指導の支援を行うために特別支援教育支援員を配置し、児童生徒等や教員を支援することにより、特別な教育的支援を必要としている児童生徒等の学習効果を高め、学校・園生活へのよりよい適応を図った。

種別	目的	人数	配置学校
学校生活介助員	障がいのある園児、児童及び生徒が在籍する公立幼稚園、市内の小・中学校において、学校や園での生活や移動等の介助を行うために配置し、必要な支援を行うことにより、学校や園生活への適応を図ることを目的とする。	幼稚園 (6人)	神郷・王子
		小学校 (77人)	新居浜・宮西・金子 金栄・高津・浮島 惣開・垣生・神郷 多喜浜・泉川・船木 中萩・大生院・角野
		中学校 (30人)	東・西・南・北・泉川 中萩・角野・川東
学校支援員	小学校の通常の学級に在籍する発達障がい等のある児童の特性に応じた学校生活や学習の支援を行い、学習効果を高め、児童のより良い成長を図ることを目的とする。	小学校 (16人)	新居浜・宮西・金子 金栄・高津・浮島 惣開・垣生・神郷 多喜浜・泉川・船木 中萩・大生院・角野

2 教育支援委員会の開催状況

児童等の心身の障がい及び発達課題の個々の状況に応じ、適切な就学等の支援について必要な調査及び検討を行った。

開催回数	判断依頼数
5回	284件

3 新居浜市地域発達支援協議会の開催状況

地域発達支援協議会では、各機関の働きについて改めて理解を深めるとともに、互いに連携しながら、より良い支援を進めていくための在り方について検討した。

開催日	協議内容
7月2日	障がいや発達課題のある子どもへの生涯にわたる一貫した支援について各機関の取組の確認
11月15日	障がいや発達課題のある子どもへの生涯にわたる一貫した支援についてこれから各機関がどのように連携していくか
2月14日	幼少期からのネット依存について～「イカゲーム」現象を考える～ (新型コロナウイルス感染拡大により中止)

4 総合相談の実施状況

障がいや発達課題のある子どもへの育児や発達、就学について保護者が抱えている不安や疑問について相談に応じ、適切な支援へつなげた。また、必要に応じて、学校、園や医療機関と調整を行うなど関係機関との連携を図った。

(1) 事業実施状況

実施人数(延)	相談内容
幼児 220人(635人)	子ども理解、障がい、発達障がい、就学相談、入園相談、不適応、登園しぶり、サポートファイルの新規作成と見直し
小学生 251人(645人)	障がい、発達障がい、不登校、その他(担任不信、いじめ等)サポートファイルの新規作成と見直し
中学生 98人(311人)	いじめ、障がい、発達障がい、進路相談、不適応サポートファイルの新規作成と見直し
高校生 50人(170人)	適応相談、進路相談、障がいの理解と支援、ソーシャルスキル
計 619人(1,761人)	

(2) 教育支援計画(サポートファイル)の新規作成・見直し件数(各学校単独実施分含む)

	新規作成	見直し	計
幼児	88人	23人	111人
小学校	126人	256人	382人
中学校	9人	116人	125人
計	223人	395人	618人



ペアレントプログラム



発達支援スキルアップ講座

5 巡回相談の実施状況

保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校における障がいや発達課題のある子どもの早期発見、具体的支援方策の協議、相談を通して教職員のスキルアップを図るとともに、保護者や関係機関との情報の共有等により、信頼関係の構築を図った。

実施延人数（内訳）	相 談 内 容	
保育所：149人 ・0歳児 0人・1歳児 7人・2歳児 17人 ・3歳児 50人・4歳児 56人・5歳児 19人	・ことばの発達 ・落ち着きがない ・こだわりが強い ・集団活動の様子	・全体的な発達の遅れ ・指示が入りにくい ・気持ちのコントロール ・排泄や食事について
幼稚園・認定こども園：48人 ・2歳児 1人・3歳児 15人・4歳児 26人 ・5歳児 6人	・就園の不安 ・子育てについて ・成長したこと	・就学について ・保育について ・ネット依存について（You Tube）
小学校：231人 ・1年生 79人・2年生 49人・3年生 39人 ・4年生 37人・5年生 19人・6年生 8人	・学習面の遅れ ・集団行動が苦手 ・喧嘩やトラブル	・指示理解ができにくい ・集中力が続かない ・生活リズムの崩れ（ゲーム依存）
中学校：17人 ・1年生 10人・2年生 7人・3年生 0人	・話がきけない ・特性理解について ・特別措置について	・多動である ・支援方法について ・中学・高校に向けての不安
合計 445人		

6 ステップアップ講座（園内研修支援事業）の実施状況

継続的な園内研修を通して、子どもの特性理解を深め、支援のあり方を検討および実践することによって、保育関係者の資質の向上を目指した。本年度は、市内私立保育園のうち、めぐみ保育園と市内公立幼稚園のうち、神郷幼稚園の保育・教育関係者を対象とした。

- 日 時 令和3年6月22日（火）・9月14日（火）・12月14日（火）
 令和3年7月15日（木）・10月27日（水）
 （新型コロナウイルス感染拡大により令和4年1月27日（木）中止）
 各9時30分～16時00分
- 場 所 めぐみ保育園・神郷幼稚園
- 内 容 気になる子どもの特性理解と支援についての協議
 特別支援教育・コロナ禍の保育等
- 相 談 員 特別支援教育士スーパーバイザー 渡部 徹
 教育カウンセラー 西原 勝則
- 相談延人数 めぐみ保育園 34人・神郷幼稚園 16人

7 聴覚障がい児相談事業の実施状況

聴覚の障がいや聞こえや言葉の獲得に課題のある子どもたちが、より豊かに自尊心をもって自立した生活ができることを目指す。

- 日 時 月1回 9時30分～16時
- 場 所 こども発達支援センター
- 内 容 聴覚の発達の相談・聴覚の発達に必要な指導療育（手話等）に関すること
 保護者への支援及び通所機関への助言と支援

○相談員 愛媛県立松山聾学校 教諭 藤谷 朋宏

○相談延人数 34人（新型コロナウイルス感染拡大により4月、5月、8月、1月、2月中止）

8 発達検査の実施状況

発達の特徴やバランス、得意・不得意な点を把握し、具体的ななかかわり方や個々の状態に応じた学習方法等の支援へつなげる。

幼児	小学生	中学生	高校生	計
71人	66人	16人	3人	156人

9 早期療育通園相談事業（親子通園相談事業）の実施状況

発達に課題のある未就学児に対して、日常生活における基本的動作及び集団生活への支援の方向性の相談、アセスメント、支援方法を探ることによりその発達を支援し、かつ助長するとともに、その保護者に対して家庭生活における諸問題についての相談対応を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策により、教室の時間帯を縮小し、保護者が安心して利用できる環境に配慮した。

（1）事業の概要

教室名	教室実施曜日	登録者数	主な療育内容
ことばの教室	水・木・金	83人	構音指導、個別療育、個別SST
育ちの教室	水・木・金	51人	小集団療育、集団SST

（2）事業実施状況

（延利用人数、単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ことばの教室	0	34	94	98	99	9	22	98	92	105	81	2	734
育ちの教室	0	43	71	59	61	0	17	88	72	79	60	0	550

（3）保護者会の開催状況

開催日	内容
5月25日	講演及び座談会（新型コロナウイルス感染拡大により中止）
10月26日	年長児保護者を対象に、特別支援学級、特別支援学校について保護者の体験談及び座談会
1月25日	講演「ビジョントレーニング」（新型コロナウイルス感染拡大により中止）

10 5歳児発音検査の実施状況

小学校入学に向けて実施する就学時健康診断に先立ち、保育所・幼稚園に出向き発音検査を実施した。構音を獲得できていない幼児に対し、二次検査、構音指導につなげた。

○実施者数 896人

（うち 二次検査実施者数 55人）

（うち 構音指導実施者数 35人）

11 ペアレントトレーニングの実施状況

新居浜市早期療育通園事業と保健センターフォローアップ教室を利用する保護者が社会性、コミュニケーションの発達に課題のある子どもの特性を知り、子どもへの関わり方について具体的に指導を受ける。

新型コロナウイルス感染拡大により中止

12 ムーヴメント教育・療法講習会の実施状況

新型コロナウイルス感染拡大により中止

13 ペアレントプログラムの実施状況

隔週で行うプログラムを通して、保護者が子どもの課題や問題を行動で考え、褒めて対応できるスキルを身につけるとともに、ペアワーク及びグループワークを行うことで子育ての仲間を見つけることを目指し実施した。支援者は、スタッフとして参加し、保護者支援の基礎スキルを学ぶとともに、アドバンスワークショップを受講することで、プログラムの実施の認定を取得し、支援者の確保と支援スキルの向上を図った。

- 日 時 第1回目 10月8日(金) 第2回目 10月22日(金)
第3回目 11月5日(金) 第4回目 11月22日(金)
第5回目 12月4日(土) 第6回目 12月17日(金)
各回10時～12時
アドバンスワークショップ 12月25日(土) 9時30分～12時30分
- 内 容 第1回目「現状把握表を書く」 第2回目 「行動で書く」
第3回目「カテゴリーに分ける」 第4回目 「ギリギリセーフをみつける」
第5回目「ギリギリセーフをきわめる」 第6回目 「ペアプロでみつけたことを確認する」
- 講 師 アスペルデの会 理事長・中京大学現代社会学部 教授 辻井 正次
- 参加者 保護者：新居浜市早期療育通園相談事業と教育相談を利用する保護者9人
支援者：愛媛県発達障がい者支援センターあいのゆう職員2人
保健センター職員1人 発達支援課職員7人
参観者：発達支援課職員1人

14 研修会等の開催状況

講演会や研修会の開催を通して、障がいや発達課題のある子どもの特性理解や実態把握の方法、具体的な支援の在り方の理解を深め、専門性と実践力を高めることができた。また、発達障がいや特別支援教育に関する地域社会の理解の向上を図った。

(1) 第1回特別支援教育研修会

新型コロナウイルス感染拡大により中止

(2) 発達支援スキルアップ講座

- 目 的 発達障がいのある子どもの支援者が、的確な実態把握の方法や背景にある機序、具体的な支援の在り方の理解を深め、その専門性と実践力を高める。

<前期>

- 日 時 令和3年8月17日(火) 9時30分～16時
- 場 所 オンライン (Zoom) 開催
- 参加者 79人 (小中学校教職員・幼稚園保育園職員・関係機関職員)
- 内 容 「特別な教育的支援を必要とする子どもたちと教育～不登校問題を中心に～」
- 講 師 愛媛大学教育学部特別支援教育講座 教授 吉松 靖文

<後期>

- 日 時 令和4年1月6日(木) 9時30分～16時
- 場 所 新居浜市民文化センター 4階大会議室
- 参加者 100人 (小中学校教職員・幼稚園保育園職員・関係機関職員)
- 内 容 「「新時代の特別支援教育」を考える。～授業改善、支援方法、連携の在り方について～」
- 講 師 特別支援教育士 スーパーバイザー 渡部 徹

(3) 心理アセスメント講座

- 目 的 いろいろな面から発達課題のある子どもをとらえ、その支援を実践するためには、学校教職員の教育的対応の強化が必要となってくる。そのため発達検査の基礎を学習したうえで、事例検討から児童生徒の現状や生育過程や発達検査のプロフィールからわかる認知特性をふまえ、課題や解決策を学ぶ。

<初級>

○日時、場所及び研修内容及び参加者

開催日時	研修内容	参加人数
12月27日(月) 10時～14時45分	WISC-IV等の検査の指標得点の見方や検査報告書の読み取り方、検査実施期間との連携の仕方についての解説	71人

○場 所 市民文化センター

○講 師 愛媛大学教育学部特別支援教育講座 教授 吉松 靖文

<中級>

○日時、研修内容及び参加者

開催日時	研修内容	参加人数
7月26日(月) 9時30分～15時30分	【事例検討及び講義】 プロフィール分析及び総合的なアセスメント・事例検討	小中学校教職員 57人
11月11日(木) 16時30分～19時		小中学校教職員 10人
10月8日(金)	新型コロナウイルス感染拡大により中止	

○場 所 市民文化センター・こども発達支援センター

○講 師 特別支援教育士スーパーバイザー 渡部 徹

(4) 発達障がい支援者のための実践セミナー

新型コロナウイルス感染拡大により中止

(5) 読み書きに困難を抱える子どもの理解と支援

○目 的 読み書き困難がある子の学びに関して、参加者(教員)が共感的に理解する。
読み書き困難がある子の個々のニーズに応じて、適切に指導できる教員を養成する。

○日 時 令和3年8月24日(火)10時30分～12時 外15回

○場 所 市内小学校16校 対面又はオンライン(Zoom)

○参加者 299人

○委託先 NPO法人 志リレーションLab

○講 師 NPO法人 志リレーションLab 理事長・愛媛大学 教授 苅田 知則

NPO法人 志リレーションLab 特別支援教育士 高橋 利恵

愛媛大学 講師 新開 多恵 ・ 富田 享子

広島大学 准教授 氏間 和仁

(6) 特別支援教育研修会

○目 的 保育士、幼稚園教諭、保健師等を対象として、子どもとよりよい関係を築く時に大切な養育のスキルの視点を学ぶことができる「CARE」(Child-Adult Relationship Enhancement)の講座を初級編のプログラムで実施した。子どもへの関わりに役立つ実践と理論により、様々な場面で生かすことができる内容で専門性と実践力の向上を図った。

○日 時 令和3年12月17日(土)10時～12時

○場 所 コミュニティ防災センター

○参加者 保育士10人 幼稚園教諭2人 療育指導員2人

○内 容 「CAREプログラムを学んで子どもとの適切な関わり方に生かそう」

○講 師 九州大学大学院医学研究院保健学部門看護分野 助教授 木村 一絵

15 私立幼稚園等特別支援教育事業費補助の状況

障がい児を受け入れ特別支援教育を積極的かつ継続的に実施する私立幼稚園等に対して、特別支援教育事業に要する経費の一部を補助することで特別支援教育の振興と就園機会の促進を図った。

対象私立幼稚園数	6園
対象幼児数	29人

学校給食課の主な施策と実績

1 学校給食の意義

- (1) 児童生徒に栄養のバランスのとれた食事を提供することにより児童生徒の健康の増進、体位の向上を図り、又、これらを通して日常における正しい食習慣を身につける。
- (2) 事前の準備、後片づけを通して児童生徒は大きな生活体験をもち、共同生活の基本的態度を身につける。
- (3) 食事を共にすることにより、教師と児童生徒、児童生徒相互の心のふれ合いの場を作り、好ましい人間関係の育成を図る。

2 学校給食の運営等

各調理場の施設・設備の修繕、改善、更新等を適宜に行うとともに、安全で新鮮な物資の納入に努めた。また、学校給食会理事会、栄養教員部研修会を開催し、円滑な学校給食の運営を図った。

3 学校給食の充実等

地元の食材を使った郷土料理などの実施やより身近に実感を持って地域の産業、文化等の理解を深めることのできる地元農産物等の利用に努めた。

中学校給食の選択率は、令和3年度 94.52%と前年度に比べ 0.22 ポイント減少した。

4 主な行事等

衛生管理研修会

令和3年12月9日(木) 金子小

5 給食の状況

(1) 実施状況

(令和3年度)

区 分	完 全 給 食		給 食 未 実 施		備 考
小 学 校	15 校	6,054 人	1 校	4 人	別子小学校未実施
中 学 校	10 校	3,076 人	2 校	22 人	ひびき分校未実施 別子中学校未実施
計	25 校	9,130 人	3 校	26 人	

(ひびき分校は児童自立支援施設につき別途実施)

(別子小学校、別子中学校は寮給食のため未実施)

(2) 一食当たり単価(完全給食)

(単位:円)

区 分	平成2年～	平成6年～	平成21年9月～	令和元年～
小 学 校	200	220	240	260
中 学 校	220	260	280	300

スポーツ振興課の主な施策と実績

1 社会体育の推進

- 新居浜市における生涯スポーツの両輪ともいえる新居浜市スポーツ協会(競技スポーツ)と新居浜市連合体育振興会(社会体育)との連携と協力体制の確立に努め、市民体育の振興を図ってきた。社会体育の一大事業である「第52回市民体育祭」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により規模を縮小して開催したが、各団体と連携協力することによって、コロナ禍におけるイベント関係の一つの指標を示すことができた。
- 新居浜市の少年スポーツ指導者及び新居浜市教育委員会が委嘱している新居浜市スポーツ推進委員並びに地区体育振興会に配置している新居浜市校区スポーツ普及員に対して、講習会・研修会を実施し、各指導者の資質・指導力の向上と後継者の発掘に努め、社会体育指導者制度の確立と充実を図った。また、各指導者団体独自の研修会を開催し、資質の向上に努めた。
- 「生涯スポーツ」の普及振興のため、「新居浜市スポーツ推進計画」に基づく、各種目競技大会支援及び地区における、スポーツ・レクリエーション行事の開催のための企画・プログラムの提供や、運営・指導の促進のための資料提供と広報活動に努めた。
- 第5回あかがねマラソンは、感染症対策として例年よりも規模を小さくしたが、ハーフマラソンのコースは前回大会から100mアップした標高差400mのコースに、5kmコースも山道に挑戦できる「あかがねマラソン」ならではのコースに変更し、新居浜市の魅力を存分に感じていただける大会となるよう努めた。四国在住の方限定の大会ではあったが、参加賞等を市内の事業者で調達することにより新居浜市をアピールし、また地域経済活性化にも寄与した。

(1) 主な大会・イベントの日程等

日程	事業名	場所	参加人数
11月28日(日)	市民歩け歩け大会	山根公園～滝宮公園・広瀬公園	297人
9月30日(木)～3月27日(日)	市民体育祭	各会場	3,687人
6月17日(木)、7月13日(火)、 11月18日(木) 延べ3回	体力づくり指導者講習会	市民体育館他	116人
6月13日(日)、6月20日(日)	ジュニアカップ	国領川河川敷グラウンド	370人
11月3日(水)	市内駅伝競走大会	東雲競技場発着	200人
12月5日(日)	第5回あかがねマラソン	山根公園周辺	792人

(2) 総合型地域スポーツクラブ設立

総合型地域スポーツクラブとして、平成20年6月に金子地域文化スポーツクラブ、平成26年2月に楽SPO船木の2クラブを設立し、活動を行っている。

(3) 新居浜市スポーツ未来創造事業

市民体育館のリニューアルを契機に指定管理者である(公財)新居浜市文化体育振興事業団が行っている自主事業を拡充し、軽スポーツの普及、ジュニア選手への方向付け及び本市の競技力向上に貢献する事業を実施することで、指定管理者が主体的に本市スポーツの活性化を図るとともに、本市スポーツの核となるよう取り組んだ。

2 競技スポーツの振興

- 少年期のスポーツ活動の推進のため、研修会の開催による指導者の資質の向上を図り、スポーツ大会の開催による競技力の向上に努めた。また、高校運動部活動への支援など各種スポーツの競技力の向上を図った。
- 新居浜市(愛媛県・四国四県)の代表として、各種目競技の全国大会などへ出場する選手等の支援として、出場選手派遣費の一部補助を行い、全国的に「新居浜」の知名度向上に努めた。

○聖火リレーとパラリンピック聖火フェスティバルについては、東京 2020 大会の延期により同様に一年延期となったが、コロナの影響を受けつつも聖火リレーについては4月21日（水）に、パラリンピック聖火フェスティバルについては8月14日（土）に、多くの方のご協力により無事開催することができた。また、計画していたサウジアラビアの事前合宿受入等の交流事業はコロナの影響により全て中止となったが、内閣官房が実施するサウジ横連携事業等に参画し、オンライン交流などできる限りのホストタウン活動に取り組んだ。

(1) 主な大会・イベントの日程等

日程	事業名	場所	参加人数
7月24日(土)～8月8日(日)	少年スポーツ大会	各会場	655人
4月7日(水)、6月16日(水)、 7月8日(木)、7月20日(火)、 7月29日(木)、9月14日(火)、 12月9日(木)、2月10日(木) 延べ8回	少年スポーツ指導者研修会	市民体育館他	253人

(2) 運動部活動競技力向上事業

市内の小中学生にとって魅力ある高校スポーツ部活動とすることを目指し、全国トップクラスの指導者を招聘し、市内の中学生と合同で指導を行うことで中高の連携を深め、市内高校スポーツ部活動のレベルアップを図った。

●令和3年度実施種目：駅伝、バドミントン（中学生）

※バスケットボール、バドミントン、野球、サッカー、セーリング、ハンドボール（中学生）についても予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となった。

(3) 高校スポーツ強化指定校事業補助金

新居浜市内にある高等学校等の運動部の競技力向上を図り、全国大会出場を狙えるレベルへ引き上げることを目的とし、新居浜市といえば〇〇（競技名）という市のイメージアップを図るとともに、本市中学生にとって魅力ある高校運動部を目指し、各部活動が実施する強化事業に対し補助金を交付した。

●令和3年度強化指定部活動：新居浜東高等学校

（バドミントン部・ヨット部・陸上（短距離等）部・陸上（駅伝）部）

新居浜商業高等学校（バスケットボール部）

新居浜工業高等学校（ウエイトリフティング部）

新居浜南高等学校（ウエイトリフティング部）

3 施設環境の整備

(1) 体育施設の充実

既存の施設の機能充実を図るために山根総合体育館卓球コーナー床改修工事及び東雲市民プール内外部改修工事を行った。また、東雲競技場外5施設において修繕を行った。

また、(公財)新居浜市文化体育振興事業団及び別子山企業組合を指定管理者とし、体育施設の管理運営や体育に関する事業を行うことによって、施設の利用促進や効率的な管理運営を図り、体育の振興に努めた。

(2) 野外活動施設整備と運営

新居浜市指定のハイキングコース及び登山道について、安全に登山できるよう維持管理を行った。

(3) 体育施設建設基金

令和4年3月31日現在の体育施設建設基金積立金額 697,964,203円

4 体育施設年度別利用状況

(単位：人)

施設名	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市民体育館		36,736	82,057	50,462
山根総合体育館		70,922	45,162	30,555
多喜浜体育館		23,141	16,674	12,064
東雲市民プール		37,176	0	8,665
山根公園屋内プール		20,255	13,491	10,417
別子山市民プール		404	0	208
市営野球場		10,579	8,305	8,666
武徳殿		26,350	24,050	14,580
弓道場		4,400	4,600	2,850
重量挙練習場		7,783	4,856	3,993
文化振興会館		15,179	5,067	4,264
山根市民グラウンド		96,031	28,035	18,518
別子山市民グラウンド		465	130	10
市民テニスコート		35,810	34,175	24,800
山根公園テニスコート		37,020	29,330	21,057
東雲競技場		24,139	16,185	12,499
市営サッカー場		28,149	20,282	21,314
合計		474,539	332,399	244,922



東京2020オリンピック聖火リレー



市民歩け歩け大会



トップアスリート事業（ランニングクリニック）



第5回 あかがねマラソン

文化振興課の主な施策と実績

1 芸術文化活動

地域の芸術文化の水準向上と、すそ野の拡大を課題とし、市民の自由な芸術・文化活動の促進を図るため新居浜文化協会を中心にして春の市民文化祭、秋の芸術祭、市美術展を開催するなど、地域住民が積極的に各種の芸術文化活動に参加し、創作や表現の喜びを味わえる機会の拡大を図った。

また、市内の小中学生に学校施設において優れた芸術に触れる機会を提供する「芸術文化プログラム」を行うとともに、三井住友海上文化財団助成事業である「なぎさプラスゾリステン～金管三重奏と打楽器によるアンサンブル～」を実施した。

2 文化財・郷土資料の保存活用

郷土に残された優れた文化財に対する正しい理解と認識を深め、その保存活用を図るための調査、文化財めぐり等を実施した。

国・県などの関係機関、専門研究者、住友企業、保護団体などによる「銅山峰のツガザクラ調査委員会」を開催し、ツガザクラ保全のための有効な方策を検討した。

歴史資料「銅山略式志」の市文化財新規指定を行った。

市指定史跡「久貢屋敷」保全事業補助を実施した。

ふるさとラボによる出前講座を金子小学校、惣開小学校で実施した。

3 文化施設の充実

文化施設の充実を図るために、市民文化センター大ホール舞台機構設備取替工事及び市民文化センター大ホール舞台照明設備改修工事、市民文化センター本館給水配管改修工事を行った。また、(公財)新居浜市文化体育振興事業団を指定管理者とし、文化施設の管理運営や文化に関する事業を行うことによって、施設の利用促進や効率的な管理運営を図り、文化の振興に努めた。

4 文化振興基金

令和4年3月31日現在の文化振興基金積立金額 823,466,119円

5 (公財)新居浜市文化体育振興事業団

新居浜市の文化及び体育施設の管理運営を受託するとともに、文化及び体育に関する事業を行うことによって、施設の利用促進及び効率的な管理運営を図り、もって文化及び体育の振興に寄与することを目的に、昭和61年8月1日に設立され、平成18年4月からは各施設の指定管理者となっている。平成26年1月6日、公益財団法人に認可された。

○ 所在地 繁本町8番65号

○ TEL 33-2180

○ 組織 理事9人、監事2人、評議員9人

○ 事業内容 (1) 文化体育施設の指定管理

市民文化センター、市民体育館、山根総合体育館、多喜浜体育館、市営野球場、山根市民グラウンド、市民テニスコート、山根公園テニスコート、東雲市民プール、山根公園屋内プール、武徳殿、弓道場、重量挙げ練習場、東雲競技場、市営サッカー場、文化振興会館、山根公園、新居浜公園、女性総合センター

(2) 文化事業の企画及び実施に関すること

市民芸術公演事業、親子陶芸教室、角笛シルエット劇場

(3) 体育事業の企画及び実施に関すること

スポーツ大会(3種目)、スポーツ大会(5種目)、バトミントン教室(親子)、水中ウォーキング教室ほか21教室

(4) 女性センター事業の企画及び実施に関すること

1) 再就職支援事業 7講座

2) 社会参加促進事業 5講座

3) 生活・教養事業 3講座

4) 子育て支援事業 2講座

5) 健康増進事業 8講座

6 文化施設年度別利用状況

(単位：人)

施設名		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		回数(回)	利用者数	回数(回)	回数(回)	利用者数	回数(回)
市民文化センター	大ホール	249	42,848	74	11,389	121	14,383
	中ホール	235	27,870	129	7,860	142	8,400
	別館 会議室等	2,944	50,711	1,646	26,155	1,478	15,601
小計		3,428	121,429	1,849	45,404	1,738	38,384
ふるさと館			1,421		1,125		952
合計		3,428	122,850	1,849	46,529	1,738	39,336

7 令和3年度 月別利用状況（市民文化センター・ふるさと館）

施設名 月	大ホール	大・ロビー	中ホール	大会議室	中会議室	小会議室	和室
4	640	0	130	479	383	54	5
	(12)	(0)	(11)	(11)	(58)	(18)	(10)
5	0	0	0	0	0	0	0
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
6	510	90	582	880	975	100	5
	(8)	(2)	(10)	(17)	(92)	(26)	(10)
7	1,420	0	1,174	844	889	93	28
	(15)	(0)	(23)	(20)	(85)	(28)	(14)
8	611	0	600	265	383	34	0
	(4)	(0)	(10)	(7)	(23)	(6)	(2)
9	300	0	0	51	192	0	6
	(2)	(0)	(0)	(1)	(9)	(0)	(2)
10	751	0	157	332	321	46	10
	(8)	(0)	(9)	(7)	(41)	(14)	(8)
11	4,524	5	1,930	508	785	89	8
	(23)	(1)	(25)	(21)	(132)	(40)	(28)
12	2,747	0	1,837	400	834	115	5
	(16)	(0)	(24)	(12)	(93)	(27)	(12)
1	1,218	0	535	460	703	107	5
	(12)	(0)	(11)	(13)	(81)	(25)	(10)
2	0	0	0	97	22	0	0
	(0)	(0)	(0)	(3)	(6)	(0)	(0)
3	1,567	0	1,455	614	1,020	113	0
	(18)	(0)	(19)	(17)	(96)	(29)	(8)
累計	14,288	95	8,400	4,930	6,507	751	72
	(118)	(3)	(142)	(129)	(716)	(213)	(104)

上段：人数

下段：回数

視聴覚教室	料理教室	茶華教室	展示室	プラネタリウム	ふるさと館	月計	累計
130	0	7	0	0	4	1,832	1,832
(7)	(4)	(5)	(4)	(0)		(140)	(140)
0	0	0	0	0	0	0	1,832
(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		(0)	(140)
397	0	7	90	30	92	3,758	5,590
(14)	(4)	(5)	(13)	(4)		(205)	(345)
284	0	7	76	199	184	5,198	10,788
(11)	(5)	(6)	(14)	(23)		(244)	(589)
190	0	7	10	15	72	2,187	12,975
(4)	(0)	(1)	(1)	(5)		(63)	(652)
55	0	0	0	0	0	604	13,579
(1)	(0)	(0)	(0)	(0)		(15)	(667)
160	0	20	0	0	46	1,843	15,422
(6)	(4)	(4)	(4)	(0)		(105)	(772)
542	0	7	38	0	176	8,612	24,034
(25)	(13)	(14)	(17)	(0)		(339)	(1,111)
391	30	20	50	0	158	6,587	30,621
(14)	(6)	(6)	(12)	(0)		(222)	(1,333)
180	17	23	30	0	122	3,400	34,021
(8)	(5)	(5)	(8)	(0)		(178)	(1,511)
0	0	0	0	0	0	119	34,140
(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		(9)	(1,520)
283	20	6	20	0	98	5,196	39,336
(12)	(7)	(7)	(8)	(0)		(221)	(1,741)
2,612	67	104	314	244	952	39,336	39,336
(102)	(48)	(53)	(81)	(32)		(1,741)	(1,741)

広瀬歴史記念館の主な施策と実績

1 展示内容等

(1) 展示館の内容

広瀬幸平の一生を、テーマごとに映像や実物資料、パネルを用いて紹介する。別子銅山の経営維持に奔走し、採鉱・精錬・陸運の近代化を推進するなど、わが国の殖産興業に尽力した幸平の姿をみることができる。

(2) 旧広瀬邸（国指定重要文化財・国指定名勝）の内容

母屋は明治10年建築、明治20年に現在地に移築、新座敷と内庭は明治22年に建築・造園された。伝統的な日本建築様式を持ちながらも、開国により西洋から輸入されたマントルピース、洋式便器、板ガラス、避雷針といった新しい文化が取り入れられており、そのふたつが見事に調和している。庭園は、内庭（迎賓空間）、亀池（祝祭空間）、南庭（顕彰空間）からなり、庭園文化の発展をよく示している。

2 資料の収集状況

広瀬家所蔵品、古文書など約3,740点（平成3年5月7日現調）

3 令和3年度事業実績

特別企画展

令和3年度特別企画展「住友山田社宅仮オープン記念 工都新居浜の誕生 ～別子銅山と住友総理事～」

○ 期 日 令和3年3月20日（土）～同年8月31日（火）

4 令和3年度月別観覧者内訳

年 月	開館 日数	観 覧 人 数 (人)						
		一 般				小 計 ①	18歳未満の 者及び大学 生等 ②	人数 (①+②)
		個人	個人減額	団体	免除			
令和3年4月	8	163	26	0	21	210	43	253
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	26	192	29	0	53	274	32	306
7月	25	233	13	0	45	291	35	326
8月	26	136	13	0	24	173	53	226
9月	24	140	8	0	28	176	22	198
10月	27	268	10	0	90	368	382	750
11月	23	410	33	191	240	874	150	1,024
12月	24	183	17	40	225	465	158	623
令和4年1月	23	82	9	0	324	415	22	437
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	26	209	23	0	62	294	166	460
計	232	2,016	181	231	1,112	3,540	1,063	4,603

総合文化施設（あかがねミュージアム）の主な施策と実績

1 月別入館者数

	令和2年度	令和3年度
4月	1,296	4,198
5月	3,037	0
6月	3,987	9,783
7月	8,743	11,184
8月	10,200	11,170
9月	8,609	9,163
10月	11,342	10,872
11月	12,364	11,396
12月	5,711	14,877
1月	8,163	10,456
2月	11,560	5,318
3月	9,262	9,623
計	94,274	108,040



東京藝術大学スーパークローン文化財展
「素心伝心」



原作出版75周年 きかんしゃトーマス展

2 令和3年度 美術館展覧会開催実績

展覧会名	会期	入場者数（人）
第54回にいはま春の市民文化祭 美術の部	4月10日(土)～4月18日(日)	1,180
東京藝術大学スーパークローン文化財展「素心伝心」	7月3日(土)～8月29日(日)	5,836
市民創作活動推進特別プログラム 広げよう！芸術文化の灯 ～今あかがねミュージアム にできること～	第一期 9月14日(火)～9月26日(日) 第二期 9月29日(水)～10月11日(月)	第一期 1,336 第二期 777
市民創作活動推進特別プログラム 特別記念展 寺坂公雄 煌めき～その光と風～	9月11日(土)～10月11日(月)	2,100
第71回 新居浜市美術展覧会	10月23日(土)～11月3日(水)	3,105
第70回 愛媛県展新居浜移動展	11月11日(木)～11月23日(火)	2,326
にいはま SDGs アート・フェスティバル 2021	12月4日(土)～1月16日(日)	—
原作出版75周年 きかんしゃトーマス展	12月4日(土)～1月16日(日)	8,317
新居浜の美術コレクション展示 2021 Curator's session 学芸員によるコレクション展	1月22日(土)～3月21日(月) (うち1月31日(月)～2月28日 (月) 美術館休館)	996

3 令和3年度の主なイベント

(1) 太鼓台展示

8月9日(月)～ 治良丸太鼓台
 11月14日(日)～ 喜来太鼓台

(2) 展覧会関連イベント

9月11日(土)～ 10月11日(月)	寺坂公雄 煌めき～その光と風～	作家によるギャラリートーク
------------------------	--------------------	---------------

(3) ホールイベント

期日	事業名	人数(人)
6月27日(日)	篠笛スタジオコンサート2021「心呼吸で奏でる笛の音」 (Youtube 生配信)	1,703 (配信視聴回数)
10月30日(土)・31日(日)	ハロウィン衣装で大集合!クロマキーでハロウィンな 家族写真を撮ろう!	150
12月4日(土)・5日(日)	劇団笑夢 第20回定期公演「四国の王子テンム」	200
3月20日(日)	あかがね新春寄席 桂吉弥独演会	121
11月～3月(計8回)	あかがねシネマ	501

4 教育普及事業、ワークショップ

4月～3月	あかがね教室シリーズ 7教室(うち子ども対象:2教室)
4月～3月	版画プレス機開放日&プラ板版画体験 他13件
4月～3月	アート工房での展示 14団体

5 新居浜市美術品購入基金

令和4年3月31日現在の残高 112,579,984円(美術品66,600,000円 現金45,979,984円)

図書館の主な施策と実績

1 図書館の利用状況

(1) 貸出図書

(R3.4.1～R4.3.31)

①図書・雑誌等

開館日数 236日

ア 本館

(単位：冊)

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 点数	4,740	8,575	19,166	16,942	32,094	29,966	7,402	38,701	3,313	149,679	4,623	91,455	439	23,109	430,204

イ 移動図書館

(単位：冊)

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 点数	649	756	1,737	883	3,286	2,850	675	6,840	389	10,432	365	8,042	22	243	37,169

ウ 角野分館

(単位：冊)

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 点数	536	774	2,073	1,506	4,142	3,153	530	3,956	286	16,523	218	9,653	60	2,592	46,002

エ 合計

(単位：冊)

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 点数	5,925	10,105	22,976	19,331	39,522	35,969	8,607	49,497	3,988	176,634	5,206	109,150	521	25,944	513,375

②AV資料

	館内	館外	計
C T(本) (カセットテープ)		0	0
V T(本) (ビデオテープ)	0	3	3
C D(枚)		7,547	7,547
DVD(枚)	0	12,410	12,410
計	0	19,960	19,960

③電子図書

(単位：点)

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	E 絵本	計
貸出 点数	146	278	464	518	822	933	110	390	197	2,146	695	6,699

(2) 登録者数

(単位：人)

区分	児 童 (小学生以下)	一 般 (中学生以上)	団 体	計
登 録 者	8,331	60,256	254	68,841

(3) 団体貸出

市内の幼稚園、学校、福祉施設、読書会等に貸出をしている。

貸出冊数 100 冊以内、貸出期間は 4 週間。

令和 3 年度貸出冊数 16,867 冊

(4) 心身障害者に対する図書貸出

市内に在住する心身障害者（身体障害者の場合は 1 級～ 3 級の手帳を有する者）が、貸出希望を申し出た場合、郵送による貸出及び連絡車による配送を実施している。（郵送に要する費用は図書館が負担している。）

貸出冊数 5 冊以内、貸出期間は 30 日間。

(5) 開架図書冊数

(R 4. 3. 31 現在)

(単位：冊)

区分	一 般	児 童	計
本 館	116,532	35,028	151,560
移 動 図 書 館	3,754	7,389	11,143
角 野 分 館	9,023	8,912	17,935
計	129,309	51,329	180,638

(6) リクエスト

(R 3. 4. 1～R 4. 3. 31)

(単位：件)

区分	窓 口	館内OPAC	We b O P A C	携帯OPAC	リクエスト	合 計
本 館	4,138	1,758	23,679	2	1,519	31,096
移動図書館	0					0
角野分館	1,060	145			71	1,276
計	5,198	1,903	23,679	2	1,590	32,372

(7) 相互貸借

予約された資料などが自館で手に入らない場合、他館から借用することがある。

(国立国会図書館総合目録ネットワークに参加)

(R 3. 4. 1～R 4. 3. 31)

(単位：件)

借 受		貸 出	
県内図書館	県外図書館	県内図書館	県外図書館
433	76	231	17

2 主な事業

(1) 図書館運営における市民サポーター制度の推進強化

図書館サポーターとの協働による図書館支援の強化を図るとともに活動の情報発信に取り組み、サポーター登録者の拡大を図る。

登録数 個人 15 名 団体 3 団体

活動内容 書架整理、館内外美化環境整備、イベントの補助、読み聞かせ等

(2) 読書活動の推進と機会の提供、生涯学習の支援

市民の自主的、自発的な学習活動を支援するため、資料・情報提供の推進及び学習機会・場所の提供に努める。

・「子ども読書通帳マラソン」

令和3年6月1日から令和3年8月22日まで子ども読書通帳マラソンを実施し、上位者を表彰。期間中参加者104名のうち各部門上位3名計15名表彰。最高冊数は1,330冊（幼児部門）。表彰式は新型コロナ感染対策期のため行わず。

・図書館まつり

令和3年11月25日（木）～28日（日）

日頃、図書館を支えてくれる市民の皆さんに感謝し、楽しんでもらうため開催

「ブックリサイクル」 令和3年11月25日（木）13時から11月27日（土）12時まで

図書館での役割を終えた本や雑誌、市民からの寄贈本（重複及び図書館において資料的価値のないもの）

約10,000冊を市民に無償で提供した。（来場者465名）

「杉山亮さん講演会&ものがたりライブ」 令和3年11月28日（日）

講演会「こどもとものがたりのいい関係」10:00～11:00（参加者36人）

ものがたりライブ（動物競馬）13:00～14:00（参加者45人）

ものがたりライブ（おばけ話入り）15:00～16:00（参加者60人）

・定例おはなし会

本館 毎月第1木曜日（乳幼児0～3歳対象）、第2・4水曜日（幼児対象）、第3土曜日（小学生対象）

角野分館 毎月第1・3水曜日（幼児対象）

紙芝居、絵本の読みきかせ、パネルシアター、エプロンシアター、ストーリーテリング等を行う。

協力（ボランティア）回転木馬、民話の里すみの（参加者 子ども469名、大人328名）

(3) 関係機関との連携による地域の情報拠点化の推進

市民の読書活動の推進及び地域課題の解決を支援するため、公共図書館相互の連携のみならず、学校や学校図書館、病院や福祉施設、地域企業との連携を強化する。

・ブックスタート事業

毎月2回開催される、保健センターの5か月児健康相談において絵本等の入ったブックスタートパックを手渡ししているが、新型コロナ感染症感染防止対策のため保健センター職員に渡してもらう。（対象754名 配布者699名 配布率92.7%）

・健康支援

市民の多様な健康情報へのニーズにこたえるため、保健センターや医療機関と連携。チラシ・パンフレットの配布を行った。（健康支援図書コーナーも設置）

・がん情報ギフトコーナー設置

・ロビー展

「からだの健康は、お口から！」「第63回水道週間」「スマホが与える子どもへの害と子どもとのかかわり」等 計19回

・出前講座

放課後児童クラブ、保育園、高齢者福祉施設等へ出かけ「お話し会」等を行い、本やお話に親しんでもらい、図書館のPRも行う。計7回（参加者子ども104名、大人35名）

- ・図書館ネットワーク
- ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスによる資料提供
- ・愛媛県立図書館図書遠隔地返却サービス協力
- ・学校及び学校図書館との連携

子どもの読書活動・学習活動を推進していくため、学校や学校図書館との連携を行う。

- ・団体貸出、図書館見学・職場体験の受入、図書購入時や調べ学習の図書リストの作成・情報提供、リサイクル図書等の活用

- ・雑誌スポンサー制度の実施 平成24年7月1日より開始

「雑誌スポンサー制度」とは、雑誌そのものを寄贈してもらうのではなく、雑誌の購入代金を負担してもらう制度。雑誌は、図書館の中でも回転率の高い資料で、多くの人が毎日利用しているので、高い広告価値がある。(雑誌189タイトル中24タイトル)

- ・雑誌スポンサータイアップセミナー

雑誌スポンサー(登録者数16団体)の中から協力いただける事業者にも専門分野での講座を開催していただくとともに、図書館は所蔵する関連図書のリストを作成、配布。

「ココロとカラダの健康セミナー」(1団体 5講座開催)

(4) 図書館PR活動の充実

図書館の活動を市民によく知ってもらい、図書館の利用促進につなげるため、PR活動の改善を図る。

- ・夏休みは図書館へいこう！

第1弾「親子で読書感想文にちょうせん！」令和3年7月28日(水)

午前の部 9:30～11:30 (親子18組)

午後の部 13:30～15:30 (親子7組)

第2弾「夏休み子ども図書館探検！&おもしろ科学実験！」令和3年7月29日(木)

図書館見学 9:30～10:00

書庫や郷土資料室の見学、本が書架にならぶまでのしくみや便利な図書館サービス等をプロジェクターを使い紹介。

おもしろ科学実験 10:00～12:00

二酸化炭素の秘密。オリジナル入浴剤づくり。(参加者小学生29名)

第3弾「夏の夜のちょっとこわいおはなし会」令和3年8月6日(金)

子どもと大人対象の怖いお話と語り 19:15～20:00 (参加者子ども33名、大人20名)

- ・シン“我楽多講座”

第19回「全米TOP1 ヒットの歴史 その1」令和3年6月20日(日)(参加者17名)

第20回「音楽で振り返る007号の活躍」令和3年12月12日(日)(参加者15名)

(5) 地域資料の保存と情報発信、ふるさと学習の推進

郷土の歴史や文化を次世代に継承するために、郷土・行政資料を積極的に収集・保存し、郷土出身者や郷土の産業遺産等についての情報発信を行う。

- ・愛媛新聞公開データベースの閲覧
- ・別子銅山コーナー・住友関連コーナー等の充実
- ・別子銅山に関する本の解説講座「別子銅山を読む」

あかがねの町新居浜市を紐解く別子銅山に関する本の解説講座

第1回「山村文化」令和3年7月11日(日)(参加者大人38名)

※4月19日(日)延期分

第2回「銅山用語」令和3年6月6日(日) (参加者大人39名)

第3回「続・幸平の漢詩を読む」令和3年12月19日(日) (参加者大人38名)

※9月12日(日)延期分

第4回「住友の大阪」令和3年11月14日(日) (参加者大人48名)

第5回「新居浜の都市空間」令和4年1月16日(日) (参加者大人35名)



夏休み子ども図書館探検隊&おもしろ科学実験！



図書館まつり
『杉山亮さん講演会&ものがたりライブ』

人権教育課の主な施策と実績

1 人権教育啓発の推進

(1) 人権教育指導者・推進者の養成

ア 基礎研修

(ア) 人権クロス・ミーティング(基礎編、採用2・3年目の職員) 11月18日(参加者64名)

イ 指導者養成研修

(ア) 人権・同和教育主担者養成研修(人権・同和教育主担者) 7月13日(参加者31名)

(イ) 人権・同和教育指導者養成研修(管理職員、人権・同和教育主担者) 2月17日～3月18日(動画配信による実施)

(ウ) 人権クロス・ミーティング(指導者編、主査・副課長昇進者) 8月26日(参加者32名)

ウ 実践研修

(ア) 職場研修(年1回、全職員対象)

各職場において部落差別問題をはじめとする様々な人権問題に関しての情報や意見の交換を行った。

(イ) 派遣研修への参加

四国地区人権教育研究大会、愛媛県人権・同和教育研究大会、東予地区人権・同和教育研究協議会、「差別をなくする県民のつどい」等に参加。

(ウ) 校区別人権教育市民講座への参加

愛媛県人権教育協議会新居浜支部が市内17校区15会場で開催した「校区別人権教育市民講座」へ、311名の市職員が自主的に参加した。

(2) お茶の間人権教育懇談会の拡充・深化

開催実績 26回 205人

お茶の間人権教育懇談会の拡充を目的として、関係機関への啓発活動に取り組む。

平成28年度に施行された「部落差別解消推進法」をはじめとする人権に関する3つの法律の周知にも取り組んだ。

(3) 各種研修会・講座の実施

組織・企業内や関係機関において、人権・同和教育に関する各種の研修会や講座等を開催。

開催実績

公民館等社会教育関係〈9回 190人〉

組織・企業等〈講座・セミナー 41回 2,522人〉

各専門部会の開催(就学前、小・中学、高等学校、社会教育、組織・企業、行政)

(4) 人権のつどい日の開催(毎月11日)〈6回 165人、4・5・9・10・2月は中止〉

1965(昭和40)年8月11日に、部落差別の解消が国民的な課題であり、国の責務であることを明記した「同和対策審議会答申」が出されたことを記念して、「新居浜市人権尊重のまちづくり条例」第6条により毎月11日を人権について考え行動する日にしようと呼びかけ、人権意識を高めあう日として「人権のつどい日」としている。

日時	曜日	場所	実施内容
6月11日	金	瀬戸会館	DVD「シェアしてみたてわかったこと」視聴
7月11日	日	瀬戸会館	「心のバリアフリー」
8月11日	水	瀬戸会館	「誰のために差別をなくすのか？」
11月11日	木	瀬戸会館	「企業と取り組む新入社員研修(人権教育講座)の紹介」

1月11日	火	瀬戸会館	「多様性って何？」
3月11日	金	瀬戸会館	「一歩踏み出す～子ども食堂との出会い～」

(5) ふれ愛フェスタ～ハートFULL新居浜～の開催

市民文化センター中ホール

令和3年12月18日(土) 約150人

〈第1部〉報告「人権フィールドワークから学んだこと」

愛媛県立新居浜工業高等学校

〈第2部〉講演

講師 スマイリーキクチ(タレント)

演題 「言葉の責任 ネットの被害者・
加害者にならないために」

- ・人権に関するパネル展示
- ・人権擁護委員による啓発活動
- ・福祉施設等によるバザー(1施設)



(6) 講師・指導者の派遣

関係機関・団体等が主催する各種学習会等に人権啓発指導員を派遣

(7) 校区别人権教育市民講座の開催

愛媛県人権教育協議会新居浜支部の主催により、市内各校区において地域住民を対象とした学びの場を提供。令和3年度は市内17校区15会場で開催

実施期間 令和3年11月4日～令和4年1月21日(参加者 900人)

2 関係団体支援

(1) 愛媛県人権教育協議会新居浜支部の活動支援

就学前、小学校、中学校、高等学校、社会教育、組織・企業、行政の7つの専門部会を設置して、活動を支援。

3 啓発資料の充実と活用

(1) 指導資料の作成等

人権・同和教育実践資料集(小・中学校)

人権作文集(小・中・高等学校)

新居浜市小・中学校人権・同和教育研究大会資料

愛媛県人権教育協議会新居浜支部総会資料

新居浜市内県立学校人権・同和教育研究大会報告集

(2) 教材・教具(DVD・図書等)の整備及び活用

「夕焼け」、「私たち一人ひとりができること」

「君が笑っていたーソーシャルディスタンスの罠」等購入

※お茶の間人権教育懇談会、職場研修、人権のつどい日等で活用。

(3) 市民啓発資料の作成及び配布

ア 市政だより「人権の窓」等での広報(毎月・特集号)

イ 市政だより折込み「人権啓発特集号」による広報(8月・2月)

ウ 人権作文集

エ 「えひめ人権・同和教育」の配布(年間3回、7,500部)

(小中学校、幼稚園・保育園、社会教育・社会福祉等の関係団体、自治会回覧板、市議会議員、市職員、組織・企業部会会員、市内公共施設等へ配布)

(4) 部落差別解消を目指す動画メッセージ放映

新居浜市広報番組「マイタウン新居浜」10月において、愛媛県人権教育協議会新居浜支部が作成した、部落差別解消推進動画「私たちは、差別をなくすためにどうすればいいのか?」を放映

4 人権教育推進機関等との連携強化

(1) 各研究大会への援助及び協力

小学校 (惣開、角野、別子、神郷)

中学校 (川東、北、別子)

県立学校大会 (市民文化センター)

(2) 各種研修会・研究会・研究大会等への参加

四国地区人権教育研究大会(松山市 令和3年7月8日 28人)

部落問題を考えるフォーラム(中止)

東予地区人権・同和教育研究協議会(今治市 令和3年10月28日 21人)

愛媛県人権・同和教育研究大会(松山市 令和3年11月9日 24人)

全国人権・同和教育研究大会(書面開催)

社会教育担当者人権・同和教育研究協議会(松山市 令和3年6月30日 2人)

人権・同和教育実践交流研修会(中止)

愛媛県人権協会市町職員研修会(中止)

(3) 校区別人権・同和教育懇談会事業への援助及び協力

基礎研修 3,873人

学級学年別研修 3,306人

(4) 講師・指導者の派遣

関係機関・団体等が主催する各種学習会等に人権啓発指導員を派遣

5 身元調査お断り運動

市民一人ひとりのかけがえのない命と人権が尊重され、誰もが安心して生き生きと暮らせる「人権尊重のまちづくり」をめざし、人権に関わる「身元調査」をなくしていく運動を進めている。

6 差別落書き根絶

差別落書きをなくすため、「しない、させない、許さない」をスローガンに据え、一人ひとりが今以上に部落差別問題をはじめとする様々な人権問題を自らの課題としてとらえ行動していけるよう、発見時の対応手順に沿って、差別落書き根絶に向けた取り組みを進めた。

※令和3年度は、市内公共施設等における差別落書き事件は無かったが、施設管理者や危機管理課による防犯パトロール強化、防犯カメラ設置、落書き禁止の警告表示等の対応を継続した。

7 その他

(1) その他

ア 愛媛FCによるサッカー教室(愛媛県再委託事業)

令和3年11月22日(大生院小学校6年生 46名参加)

イ 人権の花運動（愛媛県再委託事業）

令和3年11月22日 苗等の受渡し式(大生院小学校6年生 46名参加)

令和4年1月31日 花の贈呈式 (大生院公民館)

ウ 人権週間周知のための啓発活動（人権擁護委員と連携）

令和3年12月7日 市内スーパーにて啓発活動（イオン、マルナカ）

令和3年12月6日～10日 市役所1階 人権週間パネル展

公用車へのステッカー貼付

市庁舎東側設置の電光掲示板での広報

エ 市内県立学校人権委員会による合同現地研修会（フィールドワーク）

令和3年8月5日 四国中央市（暁雨館見学他）（52名参加）

参 考 资 料

体育施設一覽表

施設名	所在地	建設年月	構造	敷地面積(m ²)	建物面積(m ²)	電話	管理者
市民体育館	東雲町一丁目 1番25号	昭和 52. 8	鉄筋コンクリート造 3階建	4,863	6,210	34-1888	文化体育 振興事業団
山根総合 体育館	角野新田町 三丁目14番1号	昭和 62. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	5,358	3,252	43-2905	〃
多喜浜 体育館	多喜浜四丁目 3番7号	昭和 59. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	3,255	1,179	46-2466	〃
東雲 市民プール	東雲町一丁目 1番13号	昭和 47. 6	鉄筋コンクリート造	10,744	524 水面積 2,872	32-3595	〃
山根公園 屋内プール	角野新田町 三丁目14番2号	昭和 63. 9	鉄筋コンクリート造2 階建プール棟は鉄骨造	7,400	1,527 水面積 395.5	43-1411	〃
別子山 市民プール	別子山 甲333番地の1	昭和 57. 3	樹脂一部コンクリート造	1,430	200		別子山 企業組合
市営 野球場	新須賀町 三丁目2番54号	昭和 60. 7	鉄筋コンクリート造 3階建 観覧席 本部スタンド2,090 内野スタンド3,400 外野スタンド3,010席	15,269	4,448	34-0518	文化体育 振興事業団
武徳殿	徳常町4番6号	昭和 13.11	木造瓦葺平家建	2,362	584		〃
弓道場	徳常町4番15号	平成 5. 3	木造平家建	546	103		〃
重量 挙練習場	東雲町一丁目 1番25号	令和 元. 5	鉄筋コンクリート造	—	425		〃 (市民体育館建物面積内)
文化振興 会館	徳常町4番8号	平成 5. 3	鉄筋コンクリート造 3階建	456	993	36-0800	〃
山根市民 グラウンド	角野新田町三丁目 2822番地の9			13,403			〃
別子山市民 グラウンド	別子山 乙304番地の8	昭和 57. 3		1,470			別子山 企業組合
市民 テニスコート	庄内町二丁目地先 及び南小松原町地先	昭和 59.10	クレーコート6面	6,600	80 コート 4,314	36-2071	文化体育 振興事業団
		昭和 57. 3	全天候型ウレタンコー ト公式4面	4,000	コート 2,885	〃	〃
		平成 24.10	クレーコート 軟・硬両用3面	2,405	コート 1,855	〃	〃
		平成 24.10	全天候型人工芝6面	6,600	4,314	〃	〃
山根公園 テニスコート	角野新田町 三丁目12番	平成 4. 3	全天候型人工芝6面 練習コート3面(壁打)	5,117	317 コート 5,117	43-2151	〃
東雲 競技場	東雲町三丁目地先	平成 5. 3	全天候型300mトラック 及び投てき場	13,000	70		〃
市営 サッカー場	観音原町 乙109番地	平成 11. 7	天然芝グラウンド2面 管理棟(鉄骨造平家建) 観覧席 東側500 西側500席	22,220	168	66-2522	〃

文化施設

名 称	市 民 文 化 セ ン タ ー		管理者	文化体育振興事業団
所 在 地 敷 地 面 積	繁本町 8 番 65 号 ☎33-2180 18,285 m ²			
構 造	鉄筋コンクリート造地下1階地上3階	鉄筋コンクリート造地下1階地上4階		
建 物 面 積	3,713 m ²	2,166 m ²		
延 床 面 積	5,219 m ²	4,620 m ²		
ホ ー ル	大ホール (1,163 席)	中ホール (固定 486 席 車いす席 3)		
会 議 室	洋室 10、和室 2			
教 室	料理・茶華各 1、視聴覚 1			
プラネタリウム	プラネタリウム室 (72 席)			
展 示	展示室 1			
そ の 他	高齢者社交室	相談室、保育室		
駐 車 場	駐車可能台数 170 台			
工 事 費	3 億 5,000 万円	5 億 4,400 万円		
完 成	昭和 37 年 11 月 3 日	昭和 49 年 8 月 9 日		
改 修	【工 期】 昭和 61 年 12 月 18 日 ～ 昭和 62 年 4 月 25 日 【工 事 費】 4 億 500 万円 【工事概要】 せり舞台を新設 (約 100 m ²) 舞台天井・側面に音響反射板 の新設 客席の幅を拡大 前部客席に床暖房設備を設置 防音扉の設置 平成 23 年度 楽屋新築及び既設楽屋改修 58,289 千円			
	平成 24 年度～26 年度 耐震工事の実施 工事費 24 年度 17,850 千円 耐震診断及び補強設計 25 年度 92,075 千円 別館耐震工事等 26 年度 53,795 千円 大、中ホールの耐震補強工事及び本館耐震工事			

名 称	別 子 山 ふ る さ と 館		管理者	新居浜市
所 在 地	別子山甲 345 番地の 1	☎64-2305	完成年月日	H 2 . 7 . 31
施 内 容 設 等	資料館 1 階 86.64m ² 2 階 146.87m ² 管理棟 2 階 127.17m ² 展示 銅山歴史、遺跡案内、登山案内等パネル 岩石標本 銅山、物産関係			

国 指 定 文 化 財 (5)

(R 4. 4. 1 現在)

種 類	名 称	所 在 地	指 定 年 月 日
建 造 物	旧広瀬家住宅	上原二丁目 10 番 52 号	平成15年 5 月 30 日
工 芸	剣銘国永	(個人蔵)	昭和31年 6 月 28 日
名 勝	旧広瀬氏庭園	上原二丁目 10 番 52 号	平成30年 2 月 13 日
天然記念物	一宮神社のクスノキ群	一宮町一丁目 3 番 1 号 一宮神社	昭和26年 6 月 9 日
天然記念物	銅山峰のツガザクラ群落	立川町、別子山	平成31年 2 月 26 日

県 指 定 文 化 財 (12)

(R 4. 4. 1 現在)

種 類	名 称	所 在 地	指 定 年 月 日
建 造 物	経堂「大転輪蔵」	山根町 8 番 1 号 瑞応寺	昭和45年 3 月 27 日
彫 刻	木造薬師如来坐像	高木町 3 番 21 号 河内寺	昭和54年 9 月 14 日
工 芸	太刀銘国継	(個人蔵)	昭和30年11月 4 日
工 芸	太刀無銘	(個人蔵)	昭和39年 3 月 27 日
工 芸	銅銭承和昌宝	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和40年 4 月 2 日
工 芸	金銅密教法具	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和40年 4 月 2 日
考 古 資 料	金子山古墳出土品	西の土居町二丁目 16 番 47 号慈眼寺	昭和63年 4 月 19 日
史 跡	別子銅山口屋跡	西町 6 番 2 号	昭和24年 9 月 17 日
名 勝	別子ライン	立川山、大永山	昭和30年11月 4 日
天然記念物	瑞応寺のイチョウ	山根町 8 番 1 号 瑞応寺	昭和31年11月 3 日
天然記念物	赤石山の高山植物	赤石山系 (新居浜市、四国中央市)	昭和32年12月14日
天然記念物	久貢山のソテツ	多喜浜六丁目 4 番 55 号	昭和32年12月14日

市 指 定 文 化 財 (7 6)

(R 4 . 4 . 1 現 在)

種 類	名 称	所 在 地	指 定 年 月 日
建 造 物	大元神社本殿	大島字宮山 大島八幡神社	昭和52年4月7日
建 造 物	宝篋印塔	郷四丁目22番	昭和52年4月7日
建 造 物	狛犬	東田三丁目1229番地 東台神社	昭和52年4月7日
建 造 物	立川銅山師奉納常夜灯	一宮町一丁目3番1号 一宮神社	令和2年9月11日
絵 画	金胎両界曼荼羅	黒島二丁目7番70号 明正寺	昭和40年6月3日
絵 画	弘法大師御影像	黒島二丁目7番70号 明正寺	昭和40年6月3日
絵 画	絵馬「渡辺綱鬼女退治図」	新須賀町三丁目4番5号 堀江神社	昭和60年10月3日
彫 刻	釈尊誕生仏	黒島二丁目7番70号 明正寺	昭和40年6月3日
彫 刻	十二神将像	高木町3番21号 河内寺	昭和52年4月7日
彫 刻	木造聖観世音菩薩立像	萩生2635番地 萩生寺	昭和52年4月7日
彫 刻	随神	八雲町10番16号 宗像神社	昭和52年4月7日
彫 刻	牛王宝印	八雲町10番16号 宗像神社	昭和52年4月7日
彫 刻	蛙股	八雲町10番16号 宗像神社	昭和52年4月7日
彫 刻	仏海上人作仏像	大島143番地 吉祥寺	昭和53年4月6日
彫 刻	木造阿弥陀如来立像	別子山乙551番地5 圓通寺	平成15年11月4日
彫 刻	木造大日如来坐像	別子山乙551番地5 圓通寺	平成15年11月4日
彫 刻	木造聖観音菩薩坐像	別子山乙551番地5 圓通寺	平成15年11月4日
工 芸	太刀銘伝三条小鍛冶宗近作	一宮町一丁目3番1号 一宮神社	昭和40年6月3日
工 芸	仏舎利塔と舎利器	黒島二丁目7番70号 明正寺	昭和40年6月3日
工 芸	鉄鉢と二十五条麻袈裟	黒島二丁目7番70号 明正寺	昭和40年6月3日
工 芸	獅子王御太刀	八幡二丁目4番69号 八幡神社	昭和52年4月7日
工 芸	孔雀文金銅磬	黒島二丁目7番70号 明正寺	昭和52年4月7日
古 文 書	秘法三十二箇巻	黒島二丁目7番70号 明正寺	昭和40年6月3日
古 文 書	白石家文書	北新町10番1号 別子銅山記念図書館	平成16年8月5日
古 文 書	野田家文書	北新町10番1号 別子銅山記念図書館	平成16年8月5日
考 古 資 料	銭がめと古銭	中村三丁目7番12号	昭和52年4月7日
考 古 資 料	古宮経塚出土「経筒」	繁本町8番65号 市民文化センター	昭和60年10月3日
考 古 資 料	正光寺山古墳群出土遺物	繁本町8番65号 市民文化センター	平成25年3月13日
歴 史 資 料	西条藩領地鳥瞰図屏風	坂井町二丁目8番1号 総合文化施設	昭和60年10月3日
歴 史 資 料	瓜生野御堂棟札	別子山瓜生野	平成15年11月4日
歴 史 資 料	圓通寺棟札	別子山乙551番地7 圓通寺	平成15年11月4日
歴 史 資 料	石造地藏菩薩立像	別子山乙551番地7 圓通寺	平成15年11月4日
歴 史 資 料	銅山略式志	上原二丁目10番42号 広瀬歴史記念館	令和3年4月2日
無形民俗文化財	とうどおくり	大島	昭和53年4月6日
無形民俗文化財	じょうさ節	垣生	昭和53年4月6日
無形民俗文化財	かぶと踊り	船木	平成16年8月5日
史 跡	五輪塔群	西の土居町二丁目	昭和40年6月3日
史 跡	大師泉縄文遺跡	萩生801番地	昭和52年4月7日
史 跡	唐津塚	上原二丁目	昭和52年4月7日
史 跡	小山古墳	垣生小山	昭和52年4月7日
史 跡	桧端住居跡	船木4638番地の2	昭和52年4月7日
史 跡	河内寺の塔礎石	高木町3番21号 河内寺	昭和52年4月7日
史 跡	深尾権太輔の墓	黒島二丁目7番70号 明正寺	昭和52年4月7日
史 跡	星原市	星原町4番	昭和52年4月7日
史 跡	久貢屋敷と天野喜四郎の墓	多喜浜六丁目4番55号	昭和53年4月6日
史 跡	つづら淵	若水町二丁目5番	昭和53年4月6日
史 跡	金子城跡	金子山	昭和53年4月6日

種類	名称	所在地	指定年月日
史跡	横山古墳群	中萩町 13 番	昭和53年 4 月 6 日
史跡	金子山古墳	金子 15 番地	昭和58年 1 月 6 日
史跡	三義民の碑	宇高町二丁目 6 番 観音堂	昭和60年 6 月 6 日
史跡	村上平兵衛の墓	又野二丁目 5 番 阿弥陀堂	昭和60年 6 月 6 日
史跡	高橋弥市左衛門の墓	宇高町二丁目 6 番 観音堂	昭和60年 6 月 6 日
史跡	高橋孫兵衛の墓	宇高町二丁目 1 番 52 号 地藏堂	昭和60年 6 月 6 日
史跡	高橋孫兵衛屋敷跡地	宇高町二丁目	昭和60年 6 月 6 日
史跡	金子備後守供養塔を中心とする墓	西の土居町二丁目 16 番 47 号慈眼寺	昭和60年12月 5 日
史跡	岡崎城跡	上郷郷山	昭和53年 4 月 6 日
史跡	広瀬家墓所	山田町 217 番地の 1	平成16年 8 月 5 日
史跡	正光寺山古墳群	坂井町二丁目 1419 番	平成25年 3 月13日
名勝	銚子の滝	大生院大野山	昭和53年 4 月 6 日
名勝	樽の滝（窓の滝）	種子川山	昭和53年 4 月 6 日
天然記念物	バクチノキの群生	大島宇宮山 大島八幡神社	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	ミョウショウジザクラ	黒島二丁目 7 番 70 号 明正寺	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	法泉寺のムクノキ	垣生四丁目 9 番 12 号 法泉寺	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	大師泉のオオバタネツケバナ	萩生 801 番地	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	ヤクシマツバキ	大生院大野山谷	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	漣痕	荷内町 2 番 5 号	昭和52年 4 月 7 日
天然記念物	アッケシソウ	阿島二丁目 14 番 1 号	昭和59年 7 月 5 日
天然記念物	中央構造線小河谷断層	萩生 1833～2960 番地の 1	昭和60年 1 月10日
天然記念物	宗像神社の参道と社叢	八雲町 10 番 13 号 宗像神社	昭和60年11月 5 日
天然記念物	黒嶋神社のツバキ群生林	黒島 779 番地の 1 黒島神社	昭和60年12月 5 日
天然記念物	三島神社の社叢	船木甲 5371 番地 三島神社	昭和60年12月 5 日
天然記念物	龍河神社の社叢	立川町 496、497 番地ほか	昭和63年 5 月12日
天然記念物	保土野溪谷甌穴群	別子山保土野乙 475 番地 8 地先ほか	平成15年11月 4 日
天然記念物	オオモミジ	別子山乙 551 番地 13	平成15年11月 4 日
天然記念物	山城八幡神社社叢	別子山甲 130 番地	平成15年11月 4 日
天然記念物	エドヒガンザクラ	別子山乙 83 番 1	平成25年 3 月13日

登録有形文化財（17）

（R 4. 4. 1 現在）

種類	名称	所在地	登録年月日
建築物	住友化学工業愛媛工場歴史資料館	惣開町 5 番 1 号	平成13年 4 月24日
建築物	武徳殿	徳常町 4 番 6 号	平成16年 3 月 2 日
土木構造物	遠登志橋	立川町 620 番 1 地先	平成17年12月26日
土木構造物	旧別子鉱山鉄道端出場鉄橋（足谷川鉄橋）	立川町	平成21年 8 月 7 日
土木構造物	旧別子鉱山鉄道端出場隧道	立川町	平成21年 8 月 7 日
建築物	旧泉寿亭特別室棟	立川町 707 番 3	平成21年 8 月 7 日
工作物	山根競技場観覧席	角野新田町三丁目 2822 番 9	平成21年 8 月 7 日
工作物	旧山根製錬所煙突	角野新田町三丁目 2822 番 1	平成21年 8 月 7 日
建築物	旧端出場水力発電所	立川町 594 番	平成23年 1 月26日
建築物	旧住友鉱業株式会社別子鉱業所長社宅主屋	星越町乙 1903 番地 1	令和 2 年 8 月17日
建築物	旧住友鉱業株式会社別子鉱業所長社宅応接棟	星越町乙 1903 番地 1	令和 2 年 8 月17日
建築物	旧住友鉱業株式会社別子鉱業所長社宅茶室	星越町乙 1903 番地 1	令和 2 年 8 月17日
建築物	旧住友別子鉱山株式会社外国人技師東社宅	星越町乙 1900 番地	令和 2 年 8 月17日
建築物	旧住友別子鉱山株式会社外国人技師西社宅	星越町乙 1900 番地	令和 2 年 8 月17日
建築物	旧住友化学工業株式会社幹部社宅	星越町乙 1896 番地 1	令和 2 年 8 月17日
建築物	旧住友共同電力株式会社幹部社宅	星越町乙 1900 番地	令和 2 年 8 月17日
建築物	旧住友共同電力株式会社監査役社宅	星越町乙 1857 番地 1	令和 2 年 8 月17日

広瀬歴史記念館

日本の近代化産業を育成した広瀬幸平翁の功績を正しく理解し、新居浜の生い立ちと近代化の歩みを後世に伝えるとともに、未来に向かって市民の活力を育み、文化遺産の継承と生涯学習の拠点施設として活動の振興を図る。

施設状況

所在地	建設年月	構造	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	電話	館長氏名
新居浜市上原二丁目 10番42号	展示館 平成9年4月	鉄筋コンクリート造 地上1階 地下1階	4,688.03	1,072.39	40-6333	館長 土岐 幸司
	旧広瀬邸 明治20年頃	木造瓦葺 2階建	31,827.19 (亀池を含む)	1,318.95	43-4667	
計			36,515.22	2,391.34		

総合文化施設（あかがねミュージアム）

総合文化施設は、新居浜の歴史、文化及び芸術を通して、市民が集い、出会い、交流する場を提供することで、文化の継承、発展、創造と次世代のひとづくりを目指し、平成27年7月18日にオープンした。

施設の管理運営は、開館当初より指定管理者制度を導入しており、現在、あかがねミュージアム運営グループが行っている。

施設状況

所在地	開設年月日	構造	敷地面積(m ²)	建物面積(m ²)	電話	館長氏名
坂井町二丁目8番1号	平成 27.7.18	鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階	11,571.86	8,894.14	31-0305 65-3580	名誉館長 青柳正規 美術館長 高橋洋毅

施設の概要

建物構造	B1F	ホール（248席、ロールバック式）楽屋、スタジオ1、地下駐車場
	GL	ロビー、カフェ
	1F	メインエントランス、太鼓台ミュージアム、総合案内、にいほまギャラリー
		創作スペース、アート工房、会議室、工作室、シアター、スタジオ2
	2F	美術館（展示室1、展示室2、市民ギャラリー）
3F	機械室	
開館時間	9：30～17：00	太鼓台ミュージアム、シアター、にいほまギャラリー、美術館
	9：30～21：00	アート工房、創作スペース、会議室、工作室、スタジオ2
	9：30～22：00	ホール、楽屋、スタジオ1
	10：30～17：00	カフェ
	9：00～22：30	駐車場
休館日	月曜日（祝日、振替休日及び第一月曜日にあたる場合は開館し、その翌平日が休館）	
	12月29日から翌年1月3日まで	

新居浜市の教育

令和4年度版

令和4年7月発行

編集
発行

新居浜市教育委員会

〒792-8585

新居浜市一宮町一丁目5番1号

TEL (0897) 65-1300

FAX (0897) 65-1306
